

放課後子ども教室事例集

～第1回放課後子ども教室推進表彰教室～



文部科学省生涯学習政策局
放課後子どもプラン連携推進室

はじめに

文部科学省では、平成19年度より、全国の市町村が実施主体となり、放課後や週末等の子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、子どもたちに様々な活動を行う機会を提供する「放課後子ども教室推進事業」(放課後子どもプラン)を推進しております。

このたび、「第1回放課後子ども教室推進表彰式」において、優れた活動を実施し、他の模範と認められる「放課後子ども教室」に対して表彰状の授与を行いました。

本事例集は、今回表彰を受けられた全国各地の「放課後子ども教室」の優れた取組を広く紹介するために作成いたしました。

今後とも、各地域の取組を参考に、「放課後子ども教室推進事業」の更なる推進並びに一層の活動内容の充実のために御活用いただければ幸いに存じます。

末筆ですが、本事例集の作成にあたりまして、関係者の皆様方の多大な御協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます次第です。

文部科学省生涯学習政策局
放課後子どもプラン連携推進室

目次

はじめに	1
第1回 放課後子ども教室推進表彰教室	
都道府県	
北海道上富良野町 上小放課後スクール	4
青森県鶴田町 (鶴田町)サンシャインスクールくるみ	5
岩手県奥州市 水沢南放課後子ども教室 ホワイトキャンパス	6
宮城県本吉町 津谷放課後子ども教室(津谷わんぱくクラブ)	7
秋田県東成瀬村 東成瀬村放課後子ども教室「仙人郷虎の穴」	8
山形県金山町 森の子ども図書教室(金山町)	9
福島県田村市 下大越めだかの学校	10
茨城県守谷市 守谷市放課後子どもプラン もりっこひろば	11
栃木県さくら市 喜小っ子ふれあいスクール	12
群馬県高山村 高山村子ども教室	13
埼玉県所沢市 所沢小学校 ほうかごところ	14
千葉県我孫子市 一小あびっ子クラブ	15
東京都品川区 すまいるスクール第二延山	16
東京都杉並区 すぎっ子くらぶ	17
東京都葛飾区 わくわくチャレンジ広場道上	18
東京都三鷹市 高山ふれあい広場	19
東京都小平市 こだいら放課後子ども教室小平四小地区	20
神奈川県逗子市 逗子小学校ふれあいスクール	21
新潟県長岡市 希望が丘あそびの城	22
富山県立山町 立山かがやきクラブ	23
福井県大野市 上庄放課後子ども教室	24
山梨県甲府市 みんなの居場所「羽黒ほっとサロン」	25
長野県小布施町 小布施子ども教室	26
岐阜県坂祝町 坂祝町子ども教室	27
静岡県焼津市 子ども創造の広場	28
愛知県瀬戸市 陶原小学校せとっ子モアスクール	29
三重県明和町 しゅうせいちゃれんじきっず	30
滋賀県大津市 石山放課後子ども教室	31
京都府綾部市 物小チャレンジクラブ	32
大阪府寝屋川市 和光キッズクラブ	33
兵庫県尼崎市 尼崎北こどもクラブ	34
和歌山県有田市 箕島ふれあいルーム	35
鳥取県岩美町 海の子チャレンジ教室	36
島根県松江市 古志原子ども広場	37

岡山県津山市 一宮公民館プレイランドの会学級	38
広島県尾道市 浦崎放課後子ども教室	39
山口県宇部市 厚東ひだまり教室	40
徳島県鳴門市 撫養クラブ子ども教室	41
香川県琴平町 琴平町こんぴら子ども塾	42
愛媛県久万高原町 久万子どもの居場所づくり教室	43
高知県安田町 ふれあい広場inやすだ	44
佐賀県唐津市 鏡子ども教室	45
長崎県新上五島町 奈良尾地区放課後子ども教室	46
熊本県産山村 産山村放課後子ども教室	47
宮崎県五ヶ瀬町 五ヶ瀬風の子自然学校	48
鹿児島県瀬戸内町 古仁屋子ども教室	49
沖縄県南城市 百泉児童クラブ	50
指定都市	
埼玉県さいたま市 北浦和ふれあいプレイランド	51
神奈川県横浜市 初音が丘小学校はまっ子ふれあいスクール	52
愛知県名古屋市 鶴舞小学校トワイライトスクール	53
高蔵小学校トワイライトスクール	54
諏訪小学校トワイライトスクール	55
栄小学校トワイライトスクール	56
上野小学校トワイライトスクール	57
大阪府大阪市 堀川小学校いきいき活動放課後子ども教室	58
放出小学校いきいき活動放課後子ども教室	59
新森小路小学校いきいき活動放課後子ども教室	60
新北島小学校いきいき活動放課後子ども教室	61
粉浜小学校いきいき活動放課後子ども教室	62
聖和小学校いきいき活動放課後子ども教室	63
堺市 堺市立英彰小学校放課後ルーム	64
福岡県北九州市 遊びの広場 曾根っ子クラブ	65
中核市	
秋田県秋田市 外旭川放課後子ども教室	66
愛媛県松山市 生石子どもいきいき教室	67
高知県高知市 校庭開放	68
宮崎県宮崎市 光陽台遊んでいい友塾	69
参考資料	
第1回放課後子ども教室推進表彰について	70
放課後子ども教室推進事業について	72

上小放課後スクール（北海道上富良野町）

◆ 事業の目的・理念

放課後の子ども達の安全で健やかな居場所づくりの推進

- 学校教育関係者はもとより、行政、地域住民が一体となり、それぞれの立場で子ども達の健全育成に取り組む。
- 安心・安全な教育環境づくりに努める。
- 働く保護者へのサポートサービスを充実させ、少子化対策や子育て支援を推進する。

教室の実施場所

上富良野小学校の体育館、メインルーム、集会ホール、グラウンドなどで実施

教室の開催日

- 毎週月曜日～金曜日 13:30～16:00
- 年間209日の開催

参加対象者

小学校1年生から6年生

申込み手続きなど

- 一日入学で説明後、申込書を社会教育総合センターへ提出。
- 登録料年間1,200円（保険料・教材費等）
- 緊急連絡方法として、メール配信サービスを実施。（教育委員会にて受付・登録）



工作(文化祭出展作品づくり)

放課後子ども教室参加率

- 平成20年度
全校児童数の16.2%が登録(77名)
1日の平均参加人数 約10名



新聞チャンバラ遊び

活動内容

- 放課後子ども教室推進事業と放課後児童健全育成事業を一体的に管理運営。
- チャレンジタイムにおいてスポーツや文化の体験プログラムを実施。(ドッジボールやすもう、竹馬、チャンバラ、長縄跳び等)
- 年2回体力測定を実施し、年度当初と終わりの体力を数値化。(児童や家庭への情報提供)
- 参加意欲の向上につながる竹馬、縄跳びなどの検定を実施。
- 社会教育事業で行われる各種スポーツ大会に、上小放課後スクールチームとして参加。

活動日程表(平成20年日程表より)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			13:10～	14:30～	14:30～	休
			スポーツ	ハンド	スポーツ	
			20～	セッション	20～	
5	6	7	8	9	10	11
14:30～	13:10～	13:10～	14:30～	14:30～	11:15～	11:15～
自由遊び	すもも遊び	スポーツ	キックベース	ボール	自由遊び	自由遊び
12	13	14	15	16	17	18
休	休	休	13:10～	14:30～	休	休
			自由遊び	ハンド		
19	20	21	22	23	24	25
14:30～	13:10～	13:10～	14:30～	14:30～	14:30～	休
チャンバラ	自由遊び	ハンド	自由遊び	キックベース	自由遊び	
あそび	あそび	あそび	あそび	あそび	あそび	
26	27	28	29	30	31	
14:30～	13:10～	13:10～	14:30～	14:30～	14:30～	
スポーツ	自由遊び	自由遊び	ハンド	自由遊び	自由遊び	
クラブ						

- 予定表は教育委員会が月1回発行し、学校をとおして全児童に配布している。プログラムの参加呼びかけや、裏面に事業の実施写真を掲載しPRに活用している。
- プログラムはコーディネーター及び安全管理指導員が、学校行事を考慮しながら工夫して作成している。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 放課後子どもプラン事業運営協議会「メンバー構成」
学校関係者(教頭)子ども会育成協議会役員、放課後コーディネーター、指導員、役場保健福祉課(児童館担当)、教育委員会職員 18名
- 配置人数 コーディネーター1名 安全管理指導員4名
- 人材については、指導員の紹介などの協力を得ながら、放課後子ども教室や教育の現場を知る方を中心に募集。保育士、幼稚園教諭、元自衛官、元社会教育担当者、主婦、社会教育委員等様々な立場の方々携わっている。

事業を実施して

- 将来を担う子ども達が地域の大人に見守られ健全に成長するための環境づくりを、地域住民や関係機関が一体となって、他の学校の放課後事業と連携しながら推進していくことが大切であると思っています。
(上富良野町放課後子どもプラン事業運営協議会委員長)
- 合い言葉は「決まりを守り、元気に挨拶」。放課後スクールで遊ぶ子どもたちが、いつも仲良く楽しい時間を過ごせるよう、スタッフみんなでチャレンジタイムを工夫しています。保護者が迎えに来たときに、笑顔で挨拶し帰っていく姿をこれからもずっと見守っていきます。
(上小放課後スクールコーディネーター)

サンシャインスクールくるみ【青森県鶴田町】

◆事業の目的・理念

- 学校週5日制と近年の社会情勢を考慮し、子どもの安心と安全の確保をに努めるとともに、学校の施設や社会教育施設、社会体育施設を活用し、子どもたちの異学年交流や体験活動を通して、児童の健全育成を図ることを目的としている。

教室の実施場所

- 胡桃館小学校内「図工室」「体育館」
- 野外活動として、町公民館での合同教室、自然観察ウォーキング、花いっぱい運動、田植え、稲刈りなどの体験活動がある。

教室の開催日

- 平日 放課後から17時まで
- 土曜日等(夏・冬・春休み、学校振替休日) 8時30分から17時まで

参加対象者

学校内の全児童(1年生から6年生)

申込み手続きなど

- 申込書を教育委員会へ提出。
- 登録料年間1,000円(保険料・教材費等)

参加実績

年度	対象児童数	登録児童数	登録率	開設日数	延べ参加数	1日平均
平成19年度実績	68人	68人	100%	270日	9,021人	33.4人
平成20年度実績(12月末現在)	68人	65人	95.6%	213日	6,442人	30.2人



道の駅「あるじゃ」で親子クリーン作戦を展開している



「リサイクルで遊ぼう」で作品作りをしている

活動内容

- 月ごとの目標を定めて全体で取り組むことにしている。活動は土曜日を中心となるが平日の放課後の4時までは個人の学習の時間を設定しているため、それぞれが学校の宿題や読書など取り組んでいる。野外活動は保護者と地域住民の協力を得て活動している。また、当町では「早寝・早起き・朝ごはん」に力を入れているので、保護者と児童の研修会を合同で行い食育教育を実施している。
- 「放課後児童クラブ」と「子ども教室」は毎月1回は全体で合同の会議を開催して連携を取っている。活動予定もできる限り共通の内容とし、子どもをお互いの指導員が区別することがないように指導することにしている。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
年に4回発行しているおたより「めぐこ」(津軽弁でかわいい子ども)に安全管理指導員、体験活動指導員、ボランティア指導員を募集している。また、年2回は町公民館と体育館を利用し合同教室を町体育協会などと協力しながら開催し、広く町民の参加を呼びかけながら子ども教室事業への理解と協力を呼びかけている。
- 配置人数
基本的には毎日2名配置しているが、体験活動を実施するときは増員や地域保護者などのボランティア指導員を活用している。

平成20年度活動予定表

開催月	開催月
4月	開校式(入会を祝う会)
5月	花いっぱい運動
6月	ボランティアをしよう
7月	自然観察の探検
8月	昔の遊び
9月	英語で遊ぼう
10月	読書運動
11月	リサイクルで遊ぼう
12月	食育を学ぼう
1月	冬の遊びを体験しよう
2月	親子でチャレンジ
3月	進級を祝おう

事業を実施して

- 当町の放課後対策事業は平成15年度から町独自に「学校週5日制事業」として毎週土曜日に学校内を解放して、子どもの体験活動を行ったことがはじまりとなっている。翌16年度には国の委託事業の「地域子ども教室」と連携しながら事業を進めた。さらに17年度には所管を教育委員会に移し「放課後児童クラブ」が学校内に開設した、19年度には「放課後子どもプラン」事業となり現在に至っている。
- 平成19年度からはじまった「放課後子どもプラン」事業が平成20年度では、全小学校区の学校内に開設することができました。保護者からは様々な体験活動と児童の安全が確保できると喜ばれている。また、教育委員会、学校、保護者、地域住民の連携が図れるようになり、社会教育全体に役だっている。

水沢南放課後子ども教室【岩手県奥州市】 ～ホワイトキャンバス～

◆事業の目的・理念

●平成11年、奥州市水沢区(平成18年合併前、水沢市)では地域の中高校生リーダーが小学生のお世話する寺子屋活動を源流とした中高生生の活動が生まれ始めていたが、彼ら中高生が集まれる場所がなかった。また、全国的には深刻な青少年事件も続発し、対症療法的な事業よりも総合的な人間形成の一助となる事業が社会的にも強く求められていた。このような中「中高生のための仲間作りができるフリースペース」としてホワイトキャンバス(愛称:ホワキャン)をスタートし、2年後の平成13年には、小学生から高校生世代、10代までを対象の門戸を広げ、今では10代を中心とした地域の居場所となっている。小学生にとっても、学校では体験できない中高生との異年齢交流ができる場として、貴重なスペースとなっている。

教室の実施場所

放課後子ども教室専用家屋(地区集会所と併設)、体育館、グラウンド

教室の開催日

- 毎週
 - 月曜日、水曜日、木曜日 15時～18時
 - 土曜日、日曜日 10時～18時
 - お盆、年末年始は休み

参加対象者

小学生から高校生世代、10代まで

参加実績

平成19年度 実績	開設日数	252日
	来所者数	3,580人
	1日平均	14.2人
平成20年度 実績 (1月末現在)	開設日数	211日
	来所者数	3,615人
	1日平均	17.1人



ホワイトキャンバス施設外観

申込み手続きなど

- 事前手続きは不要。開設時間内で子どもたちの来所したいときに、自由に集まる。
(来所の際は、氏名を指定用紙に記入)

活動内容

- 建物に市の空き施設を活用しており、通常はプログラムを設けているわけではなく、小学生から高校生世代、10代までの異年齢の子どもたちが自由に利用している。卓球やバドミントンの軽スポーツで汗を流したり、パソコン、マンガ、カードゲームに興じたり、また試験間近には勉強を教えあうなど、思い思いに過ごしている。
- さまざまな事情を抱えた子の来所もあり、時にはけんかやトラブルも発生するが、理念として掲げている「他者をおもんばかり、みんなが一緒にしあわせになるところ」の実現を目指し、お互い切磋琢磨しあいながら、課題解決を導き出すなど、大人になる準備・訓練の場になっている。
- 月に一度、中高生のジュニアリーダーサークルの定例会会場として活用されており、このサークルの存在が居場所運営の原動力、特徴となっている。



ホワイトキャンバス内での活動のようす



地域の居場所として、小学生から高校生世代が集まるホワキャン
ここには、いつも子どもたちを温かく迎えてくれるスタッフがいます

ホワイトキャンバス HP

URL <http://homepage3.nifty.com/whitecanvas/>
(このホームページは、民間スタッフの方が自発的に作成しているものである)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 配置人数
 - 安全管理員 → 登録人数：9名 配置人数：1名
 - 学習アドバイザー → 登録人数：9名 配置人数：1名
 - ボランティア → 登録人数：18名 配置人数：1名

事業を実施して

- 社会環境の変化により子どもたちの生活スタイルが多様化している中、この場所で、紆余曲折を経つつも社会復帰した子ども、良い大人になるための入り口を迎えた青少年は数多く存在し、10代を中心とした地域の居場所として十分な機能を果たしている。
- 親子関係や友人関係に問題を抱えている、いわゆる「気になる」子どもたちの発見にも効果が見られ、子どもたちの実状や悩みなどをいち早くキャッチできる貴重な場所である。

津谷放課後子ども教室【宮城県本吉町】

～放課後児童クラブと一体的な取組～

◆ 事業の目的・理念

- 地域社会の中で、放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、教育委員会が主導して、健康福祉課と連携を図り、「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」を一体的に推進する。

教室の実施場所

本吉町立津谷小学校内津谷わんぱくクラブ教室、小学校校庭、体育館などで実施。

教室の開催日

- 当該小学校の授業日(月～金曜日)
授業終了時から午後5時まで

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)

申込み手続きなど

- 「わんぱくクラブ(放課後子ども教室)」と「学童保育(放課後児童クラブ)」のどちらに登録するか選択し、該当する方の申込用紙に必要事項を記入し、保険料(510円)を添えて教育委員会事務局生涯学習班または公民館へ申し込む。

参加実績

平成19年度参加実績

開催日数 185日
登録人数 62名(全校児童の24%)
1日あたり平均参加人数 16.5人

平成20年度参加実績

開催日数 200日(予定)
登録人数 61名(全校児童の24%)
1日あたり平均参加人数 17.8人
(10月末現在)



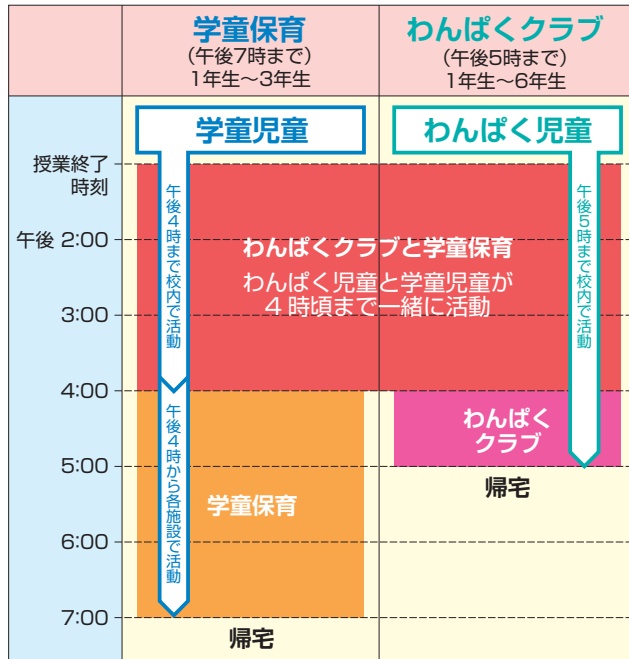
紙飛行機づくりに取り組む子どもたち



放課後児童クラブ担当者も協力

活動内容

- 特に活動メニューを提供するものではなく、子どもたちの自由活動に対する支援(場所や機会)や環境づくりを行う。
- 活動のながれ



コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
コーディネーターは委嘱により1名、安全管理員は公募により18名が事業に携わっている。学習アドバイザーは特に設けず、両者が兼務している。
- 配置人数
コーディネーターは1名で任期は1年として教育委員会事務局に配置し、勤務時間は午前11時から午後5時までである。事業の企画や運営について総合的に調整をする。安全管理員は、週1回1日2～3時間の勤務で、児童の出欠や所在確認、事故等への対応、学習や遊びの支援等を行う。配置人数は1日2人である。
- その他
学童保育担当者2名が安全管理員と同様の業務に就き、常時4名で安全管理や学習支援にあたる。「救急救命」や「子どもの意識」、「レクリエーション活動」等町独自の研修事業を実施している。

事業を実施して

- 放課後児童クラブに登録している児童(対象は3年生まで)も一定時間までは放課後子ども教室で活動する。そのため、多数の指導者との関わりの中で様々な知識や技術にふれることができる。また、異年齢集団生活をとおして人との関わり方について学び、社会性の育成に大きく貢献している。
- 行政の支援体制が整い、独自の指導者研修会の開催をするなど事業の運営体制が構築されてきた。
- 「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」に一体的に取り組むことで、総合的な放課後対策が推進されている。

東成瀬村放課後子ども教室【秋田県東成瀬村】

～地域で育てる「仙人郷虎の穴」～

◆事業の目的・理念

- 地域の子どもたちの安全を守り健全育成を図るため、放課後児童クラブと連携を持ちながら、双方の利点を生かして安全・安心な居場所を設置し、地域住民との交流活動を実施する。

教室の実施場所

- 東成瀬村農村交流センター(平日開催)
(児童クラブと同施設内)
- 村内各所(土日・長期休業日等開催)

参加対象者

村内の小学1年生～中学3年生
(全児童生徒対象)

申込み手続きなど

- 申込不要、自由参加 ●負担金なし
- ※ただし、児童クラブ登録者は1日につきおやつ代として60円を負担するので、その整合性を図るために「おやつチケット」(5枚綴りで300円)を購入してもらい、おやつを支給を受けることができる。

教室の開催日

- 平日開催「仙人郷虎の穴」 毎週月曜日～金曜日(学校のある日) 年間190日
- 土日・休日長期休業日開催「仙人郷虎の穴修行編」 不定期 年間10日

参加実績

平成20年参加状況

- 平日開催「仙人郷虎の穴」
一日平均20名程度
- | | | |
|------------------------|-------|------|
| 全村の児童数 | 小学校1校 | 145名 |
| (うち低学年70名・児童クラブ登録者38名) | | |
| | 中学校1校 | 58名 |
- (参加対象は小学1年から中学3年であるが、4年生～中学3年生は放課後の部活動等により参加者が少ない。)
- 土日・長期休業日開催「仙人郷虎の穴」(修行編)
一回20人～80人



英語教室

活動内容

●平日「仙人郷虎の穴」の主な活動内容

- 毎月1回全児童生徒に活動予定表を配布
- 活動内容
14:30～16:00 下校後、宿題や読書を中心とした活動
16:00～17:00 地域の指導者等による体験活動
例) 工作教室 折り紙教室 昔の遊び体験(お手玉・けん玉など)
英語教室 お菓子作り教室 読み聞かせ 囲碁教室
茶道教室 など
17:00～18:00 自由時間 帰宅

●土日・長期休業日「仙人郷虎の穴修行編」の主な活動内容

- 年間10回程度開催
- 活動内容
ウォーキング大会(地域づくり団体との共催)
スターウォッチング(星空観察教室・村天文同好会の協力)
子ども映画会(地域づくり団体との共催)
星空野外映画会(児童館との共催)
子どもスキー教室(村スキークラブの協力)
ニュースポーツ教室(村体育指導員の協力) など



子どもスキー教室
(修行編)

児童クラブとの連携

本村は小学校と中学校が1校ずつであり、児童数も少ないが、地理的な理由により児童クラブは2か所で開催している。そのうちの東成瀬村農村交流センターを拠点として、放課後子ども教室を実施しているが、週1回はもう一つの岩井川児童クラブに出向いて活動している。児童クラブに登録している子どもたちと放課後子ども教室に参加する子どもたちの戸惑いを無くすために、「おやつチケット」を導入したり、安全管理員と児童クラブ指導員が月1回の連絡会議を開催して双方の事業の連携を図っている。活動場所が同施設であるため、子どもたちの安全面での目配りが出来ることも大きな利点である。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- コーディネーター
活動の企画と地域の指導者との日程調整や利用する保護者との連絡を実施。1名配置。
- 安全管理員
活動内容にもよるが基本的には1名配置する。修行編等参加人数を考慮し、適宜増員する。現在は4名交代制。
- ボランティア等
地域で活躍する各分野の指導者となる人に、子どもと関わり合いながらその分野の指導をする。随時募集中。

事業を実施して

- 地域の協力を得て様々な体験を通じて地域住民との交流が増えたことにより、お互いの顔を覚え、防犯対策としての機能を発揮している。
- 子ども同士が異年齢交流をすることにより、上級生が下級生をいたわる「思いやりの心」、下級生が上級生を「敬愛する心」が育まれる。
- 地域活動により、郷土の良さを再確認することが出来た。

森の子ども図書教室【山形県金山町】

◆ 事業の目的・理念

- 子どもたちの安心・安全な「心の落ち着く場所」になるような放課後子ども教室をめざす。
- 子ども、青少年、大人まで、さまざまな世代の方が交流できる居場所づくりをする。

教室の実施場所

- 金山町交流サロン「ぼすと」2階 森の子ども図書コーナー、学習コーナー
- 各小学校、中央公民館(移動図書教室)等

教室の開催日

- 月曜日～金曜日 12:30～17:30 夏期18:00 冬期17:00
- 土・日曜日 イベント開催(季節の行事等)



〈クリスマスお話し会のようす〉

参加対象者

金山小学校区児童
(町内他学区の参加も可能)

森の図書教室利用実績(平成19年度調べ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	245	581	642	547	399	346	476	594	415	306	339	321	5211
うち小学生	147	365	249	134	93	238	246	235	51	181	211	80	2230
開設日数	23	23	23	21	18	20	24	22	19	18	20	20	251

申込み手続きなど

- 子ども図書コーナーで随時受付

活動内容

- 平日メニュー…子どもたち一人一人が自分で活動を決めます



- 季節のおすすめメニュー…体験活動を企画

- 〈春〉 ○かざぐるま作り
- 〈夏〉 ○森図書子どもまつり～夏～
七夕かざり作り チャリティーバザー
バルーンアート
- 〈秋〉 ○ビニール凧作り
- 〈冬〉 ○オリジナルカレンダー作り
○森図書子どもまつり～冬～
クリスマスお楽しみ会
カルタとり
- 〈通年〉 ○サークルによる読み聞かせ会
(学校訪問含む)



〈活動のようす〉学習、読書、工作など

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
「森の子ども図書コーナー」管理者に業務委託
※おはなしサークル「きつねのボタン」の会員から協力を得ている。
- 配置人数
コーディネーター(1) 学習アドバイザー(10)
安全管理員(3) ボランティア(2)
- 関連団体との連携
高校生ボランティアサークル「サイクル+(プラス)」 県立金山高校図書委員会
小・中学校、保育園、幼稚園 食生活改善推進協議会 他



事業を実施して

- 学校・家庭・地域の声…子どもたちは、子ども教室に行くことを楽しみにしている。また、スタッフと教員が情報を共有し、指導・支援にあたることにより、児童の健全な生活を守ることができた。小学生と幼児、中・高校生、大人との関わりの中で、「地域の社会力」も高まってきている。
- コーディネーター・指導者等から…放課後子どもプランの事業も知られるようになり、参加者数もふえてきている。また、上級生が下級生に宿題でわからないところを教えるなど、集団の中で学びあう姿が見られる。学童クラブの児童も、楽しく交流している。

田村市放課後子ども教室下大越めだかの学校【福島県田村市】

～地域ではぐむ豊かな心・地域教育力の活性化～

◆事業の目的・理念

- 放課後の学校施設や社会教育施設を活用し、子どもたちがスポーツや文化活動などの体験や地域住民との交流活動をするとともに、地域の大人が指導者として事業を展開し、子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所を提供する。また、異学年集団の活動を通して、豊かな心を育み、人間性・社会性を身につけさせることを目標とした地域教育力の活性化に向けた総合的な取り組みを行う。
- 参加児童が帰宅途中、事件・事故等に巻き込まれないよう、上級生をリーダーとした集団下校体制をとって安全の確保に努める。

教室の実施場所

田村市立下大越小学校の余裕教室（図工室・図書室）、体育館、校庭等で実施。

教室の開催日

長期休業日（春・夏・冬休み）及び3月の第3週から卒業式までを除いた学校で授業が行われる月曜日～金曜日までの毎日。

申込み手続きなど

- 申込書と児童活動調査書、保険加入書の配付及び取りまとめを学校に依頼する。
- 保険料は年間を通し500円（傷害・物損）を徴収する。
- 新入生については、入学説明会において保護者に対し事業の説明をして参加推進を行っている。

参加対象者

下大越小学校全児童

参加実績

平成19年度参加者数	74名(全児童)	登録率100%
平成20年度参加者数	73名(全児童)	登録率100%



就学前の幼児を連れて活動を行う指導者

活動内容

- 4月から10月までは放課後から16:30まで、11月から3月までは放課後から16:00までが活動時間。
- 4月から10月までは特設部（合奏部・自転車部）の活動があるため4年生から6年生は部活動のない日に参加する。
- 自由遊びが中心で、室内では宿題、読書やトランプ、折り紙、将棋、廃材を使ったエコクラフト、体育館や校庭ではソフトボールやドッジボール、バドミントン、卓球、一輪車など。
- 不定期に、ボランティアによる「おはなし会」や福島県もりの案内人による木工クラフトなどの自然体験、七夕飾りやクリスマスカード作成など季節の行事も積極的に取り入れている。

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

コーディネーター

地域から適任者を選出し、生涯学習課と協議により推薦決定する。

安全管理員 活動指導員

地域の人（保護者等）に教室を自由時間に体験していただき、その中から希望者を面接し採用決定する。

●配置人数

コーディネーター1名、活動指導員7名が登録。コーディネーターは週2日、活動指導員は1日4名を配置している。コーディネーターは週2日以外は活動指導員も兼ねている。



まずは宿題に取り組む（メインルーム）

		月	火	水	木	金
活動時間	4月～10月	14:00～16:30	14:00～16:30	14:45～16:30	14:45～16:30	14:30～16:30
	11月～3月	14:00～16:00	14:00～16:00	14:45～16:00	14:45～16:00	14:30～16:00
主な活動内容		宿題・自由遊び	宿題・自由遊び	宿題・自由遊び	宿題・自由遊び	宿題・自由遊び

事業を実施して

- 子どもから…いろいろな学年の友達と遊んだり宿題を教えあったりできて楽しい。
- 保護者から…集団下校のため、帰宅時間が一定しているので安心できる。
- 指導者から…全児童が参加しているため、異学年との交流が図られ高学年は低学年に優しく責任を持って接し、低学年は高学年を尊敬し行動できるようになるなど、それぞれ心の成長が見られる。
- 教育委員会から…子ども達に対し家庭や学校だけでなく地域の人々にも意識の変化が見られるようになってきた。

守谷市放課後子どもプラン「もりっこ・ひろば」 【茨城県守谷市】

◆ 事業の目的・理念

- 少子化や核家族の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援する。

教室の実施場所

守谷市立守谷小学校の施設を利用
※原則として、学校の授業や行事に支障のない場所を利用する。
校庭 体育館 図工室 図書室 その他

教室の開催日

月～金曜日(授業のある日)

参加対象者

守谷小学校に通う1～6年生児童

申込み手続きなど

参加したい月の前月15日までに、守谷市生涯学習課に保険料を添えて申込書を提出する。

参加実績

平成19年度実績 (平成19年12月1日現在)	
放課後子ども教室登録者	140人
全校児童に占める割合	31%
開催日数(※10/1事業開始)	99日
平成20年度実績 (平成20年12月1日現在)	
放課後子ども教室登録者	165人
全校児童に占める割合	32%
開催日数(予定)	186日



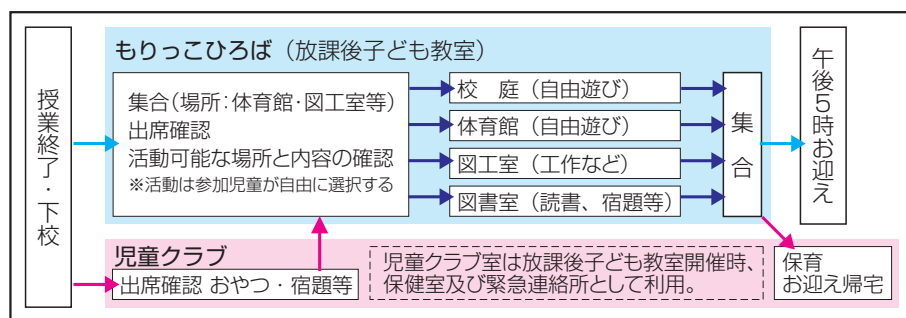
学年をこえて縄跳び

活動内容

- 場所(小学校の授業や行事に支障がない場所での活動)や、その場所によるルール(場所に合った安全な活動)を守り、活動の内容は子どもたちが自由に選択する。
- 地域の事業協力ボランティアが、子どもたちと一緒に遊び、おしゃべりをしながら、地域との交流を深める。
- 様々な体験教室の開催(季節のカード、モザイクアート、ミサンガ、布ぞうり、スライムなどの製作)



布ぞうり作り教室



コーディネーターや地域の方々などの参加

- 地域の事業協力ボランティア(登録13名)…子どもたちとともに活動しながら、安全を見守り、地域と子どもたちとの交流を深める。
- 放課後子どもプラン・マネージャー(1名)…市雇用職員として、放課後子ども教室と児童クラブの連携を図り、学校、地域、市事務局との連絡調整、事務処理など、放課後子どもプラン全体のマネジメントを行う。
- 放課後子どもプラン指導員(8名)…放課後子ども教室担当指導員(2名)と児童クラブ指導員(6名)は、マネージャーの支持のもと連携・協力して子どもたちを見守り、指導する。
- コーディネーター…社会教育指導員が複数校を担当し、当事業の運営や企画に対し助言指導を行う。

事業を実施して

- 我が子のみならず、違う年代の子たちとの交流は楽しい。また、わが子と友人のかかわりも見えてくるので参考になる。(ボランティア・女性)
- 子供たちと遊ぶのが好き。街で会ったときお互いに挨拶を交わすようになりました。(ボランティア・男性)
- どの子ども達もみなさん元気で自分の子のように思いますので楽しいです。(ボランティア・男性)
- 子ども同士の関わりだけでなく、地域の方々や保護者ボランティアの方々とのふれあいを通して、子どもを通じた知り合いも増え、たくさんの方々に見守って頂いていることが感じられます。感謝しています。(保護者)
- 児童クラブも楽しかったようだが「子ども教室」ができて活動の幅が広がり、体育館でも遊べるようになった。児童クラブ以外のお友だちとも遊べるようになった。(保護者)
- 思いっきり体を動かしている様子で、疲れている中にもどこかすがすがしい感じが見受けられます。(保護者)
- ボランティアの人たちが優しく教えてくれたり、おもしろい遊びを教えてくれた(児童)
- クリスマスカードを作ったり、スライムを作ったりしているんな事をしたことが楽しかった(児童)

※平成19年度アンケート調査より抜粋

喜小っ子ふれあいスクール【栃木県さくら市】

～地域で育てる地域の子ども～

◆ 事業の目的・理念

- 少子化・核家族化が進む中で、子どもたちが学年や世代を越えて自由に群れて遊ぶ場や機会が減少してきたことを受け、子どもたちに放課後の安全・安心な場所と時間を提供し大人が見守ることで、異学年・異世代の交流を図り、ふれあい学習(※1)を推進する。
 - 自由かつ自主的な遊びを通して、子どもたちの社会性や自主性、創造性などをはぐくむ。
- ※1 学校、家庭、地域社会が連携協力し、子どもの「生きる力」をはぐくむとともに、家庭・地域の教育力の再生・充実を目指し、子どもを核とした幅広い年代の人々との体験活動や交流活動、学習活動を「ふれあい学習」という

教室の実施場所

- 喜連川公民館(団体事務室・工芸室・ホール他 H20.7まで)※喜連川小学校より徒歩3分
 - 喜連川小学校(仮校舎・講堂 H20.9から)
- ※平成20年度は、喜連川小学校の校舎改築に伴い9月より旧喜連川高等学校を仮校舎として使用。公民館から遠くなったため仮校舎に実施場所を変更

教室の開催日

毎週火・木・金曜日の14:30～17:00
(ただし、11月～2月は、16:30まで)

参加対象者

喜連川小の1年生～6年生(全児童対象)
原則として毎日参加できる人
(特定の曜日でのみの参加は不可)

申込み手続きなど

- 学校を通して配布される申込書をさくら市生涯学習課へ提出。
- 参加料は無料。別途、年間保険料500円の負担あり。
- 安全管理面から、保護者によるお迎えを依頼。



ハロウィン

参加実績

平成19年度 参加者数 84名
(児童数365名 参加率23.0%)

平成20年度 参加者数 86名
(児童数368名 参加率23.4%)

※平成17年度のスタート時が35名。年々増加傾向にある。

活動内容

- 原則として、子どもたちが自分で何をするかを考えての自由遊び。地域ボランティアとも一緒に遊ぶ。(主な自由遊びの内容としては、お絵かき、お手玉、なわとび トランプ、将棋、読書、フリスビー、宿題など)
- 学習アドバイザーや安全管理員、ボランティアの企画によるイベントの開催。(七夕・ハロウィン・クリスマス・ビンゴ大会・輪投げ等)
- (財)栃木県交通安全協会の出前型交通安全の実施。(夏休み前)
- 仮校舎に移ってからは、学童保育と放課後子ども教室の活動場所が隣り合わせとなったため、ハロウィンの行事は合同で開催した。
- 地域にいる茶道の先生と連携しての茶道教室の実施。
- 「喜小っ子ふれあいスクール通信」の発行による活動内容・活動時間変更等の連絡。(随時)
- 子どもたちが参加者氏名を記入したところに、「字きれいで賞」をつけている。(きちんと書くようになった。)

活動準備

受付名簿の記入
名札の装着

活動

自由遊び、イベント等

活動終了

受付名簿への帰宅確認
(保護者)



クリスマス会

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
学習アドバイザー・安全管理員→生涯学習課の推薦により決定
ボランティア→喜連川小学校区の全世帯を対象に募集チラシを配布し、趣旨に賛同いただいた方
- 配置人数 学習アドバイザー 1名、安全管理員 1名を配置。
そのほか、地域ボランティア 常時4名程度配置(活動内容によって人数に変更あり)
- 地域住民・団体との連携
茶道の先生と連携しての茶道教室など、地域住民や団体からの支援がある。

事業を実施して

- ふれあいスクールをきっかけに、同じ地域に住む子どもと大人が知り合いになり、日常生活の中であいさつをかわしたり会話をしたりするようになった。
- 「子どもたちのために」という地域住民等の思いが、活動を継続する原動力となっており、地域で子どもをはぐくむための環境づくりや、地域に住む人同士が相互に支え合う地域づくりに
- もつながっている。
- 自由遊びを通して、子どもたち自身が考え工夫する力がついできた。
- 原則として自由遊びという無理のないプログラムの実施により、子どもも大人も自然体で活動している。

高山村放課後子ども教室【群馬県高山村】

～ふれあいを通して心豊かな子どもを育てる～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後の子どもたちが安心安全に活動できる場を設け、様々な体験活動等を通して、心豊かで誰とでも仲良くできる子どもを育てることや、親や地域の人との絆を深めることを目的に、放課後子ども教室事業を実施する。

教室の実施場所

- 放課後教室は、高山小学校のプレイルーム、校庭、体育館
- 休日教室は、高山村いづき会館及び村内施設

教室の開催日

- 放課後教室は、毎週火曜日14:50～16:30 年間30回程度開催(冬季は15:55まで)
- 休日教室は、土・日曜日 9:00～12:00 年間6回程度開催(内容によって夕方まで)

参加対象者

- 放課後教室は、小学校1年生から6年生(全児童対象)
- 休日教室は、小学生および保護者

申込み手続きなど

- 放課後教室は、学校を通して募集案内を配布。1～3年生は保護者承諾の参加申込書を提出、受給された参加者連絡カードをもって参加する。4～6年生は事前の参加申込書は不要で、当日会場で受付をする。
- 休日教室は、募集案内を学校を通して配布。参加者は申込書を学校もしくは教育委員会へ提出する。
- 参加料は原則無料。放課後子ども教室事業の参加者傷害保険は、村予算で対応。(全児童加入)。休日教室は、内容によって材料費等の参加者負担あり。

参加実績

- **放課後教室**(平成19年度・30回実施)
 申込者：1年生(21人・48%・児童数44人)
 2年生(11人・24%・児童数45人)
 3年生(10人・29%・児童数34人)
 4年生以上自由参加(児童数126人)
 参加者：1～3年生(のべ493人/平均16人)
 4～6年生(のべ376人/平均13人)
 合計(のべ869人/平均29人)
- **休日教室**(平成19年度・7回実施)
 参加者：子ども(のべ138人/平均20人)
 大人(のべ41人/平均6人)



みんな元気いっぱい

活動内容

〈心豊かに〉「放課後教室」

- 絵本の読み聞かせや郷土かるた(高山かるた)遊び等を通して豊かな心情を育てる。
- 読み聞かせ…季節の出来事や行事に関する絵本の読み聞かせを毎回実施。
 - 高山かるた…かるたで遊びながらふるさとの自然や歴史の理解を深める。
 - 図書コーナー…子どもたちにすすめたい絵本を展示、子ども教室図書として貸出。
 - ふらりコーナー…自由に将棋・オセロ等のゲームや宿題・読書ができる机を常設。(放課後教室が始まる前や途中参加の高学年生の利用が多い)

〈誰とも仲良く〉「放課後教室」

- 身近なものを使って遊び道具を作り、学年を越えて遊ぶことで友達関係を広げる。
- 古新聞やチラシ等を使って…帽子、兜、刀、弓矢、しりとり絵、切り絵、紙とんぼ
 - 牛乳パックや古はがき等を使って…サッカーボール、ブーメラン、飛び出すへび
 - いろいろな材料を使って…お話たまご、お雛たまご、ブンブンごま、影絵、風船遊び
 - からだを使って…おにごっこ、どんジャンケン、たたかいごっこ、なわとび

〈絆を深める〉「休日教室」

地域の人の協力を得て様々な体験活動を行う。

- 小野子山ハイキング(6月)
山岳部員や青少年育成推進員の協力で実施
- 水ロケット作り(8月)
理科教師や高校生ボランティアの協力で実施
- 炭焼き体験(10月)
林業・農業関係者や老人会員の協力で実施
- 高山かるた大会(11月)
子ども会育成会員やPTA会員の協力で実施
- 焼きもち作り(1月) ● カルメ焼き作り(2月)
食生活改善推進員や婦人会員の協力で実施
- 布草履作り(2月)
老人会員や文化協会員の協力で実施



大型紙芝居の読み聞かせ

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集**
 コーディネーター…地域と学校との協議により推薦・決定(学校支援やボランティアに協力的な方)
 安全管理員・ボランティア…放課後子ども教室だよりや村広報紙を使って募集。
 協力団体…運営委員会で検討し、協力・支援を依頼。
- **配置人数** コーディネーター2人 安全管理員4人 保護者ボランティア若干名
- **協力団体(おもに休日教室の指導や運営協力)**
 ならの木読書会、婦人会、老人会、若妻会、PTA、体育協会、文化協会、子ども会育成会、青少年健全育成推進員、食生活改善推進員、地区ボランティアおよび高山村役場

事業を実施して

- 参加した子どもたちは大勢で遊ぶ楽しさ、たくさんの友達ができる喜びを味わい、子ども教室を楽しみにしている子が多くなった。
- 学年を超えて遊ぶことで、高学年生が低学年生の面倒を見られるようになったり、低学年生が話をよく聞けるようになった。
- 身近なものを使って遊ぶことで、家でも遊び道具を作ったり、工夫して遊んだりする姿が見られるようになった。
- ボランティアや材料提供として協力したいという保護者が出てきた。安全面を考えるとより大勢のボランティアの協力が必要である。
- 放課後子ども教室だよりの発行や参加者・保護者アンケートの実施によって、よりよい子ども教室の運営に努める。

所沢小学校 ほうかごところ【埼玉県所沢市】

～放課後の安全・安心な居場所づくりをめざして～

◆ 事業の目的・理念

● 所沢市立所沢小学校は、市内の中心に位置し、明治6年に創立した学校である。祖父母・保護者に卒業生も多く、学校に対する愛着が深い。そのため、PTA活動や町内会活動が盛んな地域である。学区域では、安全・安心な遊び場所が減少し、子どもたちがのびのびと活動できる環境づくりが大きな課題となっていた。そこで、本市は平成15年度に独自の所沢市放課後支援事業を立ち上げ、所沢小学校にはじめて「ほうかごところ」を開設した。本事業は、小学校の施設を利用して、放課後の安全・安心な居場所を確保し、創造性、自主性、社会性等を養うため、異年齢間の遊びや学びを通じた交流を促進し、地域住民による児童の健全育成を図ることを目的としている。また、「地域の子は、地域で育てる」という「地域立」の考え方のもとに、地域の教育力を活かし、家庭・地域・学校が一体となった運営をしている。この取組は、市内の学校に広がり、現在7校が実施している。

教室の実施場所

所沢小学校の校庭、体育館(1階・ギャラリー)、低学年図書室を通常の活動場所としている。天候や学校行事等による臨時的活動場所として、高学年図書室や多目的室(ところルーム)等を学校と相談し、利用している。

教室の開催日

- 通常授業日(給食のある日)
1学期始業日～9月中旬 放課後～18:00
9月中旬～1学期終了日 放課後～17:30
2学期始業日～2月末 放課後～17:00
3月～2学期終了日 放課後～17:30
(所沢市立小中学校は、2学期制を実施)
※保護者からの申し込みがあった日:延長活動あり。(活動終了時～19:00)
- 土曜日:8:30～12:00
- 長期休業日:夏休み:13:00～18:00
(※プール活動:13:00～15:00)
冬休み:13:00～17:00
春休み:13:00～17:30

参加対象者 所沢小学校(全児童対象)

申込み手続きなど

1年生:4月に保護者説明会を行い、募集をする。2年生～6年生:前年度3月から新規・継続の申込みをする。申込みの際、全員が保険に加入し登録をする。〔保険料(スポーツ安全保険)は、登録者負担。〕参加費用は、特に無い。



異年齢の仲間・スタッフと校庭で思いっきり遊ぶ

参加実績

●平成19年度

登録率:約70%(特別支援学級児童含む)
(登録数:731人/児童数:1046人)
○活動総日数:259日
○通常授業日:184日(平均107人参加)
○土曜日:38日(平均17人参加)
○長期休業日:37日(平均35人参加)
※プール活動:8日

●平成20年度

(平成20年11月末現在)
登録率:約72%(特別支援学級児童含む)
(登録数:759人/児童数:1045人)
1・2年の登録率:約90%

活動内容

- 運営委員会について 「地域立」の考えにより、地域の協力者、当該校の元校長、元PTA会長・PTA代表者や校長、スタッフリーダー等で運営委員会を組織し、年2回、運営の在り方や実施内容などを検討している。平成18年度から、保護者や地域の要望を受け、土曜日や長期休業日の実施と活動時間の延長を行った。
- 日々の活動やイベントの開催について 子どもたちは、教室で下校の挨拶をした後、「スタッフルーム」で、「ほうかごところ」の受付を行う。活動は、自分で計画し、好きな遊びをしたり、宿題や読書などを行う。また、地域に住む漫画家の指導による「まんが教室」や季節の遊びや行事も実施している。スタッフは、見守りを基本とし、子どもの要望によって共に遊んだり必要な支援をしている。
- 保護者・地域との連携と安全対策 保護者には、帰宅の際の迎えをお願いし、下校の安全を確保している。体育館入り口のインフォメーションコーナーでは、様々な情報提供を行い、学校のホームページには、広報紙を掲載するとともに、全家庭に広報紙を配布している。スタッフは、県主催の研修や、救命救急法の研修を受けるなど、資質向上に努めている。また、緊急時の対応など、マニュアルを備え、安全面の配慮も行っている。なお、ボランティアは、「所沢市市民活動総合補償制度」が適用され、安心して活動に参加できる。



まんが教室は、大盛況!みんな真剣

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 所沢市では、本事業実施にあたり、実施する小学校に非常勤職員の「放課後支援員」を配置している。事業実施における役割として、調整役のコーディネーター(「スタッフリーダー」と呼ぶ)と学習アドバイザー及び安全管理員(スタッフと呼ぶ)を位置付けている。放課後支援員は、主に学区内の人材を任用している。
- 配置人数 放課後支援員の配置は、基本的に一日あたり、5名でシフトを組んでいる。学校行事や「ほうかごところ」のイベント等、参加人数が多いときは、シフトの人数を増やし、安全面に配慮をしている。
- 保護者・地域・大学との連携 卒業生、保護者、地域のボランティア登録がある。また、市内の大学との連携により、夏季休業中には、毎回4～5名の学生ボランティアの参加がある。

事業を実施して

- 子どもたちの変容:遊びや学びを通して、異年齢とのふれ合いをしたり、協力したりして、自主性や社会性が育ってきている。また、宿題を終わらせてから遊ぶ、親と約束した時間を守る等、自立心も友達との交流の中から養われてきた。
- 地域のコミュニティの充実:「地域立」の運営により、地域全体で放課後の子どもの生活について考える機会が生まれ、地域のコミュニティづくりの一役を担っている。また、「ほうかごところ」の卒業生がボランティアとして気軽に手伝いに来るなど、子どもたちとの交流をとおして、地域への愛着や人のために役立ちたいという社会奉仕の心が育まれている。

一小あびっ子クラブ【千葉県我孫子市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

- 現代社会で希薄になっている“地域で子どもを育てる”“子どもたちが安全・安心に遊べる”を基本に、学校の敷地内に放課後子どもたちが安心して自由に過ごせる場を提供し、地域の方々の協力のもと、異年齢間の交流や様々な体験を通して、子どもを育むことを目的として、子どもの居場所事業（あびっ子クラブ）を実施する。

教室の実施場所

小学校施設 あびっ子クラブのメインルーム、
体育館、図書室、校庭、地域交流教室など

教室の開催日

毎週月曜日～金曜日 放課後～17時
土曜日・振替休日・長期休業日 9時～17時
(平成21年4月1日から10時～17時にかわります)

参加対象者

実施小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

参加申し込みは原則不要、参加費は無料
(平成21年4月1日から登録制とし、
年額500円が必要となります)

参加実績

平成19年度参加実績(6月1日開設)

- 一小あびっ子クラブ
- 学校の児童数 596人
- 延べ参加数 10,392人
- 参加率 6% ○開設日 233日
- チャレンジタイム 延べ実施回数 92回

「お習字」低学年を対象に、月2回行っています。



「ボールを使って遊ぼう」いろいろなボールを使って楽しいゲームをしました。



「水ロケットを飛ばそう」よく飛ぶロケットができました!



メインルームでは、自分のしたいことにそれぞれ自由に取り組んでいます。

活動内容

- あびっ子クラブの活動は、遊びなど自由に過ごすことができます。また、計画的に「お習字」「お箏」「ショートテニス」「バスケットボール」「けん玉」などのチャレンジタイムを実施しています。

- 学童保育室も同じ学校内にあることから、学校、学童保育室、あびっ子クラブとの間で施設面、安全面、活動面で連携を図っています。

▶木製ブロック「カブラ」は、独創的な形が次々にできていきます。

▼「お箏」初めてふれたお箏ですが、きれいな演奏ができるようになります。



12月 一小あびっ子クラブ 活動プログラム

	月	火	水	木	金	土
日時	1日 14:20～	2日 14:20～	3日 15:00～	4日 15:00～	5日 15:00～	6日 9:00～
メインルーム	フリータイム	けん玉検定	フリータイム	お習字	フリータイム	フリータイム
図書室	○	×	○	○	あみもの	○
体育館	○	×	×	○	○	△(13:00～)
校庭	×	×	×	×	×	×
日時	8日 00:00～	9日 00:00～	10日 15:00～	11日 15:00～	12日 15:00～	13日 9:00～
メインルーム	○○○で遊ぼう	フリータイム	フリータイム	フリータイム	季節の折り紙	フリータイム
図書室	○	○○○○○○	ぐりとぐらのへや	○○○○○○	○	○
体育館	○	○	×	○	○	ドッジボール大会
校庭	×	×	×	×	×	×
日時	15日 14:20～	16日 14:20～	17日 15:00～	18日 15:00～	19日 15:00～	20日 9:00～
メインルーム	フリータイム	フリータイム	フリータイム	フリータイム	フリータイム	フリータイム
図書室	○	お習字	○	箏	あみもの	○
体育館	○	○	×	×	×	△(13:00～)
校庭	×	×	×	×	×	×
日時	22日 11:30～	23日	24日 9:00～	25日 9:00～	26日 9:00～	27日 9:00～
メインルーム	フリータイム	フリータイム	フリータイム	フリータイム	しめ飾り作り	フリータイム
図書室	○	○	○	たこ作り	○	○
体育館	○	○	○	○	○	△(13:00～)
校庭	○	○	○	○	○	×

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用募集 地域の方々に参画いただき、サポーターとして子どもたちの活動の支援や見守り、チャレンジタイムなどを実施しています。
- 配置人数 リーダー1人、サブリーダー2人、サポーター(有償ボランティア)を活動内容や子どもたちの状況に応じて配置しています。(平成21年4月1日から学童保育指導員とあびっ子クラブのスタッフが一元化となり、両事業の一体的な運営を実施します。コーディネーター、リーダー、サブリーダー、アシスタント、サポーターの方たちが子どもたちの活動をサポートします)

事業を実施して

- 保護者から 放課後に安心して過ごせる場を作っていただき、とても感謝しています。学年を超えて、いろいろな活動ができる貴重な場になっているようです。
- 学校から 授業が終わると、真っ先に「あびっ子クラブ」に行く

たくさん子どもたち。ここではいろいろな遊びを通して、異学年との交流が自然と行われ、その中で子どもたちが成長していきます。地域の方や保護者の方にもお世話になり、地域の中の学校になっています。

すまいるスクール第二延山放課後子ども教室【東京都品川区】 ～遊びも学びも友だちといっしょ!放課後のみんなの居場所～

◆事業の目的・理念

- 「学びの場」である学校施設を活用し「子どもたちが自主的に、安全に自由に有意義な時間を過ごす場所」とする。
- 児童が学年を超えた交流をするなかで、さまざまな社会性を身につけて成長し、全ての児童が安心して過ごせる「すまいるスクール」として、学校との密接な連携のもとに保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら、事業内容を充実させる。

教室の実施場所

小学校内に専用スペース。校庭、体育館のほか図書室や家庭科室など授業で使用されていない教室でも活動。

教室の開催日

- 月曜日から土曜日 ただし、祝日、年末年始(12/29～1/3)は実施せず。
- 学校がある日は放課後から午後6時まで
- 学校が休みの日は午前8時30分から午後6時まで

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)。

参加実績

平成20年6月の度参加状況

児童数	618名
登録者	486名
平日参加	3063名
平日1日平均	145.9名
土曜参加	390名
土曜1日平均	97.5名



キンボール教室の様子

申込み手続きなど

- 入学前に保護者説明会を開催。
- 参加費と保険料(年間1,100円)。 その他教材費の実費負担あり。

活動内容

- すまいるスクールでは、「勉強会」、「教室」、「フリータイム」を中心に、多様な内容の事業を実施している。
- 「勉強会」は、学校の授業と連携して、主に国語と算数の復習を行い、教員免許を持った指導員が、学習を指導している。
- 「教室」はパソコンや野球など、体験的、趣味的な活動やスポーツなどを保護者や地域ボランティアの協力を得て行っている。
- 「フリータイム」は、宿題や読書で静かに過ごしたり、活動的に伝承遊びやスポーツをしたりするなど、自由に過ごす時間。

勉強会の様子



日	月	火	水	木	金	土
1	2 4:00～ 学習タイム	3 勉強会 3:00～3年 4:00～5.6年 卓球タイム	4 3:00～ バドミントン	5 勉強会 2:30～1年 バドミントン	6 勉強会 3:00～2年 4:00～4年 こま・けん玉検定	7 10:00～ 2年パソコン 1:15～ PTAサッカー
8	9 4:00～ 学習タイム	10 勉強会 3:00～3年 4:00～5.6年 卓球タイム すまいる工作「ちよこちよこアニマル」	11 3:00～4:00 第2回 めんこ大会	12 勉強会 2:30～1年 ダブルダッチ	13 勉強会 3:00～2年 4:00～4年 こま・けん玉検定	14 10:00～野球 11:00～手話 1:30～ 3年以上パソコン
15	16 4:00～ 学習タイム	17 勉強会 3:00～3年 4:00～5.6年 卓球タイム	18 3:00～4:00 第2回 めんこ大会	19 勉強会 2:30～1年 ダブルダッチ	20 勉強会 3:00～2年 4:00～4年 こま・けん玉検定	21 学校公開 着付け講習会
22	23 4:00～ 学習タイム	24 勉強会 3:00～3年 4:00～5.6年 卓球タイム	25	26 勉強会 2:30～1年 お話し会 ダブルダッチ	27 勉強会 3:00～2年 お話し会 4:00～4年 こま・けん玉検定	28 10:00～ キンボール 1:15～ PTAバスケット
29	30 4:00～ 学習タイム	5月31日(土)「パーチメントクラフト」作品展に出品しよう! 6月7日(土)サッカー教室 6月21日(土)着付け講習会 6月28日(土)バスケットボール教室 ※詳しくは後日PTAから手紙が配布されます。				

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 担当指導員：品川区役所職員
非常勤職員：教員免許を有する者
一部業務委託
- 配置人数 担当指導員を含め8名
- その他 地域のボランティアの方々が多参加

事業を実施して

- 保護者からは、学校内で活動しているので安心して。さまざまな経験が出来るので良いと好評。児童からは友だちと遊べる、好きな遊びが出来る、イベントが楽しいなど、個々の状況に合わせて事業展開を行っている。

すぎっ子くらぶ【東京都杉並区】

～「路地裏遊び」のチカラ～

◆ 事業の目的・理念

- 安全な遊び場と言える場所が少なくなり、放課後の過ごし方がわからない子どもたちも増えているため、平成16年度より地域子ども教室推進事業が始まったことをきっかけとし、昔の路地裏遊びのような自由な空間をつくることを目標に、子どもたちが安心・安全に過ごせる放課後の居場所づくりを推進する。

教室の実施場所

杉並区立杉並第一小学校の施設(校庭・体育館・図書室・視聴覚室)で実施。

教室の開催日

長期休業期間中を除く平日
原則として授業終了時から午後5時まで

参加対象者

杉並第一小学校児童(1学年～6学年)

申込み手続きなど

- 学校の担任教諭を通して配布される申込書を放課後子ども教室事務局に提出。
- 入会后、傷害保険料(年500円)・おやつ代の実費負担あり。

参加実績

平成20年度参加実績

児童数 : 345名
登録者数 : 171名
平均参加人数 : 約90名



室内での自由遊び

活動内容

- 体育館・校庭等の施設をメインとした自由遊びを中心に活動している。低学年の子どもたちは、高学年の授業が終わるまで校庭では遊べないルールのため、ほとんどの子どもたちは視聴覚室に入った後、誰に言われるまでもなく宿題やプリントをする。その後、高学年の授業が終わってから校庭や体育館での自由遊びが始まる。
- 自由遊びのほかに、学習アドバイザーによる週2回の小学生向けの英語活動を、希望者を対象に実施している。英語活動は、学年に応じて2～3クラスに分け、それぞれのレベルに合わせた活動を行っている。
- 年に一回程度、近隣の学童クラブと連携して、元ラグビー日本代表の方を招き、タグラグビー教室を実施している。

プログラム日程表(例)

曜日	月			火		水	木		金
学年	1	2・3	4・5・6	1・2	3・4・5・6	全学年	1・2	3・4・5・6	全学年
13:30～14:30	英 視	授業	授業	授業	授業	視 校	授業	授業	授業
14:30～15:30	視	英 視	授業	視	授業		英 視	授業	視 校
15:30～17:30	視 校	視 校	英 視 校	視 校	視 校		視 校	英 視 校	

英 英語教室(希望者対象) 視 視聴覚室・体育館・図書室開放 校 校庭開放



英語でカルタ取り

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
クチコミを中心として集まった地域の方々の協力によって実施している。
- 配置人数
安全管理員：1日あたり7～8名程度 学習アドバイザー：英語活動の日に1名
- スタッフの中に現役の保護者はおらず、地域の方々の協力によって実施されているが、学校の教員との連携により、子ども一人ひとりの一日の心の動きを把握しながら運営されていることが特長である。

事業を実施して

- 異学年の交流・連帯感・仲間意識が生まれている。
- 学校とスタッフと各家庭の連携ができるようになった。
- 遊ぶ前に宿題を終わらせる、晴れた日に外で遊ぶ等、昔ながらの子どもらしい過ごし方をするようになった。
- 子どもたちが家庭で過ごす時も、規則正しい生活をするようになった。

道上小学校放課後子ども教室【東京都葛飾区】 ～小学生の安全で楽しい居場所「わくわくチャレンジ広場道上」～

◆ 事業の目的・理念

- 主に放課後の子どもたちに安全に遊べる場所を提供し、自由に遊び・学べるようにサポートする。
- 遊びを通して、学年の異なる子どもたちや地域の方々と交流することにより、自主性や社会性・創造性を育む。
- 地域の方や保護者と協力し、子どもたちが健全に遊べるための環境づくりを推進する。

教室の実施場所

各小学校の空き教室などのメインルーム・体育館・校庭。専用電話設置。

教室の開催日

道上小学校「わくわくチャレンジ広場 道上」

- 月～金曜日：下校時～18:00
(12月～2月は17:00まで)
- 土曜日：9:00～17:00
- 春・冬休み：13:00～17:00
- 夏休み：14:00～17:00
(各学校により異なる)

参加対象者

小学校4年生から6年生
(対象は各学校によって異なる)

参加実績

- H19 登録率 74.8%
参加率 18.7%(H19.6)
- H20 登録率 78.1%
参加率 20.5%(H20.6)
(葛飾区内全49校分)
- 道上小学校「わくわくチャレンジ広場道上」
実績 登録者 253名(登録率81.4%)
参加者 平均55名(参加率21.6%)
(平成20年6月)



メインルームで自由に過ごす

申込み手続きなど

- 毎年、年度末に学校を通じて配付するわくチャレ登録申込書と保険加入料400円/年を提出。参加は無料。(それ以外はメインルームに直接申し込むことができ、1年を通して随時登録申込が可能。)
- 登録更新は1年ごと(4月1日から翌年3月31日まで)

活動内容

- 基本は自由遊び。
- 各学校でいろいろなプログラムを設けている。道上小学校のわくチャレではソフトボール・ビーズ・手芸など
- イベント キックベースボール大会、卓球大会など

活動日程表(平成21年2月わくチャレ道上予定表より)

	月	火	水	木	金	土
第1週目	たつきゅう	サッカー	ソフトボール	たつきゅう サッカー	ソフトボール	しゅげい
第2週目	ビーズ たつきゅう	サッカー	お休み	たつきゅう サッカー	ソフトボール	ビーズ
第3週目	たつきゅう	サッカー	ソフトボール	たつきゅう サッカー	ソフトボール	しゅげい
第4週目	たつきゅう	サッカー	ソフトボール	たつきゅう サッカー	ソフトボール	ビーズ

※ソフトボールでは指導ボランティア2名がついて丁寧に指導してくれるため子ども達に大人気のプログラム。
※ビーズは児童指導サポーターが指導し作品をつくる。材料費として実費を集金している。
※平成20年度から、学習や文化・スポーツのアドバイザーを活用し、内容の充実を図っている。



ソフトボールの様子

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
 - 現場で活動する、児童指導サポーターは100%地域の方々(自治町会、青少年委員、PTAなど)
 - 各学校の運営委員長の推薦により決定(事業の円滑な運営と充実を図るため各学校に運営委員会を設置している)
- 配置人数
1日当たり、メインルーム・校庭・体育館に各2名ずつ、計6名配置。内訳は「リーダー1名」、「サブリーダー5名」、「指導ボランティア(活動の実施内容によって人数が異なる)」

事業を実施して

- わくチャレへ参加して(H19アンケートより)
子ども 友達が増えた。いろいろ遊べたりスポーツができるのが楽しい。サポーターさんがいっしょに遊んでくれて、やさしく教えてくれる。
保護者 放課後そのまま学校内で遊べるので安全。内容が充実している。低学年から参加できるようにしてほしい。

- 児童指導サポーターの声
地域で顔見知りの子どもの数が増えてあいさつを交わすようになった。学校以外で子どもたちから声をかけられるようになり嬉しい。学校・PTA・地域との連携がもっと必要。

高山ふれあい広場【東京都三鷹市】

～みんなで見守る地域の子ども～

◆事業の目的・理念

●三鷹市地域子どもクラブ事業として、学校を拠点とした子どもたちの安全で安心な居場所、遊び場づくりに取り組んでいる。子どもたちの思いやりや行動力、協調性、前向きに生きていく力など、心の豊かさは、学校生活だけで身に付くものではなく、家族や同じ地域で暮らす多くの人々とふれあいながら得られるものと考えている。また、子どもとのふれあいを通して、大人たちも交流を深めることにより、大人を育み、地域教育力の向上や地域コミュニティづくりにつながる結びつきを大切にしている。

教室の実施場所

校庭、体育館、図書室、図書室、会議室、ミーティングルーム

教室の開催日

火・水・木・金・土・日曜日

参加対象者

高山小学校児童1～6年生 未就学児・保護者が参加できる事業もある。

参加実績

平成19年度参加実績

事業実施回数 349回
参加延人数 6,859人
※児童数 531人
(平成20年5月1日現在)



フラダンス、見てくれて緊張!
(高山ふれあい広場発表会)

申込み手続きなど

- 参加申込書を配布して募集
- 参加料金については講師謝礼や材料費から算出
- 年に数回開催されるイベントなどはその都度参加者と安全管理者を募集

活動内容

- 高山ふれあい広場では児童や保護者のニーズに合わせた事業展開をしている。また、小学校では部活、PTA、地域団体のような様々な団体が活動しており、高山ふれあい広場が中心となって呼びかけて団体の代表と情報交換を行っている。
- 児童が一年間がんばった成果を発表する「高山ふれあい広場発表会」も実施
- 学童保育所とはお互いを尊重しながら連携を図り、学童保育員が指導者となって全児童対象に工作などのイベントを実施

平成20年度 高山ふれあい広場 年間予定表

高山小学校 高山ふれあい広場

日	月	火	水	木	金	土	
ニコニココンバット 16:00～17:30 (第2・第4日曜日) 対象:1～6年生・保護者 (空手・ボクシング・ムエタイを組み合わせ、音楽に合わせて動く)		フラダンス 15:40～16:40 対象:1～6年生	学習教室 14:00～16:00 対象:3・4年生	普通クラブ 15:15～16:30 対象:4～6年生	新体操 15:30～16:30 対象:1～6年生	おはなしかい 10:00～10:30 自由参加 (未就学児童は保護者同伴)	さくらクラブ(琴) 10:00, 10:40, 11:20 対象:2～6年生
			バドミントン 15:00～16:30 対象:1～6年生			ヒップホップ 10:00～11:30 対象:1～6年生	科学工作クラブ 10:00～11:30 対象:4～6年生
			わくわくクラブ(工作) 学期ごとに1回程度 対象:1～6年生				
			放課後遊び 14:30～16:40 自由参加	放課後遊び 15:30～16:40 自由参加	放課後遊び 15:30～16:40 自由参加		



字がきれいになったよ。(書道クラブ)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 高山ふれあい広場の代表者、クラブコーディネーターは発足当初から継続して担っている。安全管理者は、申込制の事業については参加している児童の保護者が交代で行い、また自由参加の事業については小学校の保護者全員に呼びかけ約20人の登録がある。
- 配置人数 代表者1人、クラブコーディネーター1人、各事業担当者1人
安全管理者は各事業に2人配置
- 講師 地域、保護者の皆様からも、特技や趣味を通して講師としての参加希望がある。

事業を実施して

高山ふれあい広場の発足当時から参加させていただいているが、放課後あそびや書道、琴、科学、工作、おはなしかいなどのように継続して実施している事業は、継続することによって児童や保護者にもよく知られるようになってきたと感じている。また年度ごとに児童、保護者の希望を聞きながら単発で開催する事業など、様々なニーズにも対応している。児童にとって異学年が交

流をできる一つの居場所となり、貴重な体験もできると感じる。運営については、小学校ではPTAや地域団体も活動しており、他団体との連絡会も開催してお互いの運営状況などの情報交換している。これからも子ども達が安心して安全に参加でき、保護者や学校、地域の皆様の交流の場となるよう、柔軟に活動を続けていきたい。

こだいら放課後子ども教室四小地区【東京都小平市】

～地域で育てよう、すこやかなこども～

◆事業の目的・理念

- 放課後や週末などに小学校を活用して、地域の方々の参画をえて、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。
- 四小の放課後子ども教室は放課後子どもを預かるだけの場所ではなく、いろいろな活動を通して保護者・地域の方々のご協力をいただき、子どもたちの豊かな成長を願って一緒に創っていくもの。子どもの居場所づくりが、大人にとっても素敵な居場所となることを目指す。

教室の実施場所

小学校の各種教室・体育館・校庭・公民館など

教室の開催日

平日・土・日など不定期に開催
(毎月お知らせに日程表を配布)

参加対象者

小学校1年生～6年生
幼児・中学生も活動によって可

申込み手続きなど

- 年度初めに放課後子ども教室保険加入の受付 年間80円(年度内、いつでも受付)
- 登録制の事業と事業開催時におたよりで申し込みを受け付ける事業とがある。おたよりは担任より配布、申込み担任に提出。担任から副校長の机のケースに入れてもらう。

日	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高		ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	にじいろひろば 15:00-18:30 いそよそ 15:00-19:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高
8	9	10	11	12		
ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高		
13	14	15	16	17	18	19
小学生 10:00-11:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高	ふらふらふら 15:00-18:00 ※中・小・中・高
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

活動内容

にじいろひろば(昔遊び)・小さなおはなし会・花いっぱい活動・よさこい
ほのぼのワールド(夏休み2日間の一大イベント・学校中で17種目)
インターネット子ども教室・ナラミー教室(習字・算数)
わくわく遊ぼう会(ミニバスケット・卓球・フラッグフット)
レットトライ(陶芸教室・英語教室・三味線教室・料理教室・屋上緑化…)

参加実績

- 平成19年度参加者(延べ人数)
- 参加児童 10278名
- 指導者 1093名
- 安全管理ボランティア 1467名
- 大人参加者 1087名
- 小平第四小学校児童数 463名
- 登録数 314名
- 活動回数 279回



にじいろひろば 〈七夕おりがみ〉



にじいろひろば 〈五色百人一首〉



ナラミー教室 〈数字と友だちになろう〉

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

実行委員の募集は年度初めに。ボランティアや安全管理者や指導者は随時募集口コミや大学・公民館などから申入れなどがある。

●配置人数

事業によって違うが、平均9人程度を配置している。

●子ども教室が始まる前からの活動も放課後子ども教室として取り込むことで、活動の幅とボランティアのすそのが広がってきている。

●地域の公民館や大学とも連携し、講座のグループやクラブの学生に指導者やサポーターとして協力していただいている。

事業を実施して

- (子どもたちの居場所と思って始めたことが、地域の方々地域デビューの場となったり、大人の居場所にもなっている。
- 異学年や地域の高齢者との交流が経験できるようになり、子どもたちの表現力が豊かになってきている。
- 地域のボランティアメンバーが学校の地域参画型の授業などに関わるようになり、地域による学校支援活動が進み、さらに豊かな幅の広い教育活動が展開できるようになった。

逗子小学校ふれあいスクール【神奈川県逗子市】

◆ 事業の目的・理念

- 逗子市次世代育成支援行動計画に基づき、家庭・地域・学校の連携のもとに、小学生の放課後の居場所、遊び場及び異年齢交流の場を確保し、児童の健全育成を図るとともに、乳幼児の子育てを支援することを目的とする。

教室の実施場所

逗子小学校の多目的教室、校庭、体育館で活動を実施

教室の開催日

- 開設日
月曜日～土曜日、夏休みなどの長期休業期間も開設
- 開設時間
授業のある日 放課後～午後5時
授業のない日 午前9時～午後5時

参加対象者

逗子小学校に在学しているか、逗子小学校区在住の小学校1年生～6年生

申込み手続きなど

- 放課後一度帰宅してからの利用であれば登録不要。学校から直接利用する場合のみ登録が必要
- 登録は逗子小学校ふれあいスクールへ申込み。利用料は原則不要(イベント参加時に実費負担を求める場合あり)



多目的教室棟の前で遊ぶ子どもたち

活動内容

● 活動内容は、毎日の子どもの自主的な遊びが中心

多目的教室では、折り紙、工作、読書などをして過ごすことができ、校庭では、ドッジボール、おにごっこ、なわとびなどをして遊ぶことができる。また、ふれあいスクールによる季節イベント、地域・保護者・学校の協力によるイベントも実施

● 主なイベント

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 4月 ウェルカムパーティー | 10月 ハロウィンパーティー |
| 5月 スライム作り、母の日プレゼント作り | 11月 焼いて食べよう |
| 6月 父の日カード・プラバン作り | 12月 クリスマスパティー |
| 7月 リレー大会、誘拐防止教室 | 1月 手づくりこま大会 |
| 8月 デイキャンプイベント | 2月 ウィンターコンサート、ひな祭りカレンダー作り |
| 9月 ドッジボール大会 | 3月 卒業・進級イベント |



手づくりこま遊びの様子

● その他

放課後の活動の他に、多目的教室を活用し、週2回午前中に乳幼児とその保護者向けのスペースとしての活動も実施



「お茶会によるこそ」の様子

参加実績

- | | |
|----------------|---------------------|
| ● 小学校児童数 | 913人(H20.5.1) |
| ● ふれあいスクール登録人数 | 465人 |
| ● 利用実績(H19) | 延29,914人(1日平均約106人) |
| ● 開設日数(H19) | 281日 |

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
 - コーディネーター 現場のリーダーとして市が採用する非常勤職員(チーフパートナー)がその役割を担う。
 - 安全管理員 市が採用する非常勤職員がその役割を担う。
- 配置人数
チーフパートナーを含むふれあいスクールパートナー14名を登録し、ローテーションにより、1日平均7～8名を配置。
- その他
地域の方々との協力による「すばなしおはなし会」や「お茶会によるこそ」は毎月の恒例のイベントとして定着。

事業を実施して

- 平成11年9月に始まり、家庭・地域・学校の理解と協力により運営を進める中で、子どもたちの遊びの場、交流の場として定着してきており、楽しく遊べる場所として多くの利用を得ている。
- 平成20年度に市内全市立小学校でふれあいスクール事業を展開。

希望が丘あそびの城【新潟県長岡市】

～地域の子は自分の子のようにみんなで育てたい～

◆ 事業の目的・理念

- 子どもたちに多くの出会いと交流の機会を提供する。
- 子どもたちに健やかな成長に不可欠な体験を提供する。
- あそびの城の活動をとおして、大人の居場所を提供する。
- あそびの城の活動をとおして、地域の絆づくりをめざす。

教室の実施場所

- 希望が丘小学校体育館・グラウンド
 - 希望が丘コミュニティセンター・児童センター
- ※児童センター脇に池や田畑を造成

教室の開催日

- 基本実施日
- 月・火・木・金曜日 15:00～17:00
 - 隔週土曜日 15:00～17:00
- 学校の長期休業中及び特別なプログラムは別計画による。

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)。
幼児・中学生も可。

申込み手続きなど

- 学校を通して配布された月計画により、希望する日に記名のうえ自由参加としている。
- 教材が必要であったり、人数に制限が必要な場合には、申込制としている。
- 参加料金は不要。ただし、必要に応じて教材費の実費負担がある。

参加実績

平成19年度の実績

- 開催日数 210日
- 希望が丘小学校児童数 531名
- 一日平均参加者数 50名
- ※ボランティアのべ参加者数 904名

活動内容

基本活動内容

- 月・火・木曜日…小学校の体育館での自由遊び(第1・3月曜日はスポーツの日)
- 金曜日…コミュニティセンターでの囲碁、将棋、オセロ等
- 土曜日…コミュニティセンターでの読み聞かせ、工作等

特別なプログラム

- スポーツ体験…野球、サッカー、バドミントン、卓球等
- 文化体験…お茶、生け花、紙芝居、豆まき、もちつき等
- 自然体験…草花の世話、ビオトープ活動、虫捕り等
- 学びの場…理科教室、造形教室、生き物教室等
- 交流の場…スイカ割り、ボランティアとのお話交流会

親子交流会(子ども、保護者、ボランティア)

- 遊びの場…竹とんぼ等の昔遊び、ゲーム大会等
- エコ教室…廃棄物利用の工作、紙飛行機、楽器作り
- 大学との連携
「すぐ冷えるパック」と「カイロ」作り(長岡技術科学大学)
うちわへの絵描き(長岡造形大学)
万華鏡作り(長岡工業高等専門学校)
- 地域との連携による活動
希望祭り(昔遊び、わら細工、金魚すくい等の出店の実施)
健康ウォーク



遊び疲れてひと休み



化学教室(冷えるパックとカイロ作り)

12月の「あそびの城」開設日

曜日	月	火	水	金	土	日	火
	1 会場は 児童センター	2 会場は 児童センター	4		6	6	1
	8 あそびの城 スポーツの日 野球・バドミントン	9	11	12			今回は月曜日に 赤ちゃん相談会 を行います。
	15 あそびの城 スポーツの日 野球・バドミントン	16	18		20	20	16
	22		25 会場は 児童センター	26	12月20日は「エコ楽器を作 って楽しもう」があります。詳しく はチラシでお知らせします。		
会場	希望が丘小学校体育館			希望が丘コミュニティセンター			
時間	午後3時から4時30分まで			午後3時から	午後3時から	午前10時から 11時30分まで	午前10時から
内容	ホールあそび・けんだま・お手玉・一輪車・竹馬・卓球・囲碁・おにごっこ・じゃんけんあそび・フラフープ・バドミントンなどいろいろ			囲碁・将棋・オセロなど	おひさま文庫・工作・読み聞かせ	いけばな・茶道	親子サークル・親子遊びなど

コーディネーターや地域の方々などの参加

- ボランティア募集 希望が丘コミュニティ推進協議会(町内会長、福祉関係者、老人クラブ、学校等各種団体の代表をもって構成)に事業を委託し、その下に「あそびの城実行委員会」を組織して、関係者の声掛けや広報誌によりボランティアを募集している(平成19年度は100名登録)。
- 配置人数 登録されたボランティアが安全管理員としての役割を担ったり、学習アドバイザーとしての役割を担ったりしながら、通常は1回につき5～6人で運営している。
- 実行委員会に「運営広報班」「活動計画班」を設け、事業を分担しながら推進している。市内2大学・1高専や地域の各種団体と連携して、様々な体験教室を実施している。

事業を実施して

- 子どもたちの遊び場が少なくなった昨今、誰でも遊べる場を提供していただいたり、いろいろな体験をさせていただき、ありがたいという声が多く保護者から寄せられている。
- 参加するボランティアからも、子どもと過ごすことが楽しいし、月1～2回の活動なので負担感はなく、ボランティアの懇談会や研修会(パソコン、折り紙、竹工作等)もあり、自分たちの居場所ともなっていてうれしいと思われる。
- 児童クラブとも行事を共催したり、このボランティアが中心となり学校田を造成する等、児童センターや学校との連携に深まりも生じている。

立山かがやきクラブ【富山県立山町】

～「地域の子どもは地域で育てる」という伝統～

◆ 事業の目的・理念

●平成16年度スタートの「地域子ども教室」実施前から、「地域で協力してスポーツ好きで元気に遊ぶ子どもを育てよう」を目的に、PTAや校区の有志の方が中心となり、スポーツ教室を開催していた。そのスポーツ教室を母体とし、子どもたちが安心して活動に力いっぱい取り組み、いろいろなスポーツを楽しむとともに、地域の大人の方と出会う場として、「立山かがやきクラブ」を設定した。

教室の実施場所

立山町立立山小学校のグラウンド、体育館、相撲場を定期的な活動場所としている。

参加対象者

立山町立立山小学校全児童
※全学年児童が対象

参加実績

平成19年度実施回数 165回
(野球:77回、ティーボール:17回、トランポリン:53回、運動大好き:16回、すもう:2回)

平成20年度実施回数(予定) 196回
(野球:85回、ティーボール:12回、トランポリン:72回、運動大好き:24回、すもう:3回)

教室の開催日

- 平日 16:00～17:15(最長で18:30 ※種目によって終了時間に変動有り)
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～11:30
- 年間200日以上の実施を目標としている。

申込み手続きなど

- 前年度末に、全校児童を対象に申し込み用紙を配布し、募集する。年度始めに名簿を整備し、活動体制を整える。参加者は常時募集している。
- 保険料と教材費で年間3,000円の負担あり。

活動内容

- 年間を通して、様々なスポーツに親しむ事の出来るように、野球の活動を基盤としてトランポリンや、すもうなどを行えるよう計画を立案。
- 子どもたちの安全を十分に確保し確実な見守りができるような、複数の安全管理員とボランティア指導者等による安全体制づくり。
- トランポリンやすもう、昔の遊び等、普通の学校生活だけではなかなか体験できない活動を設定し、みんなで楽しく取り組んでいる。

教室名	実施月	実施日時
トランポリン	4月～12月	金曜日 16:00～17:15
		土曜日 16:00～17:30
運動大好き*1	毎月第2、4土曜日	9:00～11:30
すもう	5月	16:00～17:30
野球*2	1年間 週3回	16:00～18:30

*1 かけっこ、鬼ごっこ、リレー、昔の遊び、一輪車、竹馬、ドッジボール、スキー、スケートなど
*2 ボール遊び、キャッチボール、ティーボール、ゲームなど



トランポリンは子どもたちのお気に入り



寒い冬も元気に活動します



四股踏みも堂に入っています

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集** 採用について、特に資格等は求めている。主に立山小学校のPTA会員の中から、自薦他薦により指導者が集まってきている。また、指導者同士の情報交換が新たな人材発掘に繋がる場合もあった。
コーディネーターについては、立山小学校の意向も踏まえてお願いしている。
- 配置人数** 活動時は、安全管理員(指導者)が常時2名担当し、他にボランティアの指導員を複数配置する体制をとっている。全員が安全管理員の意識を持って、本事業に取り組んでいる。

事業を実施して

●事業の母体となる活動が以前から行われていたので、山間の小学校ではあるが、多くの地域の方々、指導者やボランティアとして本事業に関わっていただけたのがとてもありがたい。

【子どもから】 大好きなトランポリンをとび事ができてとてもうれしい。もっともっといろいろなとび方を教えてほしい。

【保護者から】 放課後に安心して活動できる場所があって助かる。他の学年の友達と接する事が出来る機会がさらによいと思う。

【指導者から】 子どもたちがけがも無く元気に活動している事がとても嬉しい。これからも、みんな健康で様々なスポーツを体験できるよう工夫していきたい。

上庄放課後子ども教室【福井県大野市】

◆ 事業の目的・理念

- 異年齢児童や地域住民と共に、遊びや様々な体験をすることによって、心豊かでたくましい子どもを育成する。
- 地域総ぐるみで子どもたちを育成するための、地域力を育成する。

教室の実施場所

- 小学校の専用教室1部屋(畳を敷き、ごろ寝もできるようにしてある)・校庭・体育館
- B&G海洋センターの体育館・プール(上庄小学校から300m)など

教室の開催日

給食のある日の放課後17:30まで
(長期休暇、土日・休日は実施しない)

参加対象者

上庄小学校1年生～6年生
(使用できるスペースで安全を確保するため、定員30名程度とする)

参加実績

● H19	全児童数	189人
	登録児童数	33人
	開催日数	169日
● H20	全児童数	206人
	登録児童数	32人
	開催日数	190日 (予定)



太鼓のバチを手づくり。太鼓教室で使います。

申込み手続きなど

- 小学校を通し、年間登録申込書を配布。登録希望者に説明会を開催。
- 登録者に対し、翌月の参加予定表を配布。
- 登録料無料。教材費の実費負担あり。

活動内容

- 小学校の専用教室に集合し、宿題(自主学習)の後、学校の校庭・体育館やB&G海洋センターの体育館・プール等に移動し、好きなスポーツ(バドミントン、キックベースボール、一輪車、ドッチボール等)をしたり、自由に遊んだりする。晴天時は、近所の神社等、施設外に出て、遊ぶこともある。雨天時は、専用教室に常備しているダンボール等で工作をする児童が多い。
- おもちゃやゲームがなくても、「思う存分遊べる子ども」を育成すること、また、季節や自然を利用した遊びや、昔遊びなどの体験をさせることに力を置いている。
- 月2回、太鼓教室を開催。
- 自分で遊びを創り出せる子どもを育成するため、プログラムを組む日が少ない。めずらしさもあって、月2回開催の太鼓教室やその他のプログラムを組んだ日は集中して取り組む子どもが多い。

2月の上庄放課後子ども教室 カレンダー

月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
(学校)	(B&G)	(B&G)	(B&G)	(B&G)
9	10	11	12	13
(学校)	(B&G)		(学校)	(B&G)
16	17	18	19	20
(学校)	(B&G)	(B&G)	太鼓教室 (B&G)	(B&G)
23	24	25	26	27
(学校)	(B&G)	(学校)	太鼓教室 (B&G)	(B&G)

※()は宿題終了後、遊ぶ(移動する)場所



夏は、プールで思いっきり遊びます。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 安全管理員は、上庄放課後子ども教室の目的に賛同する方であること
- 配置人数 子ども15人～25人を安全管理員3～4人で指導する。
- ①実行委員会は、PTA役員・小学校教頭・安全管理員(地域住民)・区長会代表・主任児童員・公民館長の6人。本事業は、行政主導でなく実行委員会が中心となって立ち上げた。
- ②事務局は、公民館
- ③安全管理員は、地域住民。ローテーションを組んで、子どもたちを指導する。月に1回、安全管理委員会を開催し、全員で、その月の反省と翌月のプログラムを検討する。実際に子どもに関わっている安全管理員が、コーディネーターや学習アドバイザーの役割も担っている。安全管理員は、子どもたちが思う存分遊んだり、様々な体験ができるよう、その日の子どもたちの状態や季節、自然環境などの状況に応じ、また、それらを利用し、指導している。

事業を実施して

- <安全管理員の声> 道具がないと遊べないと思っている子どもたちに、昔を思い出しながら自然の中で楽しむ遊びを提供している。こちらから教えるのではなく、子どもの反応を見ることを心がけている。いいことと、悪いことはその場ではっきり自覚させるようにしている。後片付けなど、自分のことは自分でさせている。
- <学校関係者の声> 交通事故はもちろん、熊が出没した時など、下校時の子どもたちには危険がいっぱい。子ども教室に通う子どもたちは各担任も把握しているし、事務局の公民館長から、子ども教室に関する連絡もある。学校としてありがたい。その都度、よりよいあり方を検討しながら協力していきたい。
- <保護者の声> 親として、宿題を終えて帰ってきてくれるので助かる。子どもたちが異なる学年の子や安全管理員の人たちとの交流を楽しんでもらえればうれしい。家に帰ると夕食をいっぱい食べ、早い時間に寝てくれるようになった。
- <子どもたちの声> 楽しかったこと:外やプールで、体を動かして遊ぶこと。つまらなかったこと:勉強、おこられたこと、無し。(アンケート結果より)
- <行政> プログラムを組む日が少ないため、最初の頃は不安だったが、安全管理員は、安全に配慮しながらも、臨機応変に子どもを飽きさせることなく、上手に指導している。学校からも、様々なことで協力、助言をいただいている。保護者も協力的である。まさに、保護者・地域・学校・行政の4者総ぐるみが底力を発揮する事業である。また、子どもたちは、地域のかたがたや、異年齢の子どもたちと共に、思う存分遊び、様々な体験をし、満足して家へ帰っている。その様子は、物はなくても、たくましく生きる力を持った、昔の子どもたちを思い起こさせる。

みんなの居場所「羽黒ほっとサロン」【山梨県甲府市】

◆ 事業の目的・理念

● 地域住民のボランティアによる「放課後子ども教室」です。62名のボランティアが共有理念としていることは、①人はひとりでは生きていくのではないこと(自他共に気持ち良く生きていくためには、他人を思いやり我慢・自制心が大切であることを、あらゆる場で体得させている)、②持続可能な地球環境を守り継ぐこと(環境学習の重視～農業体験・植栽ビオトープの管理)、③「ありがとう・おかげさまで」の心を育成するため、1分間スピーチで訓練しながら、言葉による感情表現ができるようなコミュニケーション能力を高めています。

教室の実施場所

甲府市立羽黒小学校の空き教室を「行政財産の目的外使用許可」をいただいて実施しています。

教室の開催日

月曜日から金曜日まで、学校がある日の原則午後3時～午後6時まで。夏休み中も盆休み以外は開催しています。
平成20年度は、239日間開催します。

参加対象者

原則4年生から6年生までを対象としています。

参加実績

隣接地に「放課後児童クラブ」があるので、原則4年生以上を対象としていますが、現在は1年生から6年生まで31名が登録しています。

申込み手続きなど

保護者が必要に応じて来所し、代表が面接して、必要緊急度に応じて許可し、環境調書などに必要事項を記入していただき許可しております。



田植えのようす

活動内容

● 活動日程表〈放課後常時〉

15時～16時 学習時間(宿題・自由勉強)
16時～16時30分 お掃除
16時30分～ 自由遊び



調理教室のようす

● 年間のおもな活動

4月：友達を知ろう(自画像を描き展示する)
5月：農園・花壇の整備をしよう(播種・植栽) 子どもの日を楽しもう
6月：田おこし・田植えをしよう
「緑のカーテン」ゴーヤ苗を植えよう
7月：夏の集いをしよう。(農作物の収穫)
8月：川遊び・調理教室で大人と交流しよう
9月：「ふるさとまつり」に参加しよう
10月：稲刈り・地区文化祭に参加しよう
11月：畑の冬支度をしよう
12月：冬の集いをしよう
1月：書初め大会をしよう
2月：節分で弱い心を追い出そう
3月：ひな祭りを楽しもう(蛭の幼虫を放流)



とうもろこしの収穫

コーディネーターや地域の方々などの参加

● 農業体験・緑のカーテン・夏のつどいや冬のつどい・ビオトープの整備や管理(ホタルの飼育)・川遊び(バーベキュー)・調理教室・ふるさとまつり・地区文化祭等々は、育成会員や子どもクラブ指導者、食生活改善推進委員など、コーディネーターと打ち合わせをして、団体活動として例年「羽黒ほっとサロン」と協働で企画参加しています。

事業を実施して

- 【参加者の声】 ここに来ると友達がたくさんいて、みんなと楽しく過ごせるからいい。
- 【保護者の声】 ほっとサロンで生活するようになって、見違えるほど大人になって感謝しています。
- 【ボランティアの声】 月1回のほっとサロンに来る日が待ち遠しいです。子どもの変化がうれしいです。

小布施子ども教室【長野県小布施町】

～未来を拓く小布施の子ども達のために～

◆事業の目的・理念

- 未来の小布施町を担う子ども達に、心豊かでたくましく生きる力を育てほしいと願う気持ちから、子ども達の自主的な行動を育てることを目的に、地域の人々との連携支援による活動の場所であり、遊び、体験活動を通し子ども達が学ぶ場。

教室の実施場所

栗ガ丘小学校余裕教室を利用。体験活動の場としては、体育館、グラウンド、公民館学習室、調理室、また町の文化施設や畑などを利用。

申込み手続きなど

利用希望月の前月の15日までに登録。(一度登録すると年度内は利用可能)
 申込用紙は教育委員会、子ども教室で配布、提出してもらう。
 新一年生に関しては、5月からの利用となる。 利用料金は1ヵ月1,000円
 体験つき希望者は1ヵ月1,500円(登録があっても利用のない月は利用料は徴収なし)

教室の開催日

- 平日：月曜日から金曜日
 放課後～18時(夏季)
 放課後～17時(冬季)
- 長期休業：月曜日から金曜日
 10時～15時

参加対象者

栗ガ丘小学校の1年生から6年生

参加実績

平成19年度

登録数:170人(一般登録105人:児童クラブ登録65人)
 登録率:24.4%(児童数698人)

平成20年度

登録数:223人(一般登録153人:児童クラブ登録70人)
 登録率:32.4%(児童数689人)



収穫したナスでおやき作りを教わる



畑で作業をする様子

活動内容

- 体験活動の内容はコーディネーターと子ども達で毎月予定を決めている。その決めた活動に対し、地域の大人が支援する形をとっている。
- 遊び・体験活動の場、居場所の提供を行う『一般登録』と、就労等により放課後留守になる家庭の児童を町が責任をもって保護する『放課後児童クラブ登録』に区分を分け、遊び場を共有し一体となって行っている。放課後児童クラブから体験活動等にすることもできる。

放課後、ランドセル・荷物を持ったまま受付の部屋に帰ってくる。

↓日々の見守り(安全管理員・スタッフ)

登録区分の分かる名札をつける。

(一般登録:赤 児童クラブ:白)

↓児童クラブ登録はスタッフが出欠や児童の様子を確認

部屋・グラウンド・体育館・町立図書館など決められた範囲で自由に過ごす。(移動するときは、自分の居場所を示すマグネットを動かす)体験活動に参加する子は決められた時間に集合場所に集合し活動に参加。

↓

掃除をし、名札をはずし、ランドセル・荷物を持って受付を終え帰宅。(児童クラブ登録児童の場合お迎えが来たらスタッフが呼び出す。一般登録児童の場合、帰る時間になったら帰る。同じ地区の子ども達はグループで帰る。お迎えに来た保護者は、居場所を示すマグネットで居場所を確認し、自分の子に声をかける。)



新米を使った五平餅作りの様子



コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 町広報誌により募集
- 配置人数 コーディネーター1名 学習アドバイザー1名 安全管理員2名
- キックベースボール大会、運動会、キンボール大会等、保護者が地域の大人として準備等協力。保護者が自由に活動に参加することもある。漬物を漬けたり、おやきを作ったり、凧作り等、地域の大人達に講師となってもらう。各種団体等とも連携しながら、活動を支援してもらっている。

事業を実施して

- 子ども達自身が計画、企画し、実行する力がついてきているのが成果。
- 地域の郷土食、生活文化、四季の行事等を大切にできるようになってきた。子ども達がたてる月ごとの予定にも自然と季節毎の行事が入ってくるようになってきている。
- 放課後、身体を動かして遊ぶ場があることはとてもありがたい。家ではゲームで少数の限られた友達とだけ遊んでいるがそれでは心配になる。(保護者)
- 学期が始まる前に自分で雑巾を作って学校へ持って行ったり、子ども教室での体験を日常生活の中で子どもが活かしているのが嬉しい。(保護者)
- 家や学校ではできない体験をいろいろしているし、自分たちで考えながらやっているのがとても勉強になると思う。(保護者)
- 子ども教室はどういう場所なのか理解できていない保護者には時々困るが、変わっていく子ども達を見て保護者も変わっていている感じがする。(スタッフ)
- 徐々に時計を見ながら行動できたり、子ども達が人に頼らず自分で動けるようになってきている。(スタッフ)
- 体験活動がないとつまらない。(参加児童)
- 自分たちで何をやるか考えるのは面倒くさい時もあるけど、楽しい。(参加児童)

坂祝町子ども教室【岐阜県坂祝町】

～地域や保護者の皆様と共に様々な体験活動ができる空間～

◆ 事業の目的・理念

- 子どもたちが安心・安全に過ごすことができる居場所(活動拠点)を地域の教育力を結集して整備・支援することにより、次代を担う健やかで思いやりのある坂祝の子の育成に寄与する。

教室の実施場所

- 坂祝小学校の敷地内の子ども教室専用施設(キッズドリームワールド)〈鉄筋2階建て:1階はプレイルーム・事務所 2階は学習室〉
 - 坂祝小学校のグラウンドと遊具も使用 ※参加人数が多い時や雨天時は坂祝小学校体育館も使用する。
- ※特別な行事については、坂祝町中央公民館等、他の公共施設も利用する。子どもたちの移動は町のバスを使用する。

教室の開催日

- 年245日
- 平日 下校～18:00(冬は17:30)
- 学校休業日 主に9:00～18:00

参加対象者

坂祝町に在住の小学生
※中学生はサポーターとして登録・参加可

申込み手続きなど

- 年度末や年度初めに実施する登録説明会に保護者が参加後、登録。
- 活動費(年2,000円)が必要
任意でスポーツ保険加入(H20:500円、H21:600円)

参加実績

- 1日の平均参加児童人数
H18:32人 H19:45人 H20:55人
- H20登録率:34%
(坂祝小学校児童数449人のうち、登録者数154人)
- 中学生サポーター 17名登録



坂祝町キッズドリームワールド



芋掘り体験

活動内容

- 1日の活動の流れ 入館(出席カード提出) → 学習 → (読み聞かせ:にこにこタイム) → 自由遊び → (掃除) → 退館(保護者の迎え)

- 火曜日 読み聞かせ実施
- 木曜日 「にこにこタイム」(異年齢集団仲間遊びやものづくり教室)実施

- 土曜日・学校休業日
集会活動やものづくり教室等特別な体験活動(「チャレンジ教室」)を年間20回以上実施

※H20チャレンジ教室の例
Eポート体験、まが玉づくり、流しそめん、芋掘り、餅つき、豆まき、ゴミ処理施設見学

- 放課後児童クラブを町内2つの私立保育園に委託しており、子ども教室との選択が可能

活動日程表(平成20年12月日程表より)

日	月	火	水	木	金	土
	1 活動	2 活動	3 にこにこタイム ものづくり	4 活動 5時閉館	5 活動	6 休館日
7 休館日	8 活動	9 読み聞かせ	10 活動	11 にこにこタイム	12 活動	13 休館日
14 休館日	15 活動	16 読み聞かせ	17 活動	18 にこにこタイム	19 活動	20 休館日
21 休館日	22 活動	23 休館日	24 活動	25 にこにこタイム	26 大そうじ 5時閉館	27 午後門松づくり 12時閉館
28 休館日	29 休館日	30 休館日	31 休館日	月・水・木 13:00～17:30 火・金 10:00～12:00 14:00～17:30		



ボランティアの方と門松づくり

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
ボランティア要件なし 町に在住の方(中学生サポーター、読み聞かせママ、日赤奉仕団等)
- 配置人数 1日4人体制で指導 多くの児童の参加が予想されるときは適時増員
- 登録児童の保護者に、年3回以上のサポート活動を義務づけ
保護者の「子どもをあずけるところ」や「あい学童保育場所」という意識の脱却を図る。現在は、「親子で一緒に様々な体験ができる場所」、「保護者同士の子育て交流ができる場所」として利用する保護者が増えている。

事業を実施して

- H20のアンケート結果では、参加児童の96パーセントが「とても楽しい・楽しい」、保護者の80パーセントが「楽しそう」と回答している。記述欄には、「地域の指導員の方にいつもやさしく、時には厳しく指導してもらえることがありがたい。」や「家庭では体験できないことを親子で楽しむことができる。」「学校から直接参加できるので、安全・安心にたくさん遊ぶことができる。」等の声が多く寄せられている。
- 坂祝町子ども教室事業は、本年度(H20)で4年目を迎えた。事業内容は子どもたちや保護者、町民に広く浸透してきた。参加者(1日平均利用者)が年々増加傾向にあり、ランドセル置き場や下駄箱を増設して対応している。これだけ多くの子どもたちや保護者のニーズがあるとは正直驚いている。今後も地域の子どもたちのコミュニティの基地として発展させていきたい。(担当者の声)

子ども創造の広場【静岡県焼津市】

～子どもの育ちを見守る～

◆ 事業の目的・理念

- 子どもの健全育成事業の拠点として、子どもに創意工夫、創作の場を与え、情操教育を図るとともに、遊びを通じて仲間づくりや体力の向上を図る。
- 子どもたちがつくられた社会の枠から脱皮し、自分たちで自由に考え、自由に創造することのできる環境を与える。

教室の実施場所

● 子ども創造の広場 〒425-0028 静岡県焼津市駅北2-11-6
 ※ 子ども創造の広場:焼津市教育委員会が管理する施設。私立幼稚園の跡地を活用し、2階建の建物内(154㎡)に、1階は子ども創造の広場、2階は放課後児童クラブを設置。グラウンドは共用スペースとして利用している。(敷地面積1,738㎡)



秋のたから箱(プレーパーク)ドラム缶風呂

教室の開催日

毎週月曜日から土曜日 午後1:30～午後5:30

参加実績

●H19年度実績
開催日数 293日
参加者数 6,927人/年(23.6人/日)
●H20年度実績(2月末現在)
開催日数 248日
参加者数 6,845人/年(25.2人/日)

参加対象者

4歳以上 (保護者同伴の場合を除く)

申込み手続きなど

子ども創造の広場利用時に利用者名簿に記入。
 初回利用時には登録簿を作成。

活動内容

- 日常の活動～遊びを押し付けられない子どもの居場所づくり～
 子ども創造の広場では、子どもの自発的な遊びを大切に、遊びから生まれる飽くなき興味や探究心を温かくじっくり見守ることで、創意工夫や創造する力を育てている。日常の活動では、特に決められたプログラムや活動予定は設けておらず、子ども創造の広場は子どもたちの自由な遊び場となっている。
- わんぱく学級～遊びをキーワードにした「子育て支援」「地域の教育力向上」のためのプログラム～
 子育て支援と、地域の教育力向上に資するため、月に1回程度わんぱく学級を実施している。

【わんぱく学級の概要】

分類	概要	平成20年度実績(2月現在)
子どもの思いを引き出す事業	遊び心をくすぐり、子どもの「やりたい!」思いを引き出すイベントや、人形劇等の児童文化財に触れる機会を提供している。運営については当日参加の地域の大人、中学生、高校生、大学生等を巻き込み、運営スタッフとしている。児童文化系の事業は地元のサークルに協力依頼。	5月17日:ミニ運動会/6月21日:大型絵本他/8月16日:竹のトイまで作る流しぞうめん/9月5日:何でも焼き焼き大作戦(プレーパーク)
子ども(利用者)の組織化と子ども主体の事業実施を大人が支える仕組みづくり	子ども創造の広場を利用する中学生、高校生が「もっとやりたい遊びができる子ども創造の広場を作りたい」と、2008年9月に「みんなの居場所をつくろう!実行委員会」を立ち上げた。彼らの思いを具体的な形にするため、わんぱく学級を活動の場として提供すると共に、コーディネーターと地域コーディネーター養成講座(静岡県教育委員会と焼津市社会教育課の共催事業)の参加者有志が、中高生主体の企画づくりを継続的に支援。併せて、事業を通して子どもと地域の大人がコミュニケーションを深められるように、地域の大人(団体)とのコーディネートも積極的に実施。	10月18日、19日:秋のたから箱(プレーパーク)/11月15日:冬のたから箱(集団遊び、創作レクリエーション)/12月27日:大掃除&もちつき大会
青少年リーダーの実践の機会	静岡県青少年指導者認定を受けたメンバーが多数在籍するジュニアリーダーズクラブ。この団体の実践の場としてわんぱく学級を提供。育成を担っている子ども会やリーダーズの育成会とも連携し企画立案を支援。「みんなの～実行委員会」とも連携。	12月13日:クリスマス会
放課後児童クラブとの連携の場	子ども教室と児童クラブが共催で季節の行事を行う。企画立案をコーディネーターと児童クラブ指導員が担い、地域の方々を巻き込みながら季節の行事を実施。	7月7日:七夕かざり/2月3日:豆まき



豆まき(子ども教室と児童クラブが共催)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- コーディネーター/行政職員2名
- 安全管理員/地域の方3名(平日1名勤務、イベント開催時等は2～3名で対応)
- 協力団体等/民生児童委員/老人クラブ/自治会/はだかっこの会(地元児童文化サークル)/子ども会連合会/リーダーズクラブ育成会/静岡福祉大学地域交流センター/地域コーディネーター養成講座参加者有志/やきつべの里フォーラム(コンソーシアム)/その他地域の大人/みんなの居場所をつくろう!実行委員会(中学生～大学生)/静岡福祉大学学生(ボランティアサークル他)/ジュニアリーダーズクラブ(中学生～高校生)他

事業を実施して

- 子どもの育ちを見守る実践から、子どもの組織が立ち上がった。彼らの居場所に対する思いを尊重し、イメージを形にするために地域の大人が協力するという、子ども発信の事業展開を今後も継続することで、子育て支援と地域の教育力の向上に努めていきたい。
- プログラムを過剰に用意せず、見守る立場で子どもたちと接している安全管理員(広場のおばさん)の存在は、子どもたちに安心感を与え、この施設が子どもの居場所として認知されている大きな理由となっている。今後も子どもの育ちを見守るというコンセプトを大切にしていきたい。

陶原小学校せとっ子モアスクール放課後学級【愛知県瀬戸市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

●陶原小学校せとっ子モアスクールは、陶原小学校内で放課後児童クラブと放課後学級とを隣り合わせの教室で行っている事業であり、瀬戸市よりNPO法人こどもの杜が受託している。当法人はこの『せとっ子モアスクール事業』の最重要課題を、「放課後児童クラブと放課後学級の併設により、保護者と子どもと地域を取り巻く環境がより良く変化していく」としている。その中で、放課後学級は『子どもたちの放課後の安全』『地域と子どもたちの交流の場』『異年齢の子ども同士の遊び場』の提供を目的とし、現在、国が提唱している「放課後子どもプラン」における放課後子ども教室の方針にのっとり、異年齢の児童が、遊びや学習の空間を共有する事により、他者との関わり方を学ぶとともに、児童と、地域のボランティア・産業・文化活動などに携わっていらっしゃる方々との交流の場と機会を提供し、「地域力の復活」「地域での子育て」のきっかけ作りを目指している。

教室の実施場所

- 授業終了後、陶原小学校1階の下級生用の図書室を使用する。基本的に学校と共用。
- 放課後児童クラブは放課後学級の隣に専用居室として設置。
- 外遊びの場所に関しては、グラウンドの一部と裏山にあるアスレチックの場所や広場を活用している。(放課後学級、放課後児童クラブで共用)

申込み手続きなど

放課後学級の説明を聞き、申込書・誓約書にサイン捺印したものととも保険料を提出する。その後1週間後より参加可能。

参加対象者

当該小学校に通学する1～6年生のうちで参加を希望する児童。放課後学級に登録することが参加条件。

参加実績

- H19年度
登録児童数：144名
参加児童延べ人数：3794名
- H20年度(H21.1.31現在)
登録児童数：183名
参加児童延べ人数：3489名

教室の開催日

- 平日:授業終了後～午後5時30分
- 土曜日・長期休業日:午前9時～午後5時30分



H19森の学校(小学校の裏山にて自然体験)

活動内容

- 放課後学級は、専任の責任者を配置し、地域のボランティアの方の協力を得ることにより、『子どもたちの放課後の安全』『地域と子どもたちの交流の場』『異年齢の子ども同士の遊び場』として、平成18年度に陶原小学校でスタートした。
子どもたちは、室内では将棋・オセロ・折り紙・立体パズルなどで遊び、外では、キックベースやドッチビー、ドッチボールなど低学年から高学年まで入り混じって遊んでいる。もちろん、本来の遊びだけでなく、子どもたちは、自由な発想のもと独創的な遊びを展開している。その他、工作や集団での外遊びなどのイベントも企画開催している。安全管理員は安全の見守りと全体管理、チーフボランティアは参加児童や備品の管理業務等を行っている。
また、上級生の児童が下校するまで下の児童を放課後学級で遊ばせ、兄弟姉妹で下校する利用方法や、お友達と遊びたいけどお友達の家が遠くて一緒に遊べないから放課後学級で遊ばせるなど、保護者は様々な利用方法で活用している。
夏休みには、特別講座(自然体験「森の学校」・工作教室)等を開催したり、土曜日等には長時間の開催日を利用した特別行事(工作教室)などを開催し、児童クラブとは違った形での健全育成のあり方を模索している。

●H21年度 活動予定

- 5月：こいのぼり工作
- 6月：ぼんおどり教室
- 7月：相撲体験(力士慰問)
- 8月：森の学校(自然体験)
- 10月：ハロウィン工作
- 12月：松ぼっくりクリスマスツリー
- 1月：凧揚げ
- 2月：ひな祭り工作

※その他、地域のボランティア講師を招いて、木工教室・折り紙工作・紙粘土工作・ビーズ教室。季節に応じた工作会を行う。



ボランティアさんに将棋を教えてもらって

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 ボランティア、プレイングパートナーは、チラシや各種公共施設へのポスターの掲示、地域の回覧板への掲載などで募集。プレイングパートナーに関しては面接と履歴書の提出が条件。
- 配置人数 安全管理員1名、チーフボランティア1名、ボランティア登録17名、プレイングパートナー1名(不定期)
- 受託者がNPO法人であり、7箇所の放課後児童クラブを運営しているので、その人材を活用できる。移動児童館と連携し、各種行事など活動の場を広げている。地域の大学のゼミや高校のボランティアサークルの訪問等もあり、これからもつながりを深めたい。

事業を実施して

- より安全な遊び場所の構築:不審者や災害時など子どもの避難を最優先とした学校側との連携体制の確立が急務。
- イベントの充実:さまざまな分野の方の協力を得て、子どもたちに生き生きとした体験が提供できる場の確立。
- ボランティアの定着・育成と組織化により、より一層安定した安心して遊べる場の提供。
- 地域住民との交流(公民館秋祭りへの参加や敬老会等へのアクセス等、子ども会とのつながりや行事への参加。)
- 参加家庭の声として
「子どもが学校から帰宅してもゲームばかりだったので、少しでも外で遊んだり友達と遊んだりする時間が増え、ありがたいです。」

修正放課後子ども教室【三重県明和町】

しゅうせいちゃんじきっす

◆ 事業の目的・理念

●平成16年度の地域子ども教室事業を契機として、それまで行ってきた子どもの居場所づくりや青少年の健全育成という目的を、個別の団体が個別の計画で行うのではなく、放課後子ども教室として連携の取れた活動へと再編成した。新たな指導者やボランティアを発掘・育成するという目的意識をもちながら、修正小学校児童及び明和町内の中学生のスポーツ振興と3世代に渡る交流促進を目的とする。

教室の実施場所

- スポーツ① 修正小学校体育館
- スポーツ② 修正小学校体育館及び他施設
- ニュースポーツ 修正小学校体育館
- ソフトボール 修正小学校運動場及び他施設

参加対象者

- 園児・小学生(修正小学校区限定)
 - 中学生(修正小学校区及び町内)
- スポーツ①=主に中学生対象
スポーツ②=小学生対象

申込み手続きなど

各教室の参加者募集チラシに基づき、各自で教室指導者又は事務局へ申し込む。

教室の開催日

- 平H20年度
- スポーツ① 毎週月・金(土日)
 - スポーツ② 毎週火(日)
 - ニュースポーツ 毎週土・日
 - ソフトボール 毎週木



スポーツ②ミニバス教室集合写真

参加実績

教室名(内容)	登録率(児童)	開催日数
●H19年度 児童数84名		
スポーツ	19%	98日
ニュースポーツ	45%	45日
ソフトボール	13%	64日
親子読書	14%	4日
●H20年度 児童数92名		
スポーツ①	5%	114日
スポーツ②	22%	40日
ニュースポーツ	37%	43日
ソフトボール	15%	60日

活動内容

- スポーツ①は中学生対象のバドミントン教室を実施。年間1回の修正スポーツ大会を開催し、町内から参加者を募集。
- スポーツ②は小学生対象のミニバスケットボールを実施。年間数回は近隣市町の団体との合同練習や大会に参加。
- ニュースポーツは、小学生対象にソフトドッジボール・キンボール・グラウンドゴルフなどを実施。
- ソフトボールは小学生対象で、ソフトボールの実技指導や大会参加。その他にキャンプなども実施。

期日	時間帯	教室名	内容
毎週月曜日	19:30~21:30	スポーツ教室①	バドミントン・卓球
毎週火曜日	19:30~21:00	スポーツ教室②	ミニバスケットボール
毎週木曜日	19:30~21:00	ニュースポーツ教室	ソフトドッジボールなど
毎週金曜日	19:30~21:30	スポーツ教室①	バドミントン
毎週土曜日	8:30~13:00	ソフトボール教室	ソフトボール
毎週日曜日	8:30~13:00	ソフトボール教室	ソフトボール
11月9日	9:00~12:00	全教室	「古道まつり」
12月6日	10:00~16:00	ソフトボール教室	豊田自動織機ソフトボール教室参加
12月7日	9:00~15:00	ソフトボール教室	豊田自動織機ソフトボール教室参加
12月7日	9:00~13:00	全教室(ソフト除く)	「ふれあいの集い」

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
コーディネーター・安全管理員・ボランティア指導者
- 配置人数
コーディネーター 1名
安全管理員 12名
ボランティア指導者 8名
親の会(ボランティア安全管理)2組織
- 団体の支援
小学校PTA、校区青少年育成会、地区スポーツ振興会などの連携協力で、人材面・予算面の支援や行事参加者の拡大協力を得ている。



「ふれあいの集い」参加風景
(対象:教室参加者・校区在住者)

事業を実施して

- ミニバスケットボール教室を開催することにより、学校の休み時間などにバスケットボールを楽しむ児童が増え、体力強化や競技の普及につながった。
- ニュースポーツを異学年で楽しむことにより、縦の関係がよくなった。(お互いに助け合ったり支え合ったりする自然な関係)
- 全体行事の中で、児童の積極的な参加が増えた。また、両親や祖父母だけでなく、広く地域に声をかけることにより、3世代交流が推進された。
- 各団体行事の重複による参加者や指導者等の分散がなくなった。
- 中学生のバドミントン技術が向上するとともに、競技の普及につながった。
- ボランティアによる新たな安全管理員の協力が得られただけでなく、親の会の組織化によりボランティア指導者としての協力も得られた。

石山放課後子ども教室【滋賀県大津市】

◆ 事業の目的・理念

● 地域の大人の見守りの中、安全に安心して遊べる環境をつくり、さまざまな体験活動を通して、心豊かな子どもを育てる。

教室の実施場所

石山公民館

教室の開催日

- 毎週水曜日 15:00～16:30
年間100日の開催
- 毎週金曜日 13:30～16:30
年間100日の開催

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)。
場合によっては、未就学児等も可。

申込み手続きなど

年度当初に、公民館より配布される入会申込用紙に記入のうえ、公民館に申し込む。

参加実績

● H19年度

毎週水曜日 平均10人程度(1回あたり)
毎週金曜日 平均40人程度(1回あたり)

● H20年度

毎週水曜日 平均11人程度(1回あたり)
毎週金曜日 平均46人程度(1回あたり)



「たら川文庫」で本を借りる子どもたち



「新若葉サークル」で地域の方と囲碁をする子どもたち

活動内容

- 「新若葉サークル」では、囲碁・将棋の対局を実施(毎週水曜日)。
- 「たら川文庫」では、文庫活動や読み聞かせを実施(毎週金曜日)。

活動日程表(平成20年度日程表より)

期 日	教室名	開始時間	内 容
6月4日(水曜日)	新若葉サークル	15:00	囲碁 将棋
6月6日(金曜日)	たら川文庫	13:30	文庫活動 読み合わせ 一人読み
6月11日(水曜日)	新若葉サークル	15:00	囲碁 将棋
6月13日(金曜日)	たら川文庫	13:30	文庫活動
6月18日(水曜日)	新若葉サークル	15:00	囲碁 将棋
6月20日(金曜日)	たら川文庫	13:30	文庫活動
6月25日(水曜日)	新若葉サークル	15:00	囲碁 将棋
6月27日(金曜日)	たら川文庫	13:30	文庫活動



囲碁のルールをを教えてもらう子どもたち

- 既存の「囲碁・将棋教室」、「文庫活動」を継続的な活動として実施している。
- 囲碁・将棋だけでなくけん玉やカロム、オセロなどのゲームを体験したり、子ども同士の読み合わせや本についての情報交換会を開催したりしている。



「たら川文庫」で本に親しむ子どもたち

コーディネーターや地域の方々などの参加

● 採用・募集

安全管理員
ボランティア

上記の「事業の目的」に賛同する方を募集し、石山放課後子ども教室実行委員会で協議の上、決定。

● 配置人数

コーディネーターは、1人配置(大津市4教室を担当)。

安全管理員は、1回の活動に平均4人を配置。ボランティアスタッフを若干名配置。

- 安全管理員やボランティアスタッフには、退職教職員や石山小学校区の青少年育成の取組に関わる地域の方々登録。

事業を実施して

- 地域の居場所として定着し、「ただいま」と来室する子がほとんどである。外国籍の子も誘い合って来室するようになった。
- 保護者の迎えを待つ間に宿題をしたり、学校での様子をボランティアと話したり、子どもたちが交流する場となっている。
- 「囲碁・将棋の対局」では、公民館利用団体のメンバーが安全管理員やボランティアとして活躍している。
- 若い世代の母親が、誘い合って来室し、子育てについて、ボランティアや安全管理員と情報交流することが増えた。
- 「たら川文庫」充実のために、新刊本や人気のある本の設置などを子どもたちから提案することが多くなった。

物小チャレンジクラブ【京都府綾部市】

～子どもの心に響け!!ふるさと再発見～

◆事業の目的・理念

- 様々な活動を通して地域の方々と触れ合うことで、コミュニケーション能力の育成を図る。
- 地域の方々の企画・運営で、スポーツや文化活動などの体験活動を積み重ねることで、子どもたちに故郷を愛する心を育てる。
- 子どもたちが地域社会の一員として、健康で心豊かに育まれる環境づくりを推進する。
- 子どもたちの安心安全な居場所を設ける。

教室の実施場所

小学校の余裕教室や特別教室、図書室や体育館などで活動。ただし、デイキャンプは公民館

教室の開催日

毎週水曜日 15:00～16:00

参加対象者

小学1～6年生(全児童対象)

参加実績

- H19年度
 - 児童数 25人(全校児童71人)
 - 参加率 84%
 - 開催日数 28日
- H20年度
 - 児童数 30人(全校児童78人)
 - 参加率 86%
 - 開催日数 28日



デイキャンプ 青竹のお皿でカレーライスを食べます

申込み手続きなど

- 全校児童を対象に学校を通じて参加募集チラシを年2回配布する。
- 保険料(500円)を添えて申し込む。

活動内容

平成20年度 1学期・2学期の活動プログラム

活動日	内容	活動日	内容
5月14日(水)	開級式、スポーツ(大縄跳びなど)	9月 3日(水)	バドミントン、卓球
5月21日(水)	自分の名札を作ろう	9月10日(水)	まゆ人形を作ろう
5月28日(水)	スポーツ(ドッジボール、ハンドベースボール)	9月17日(水)	お話(黒谷和紙の原材料となる楮について)
6月 4日(水)	紙芝居(昔の偉人にまつわる生涯)	10月 1日(水)	グランドゴルフ
6月18日(水)	やさしい茶道	10月 8日(水)	京都府警察平安騎馬隊による交通安全教室
6月25日(水)	クイズ(物部に伝わる言い伝え)	10月22日(水)	生け花(野花で生けよう)
7月 2日(水)	グランドゴルフ	11月 5日(水)	ハンドベースボール、大縄跳び
7月 9日(水)	デイキャンプの遊び道具づくり	11月19日(水)	化石採集
7月16日(水)	介護体験(車椅子やアイマスク)	11月26日(水)	クッキング(焼き芋)
7月30日(水)	デイキャンプを実施(遊びや工作、カレーライスづくり、飯ごう炊さん、キャンプファイヤー)	12月 3日(水)	ゴムとび、リレー遊び
		12月10日(水)	紙芝居、本の読み聞かせ
		12月17日(水)	クリスマスの飾りを作ろう



地元産の「まゆ」を使って人形を作成します

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
 - 公民館・自治会とも連携し、物部地域全体に募集している。
- 配置人数
 - コーディネーター1名 サポーター19名
- サポーターを3班(物づくり・スポーツ・学習)に分け、班で活動内容を企画・運営している。

事業を実施して

- サポーターからは、「自分たちの学校、地域という気持ちがさらに高まった。」「子どもから元気もらえる。」「自分の特技が活かせる。」というような感想が寄せられている。
- 普段の学校生活や家庭生活では体験できない活動ができ、子どもたちの心がより豊かに育ってきた。
- 異年齢の子どもたちが同じ活動を行うことにより、お互いを思いやる心が育ってきている。
- サポーターと子どもたちとのふれあいやサポーター同士のつながりが、教室の中だけでなく、地域の中や日常生活の中まで広がり、地域の絆が深まってきた。

和光キッズクラブ【大阪府寝屋川市】

◆ 事業の目的・理念

- 心豊かでたくましい子どもを育むため、平成17年度より放課後や週末に学校や公民館で地域子ども教室「和光キッズクラブ」の活動を推進してきた。
- 活動拠点では、学校(教員)・家庭(PTA)・地域(自治会)・婦人会・老人会・主任児童委員・青少年指導員・防犯協会・地域の支援者など子どもを取り巻く地域の教育力を結集してスポーツや文化活動、季節行事等様々な取組を行っている。

教室の実施場所

- 寝屋川市立和光小学校(運動場/体育館/図工室/図書室/1年・2年・3年教室)
- 各地区公民館(黒原城内町/黒原新町/黒原橋町/高柳五丁目/御幸東町/御幸西町)

申込み手続きなど

- 入学説明会や学校だよりでクラブの趣旨を説明。
- 毎月「活動予定表」を児童配布。事前申し込みが必要なものは申込書を配布。
〈きちんといさつして〉(職員室に)〈自分で〉申し込みに来ることで自立心を養う。
- 公民館入口にも掲示し、開催日には朝の登校班でも呼びかけている。

参加対象者

- 毎月の活動
全児童対象/無料
- スペシャル企画
保護者も参加可
参加費200円(受益者負担分)
PTA地区委員に事前申込

参加実績

- 児童数…636人(全児童登録)
- 年間開催日数…210日(H20)
- 年間参加者数…延べ4450人
- スペシャル企画の参加者数
夏スペ(130) WAKOLIN(75)
冬スペ(100) ぞうきんぬい(115)
餅つき(250)



「学校に名を残そう!」
父親委員会担当「WAKOLINピック」

スリッパ飛ばし/シャトルコック投げ/1分間なわ跳び
36mドリブル走/豆つまみ皿移し/ぞうきんかけ競争

流しそうめんと
ナイトシアターのタペ



土曜寺子屋教室



活動内容

- 学校では
低学年の補習教室/リズムなわとびクラブ/
天体望遠鏡で星の観察会/
支援者による手作り工作教室/
グランドゴルフクラブ/バレーボールクラブ/
父親委員会による日曜校庭開放。今年度のテーマは「投げる」
- 公民館では
新町おはなし会/読み聞かせ「グリ部屋」/
城内映画会/囲碁将棋いきいき教室/
お楽しみイベント「オセロ部屋」「なかよしクラブ」/
土曜寺子屋教室
- 夏休みや冬休みには
自治会の全面協力の下、多彩なスペシャルバージョン企画を展開
サマースペシャル
「流しそうめんと平和の集いナイトシアターのタペ」
クリスマススペシャル「学校の怪談真冬のきもだめし」
もちつきスペシャル/ぞうきんぬい

週	曜日	月	火	水	木	金	日
第1週	学校	1年学習 1:45~2:30	2年学習 2:45~3:30		3年学習 2:45~3:30	なわとびクラブ 9:00~12:00	
	地域	囲碁将棋 1:00~4:00		高柳五丁目 イベント 3:00~4:00 西町 なかよしクラブ 2:30~4:30	囲碁将棋 1:00~4:00		
第2週	学校	1年学習 1:45~2:30	2年学習 2:45~3:30	バレーボールクラブ 2:00~4:00	3年学習 2:45~3:30	なわとびクラブ 9:00~12:00	
	地域	囲碁将棋 1:00~4:00			囲碁将棋 1:00~4:00	新町 お話し会 11:00~11:30	
第3週	学校	1年学習 1:45~2:30	2年学習 2:45~3:30	手作り工作教室 2:00~3:00 グランドゴルフクラブ 3:00~4:00	3年学習 2:45~3:30	なわとびクラブ 9:00~12:00	
	地域	橋町一読 み聞かせ 3:30~4:30		西町 なかよしクラブ 2:30~4:30	囲碁将棋 1:00~4:00	御幸東町 寺子屋教室 10:00~12:00	校内開放 最終日曜日
第4週	学校	1年学習 1:45~2:30	2年学習 2:45~3:30		3年学習 2:45~3:30	なわとびクラブ 9:00~12:00	
	地域	囲碁将棋 1:00~4:00		黒原城内町 映画会 3:00~5:00	囲碁将棋 1:00~4:00		



ぞうきんぬい

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 キッズクラブ実行委員会にて協議
- 配置人数 コーディネーター1人
学習アドバイザー・安全管理員・ボランティアは活動種目を勘案し、実行委員会にて調整。
- 支援団体との連携システム
キッズクラブ実行委員会の構成メンバーは、子どもに関わる支援団体と各地区をすべてカバーしています。企画の内容は自治会や婦人会などすべての支援団体といつでも連携できるようにしている。

事業を実施して

- 子どもから 地域の人のおかげでいろいろな体験ができて楽しい。地域の人とも顔見知りになり、あいさつや話ができるようになった。
- 保護者から 作品を喜んで持ち帰ってくるし、教えてもらった地域の人とも子どもを通じて親しくさせてもらい、親も良い勉強になる。
- 地域から 学校を通じて子どもや親と接することができ、地域がひとつになることができた。子どもは地域の宝。みんな育てたい。
- 学校から 様々な取組を通して会話が生まれ、つながりの心が芽生える。それが安心安全の町をつくり、子どもを守る仕組みとなる。和光キッズクラブの取組は「地域の子は地域で守る」と全面協力して下さる地域との「かけがえのない絆」となっている。

尼崎北こどもクラブ【兵庫県尼崎市】

◆ 事業の目的・理念

● 少子化と核家族が進み、地域社会も変貌するなかで、児童の育成環境が大きく変化してきており、児童の成長にとって重要な要素である遊びや異年齢の児童とのふれあい、学習ができる安全な居場所の確保が求められている。学校週5日制の実施に伴い、学校、家庭、地域社会が一体となって、それぞれの役割を明確にし、相互に連携していくことがますます重要となっている。そこで、全児童を対象に学校施設を活用して、児童育成環境整備事業(こどもクラブ事業)を実施し、安全で安心な遊び場と異年齢の児童の交流場を提供する。

教室の実施場所

兵庫県尼崎市塚口町6丁目21番地の1 尼崎北小学校内
(尼崎市では、各公立小学校に「こどもクラブ」を設け、児童育成環境整備事業を実施している。各小学校の余裕教室や専用施設を拠点に運動場や体育館などを利用し、自主事業を実施したり、自由遊びの見守り、指導を実施している。)

教室の開催日

- 月曜日から土曜日(年末年始は休室)
- 平日 午後1時から午後4時30分
学校休業日 午前9時から午後4時30分

参加対象者

尼崎市に居住する小学生で、参加を希望する児童(一部例外を認めている)

申込み手続きなど

- 参加申込書に所定の事項を記入し、こどもクラブに提出する。(登録)
- 登録の有効期間は、申込日から年度末までとする。(参加費用は無料)
- 参加する日は、受付を済ませ事業に参加する。また、帰宅時は所定の手続きを行う。

	参加実績	
	平成19年度 (4月~3月)	平成20年度 (4月~12月)
開所日数	293日	220日
全校児童数	819人	830人
登録者数	301人	296人
登録率	37%	36%
延べ参加者数	10,252人	7,857人
1日平均	35人	36人



母親クラブとの合同行事(もちつき大会)

活動内容

● 児童育成環境整備事業実施要綱

第2条 事業内容は次のとおりとする

- ① 児童の安全な居場所の確保と遊び場の提供を行う事業
- ② 遊びに対する意欲及び態度の形成を図る事業
- ③ 遊びを通して思いやりの心や自主性、社会性及び創造性を培う事業
- ④ 学ぶ意欲のある子どもに対して、学習の場の提供を行う事業
- ⑤ 家庭や地域団体等との協働により行う遊びと交流を行う事業
- ⑥ その他児童の健全育成上必要な活動を行う事業

● 児童育成環境整備事業実施要領

5 活動内容 要綱第2条に定めるところにより、次の活動を行う。

- ① 文化的な活動
- ② 運動的な活動
- ③ 自主的な活動
- ④ 体験的な活動
- ⑤ 伝承的な活動



安全管理講習(集合研修)受講風景

学校休業日の一日の流れ

時間	活動内容(児童の動き)
8:45	● シルバー人材センター職員(学校開放職員)が開門、警備解除、開校等(学校により内容異なる) ● 責任者、有資格臨時任用職員出勤(出勤簿に押印)
9:00~	● 参加受付開始 ● 決められた入り口で上履き(上靴)に履き替え、クラブ室に入室する ● 入室時刻等を記入したカードを提出し、指導員に確認してもらう ● 参加リボンを付け自由遊び
10:00頃	● イベントの準備(児童に手伝いを呼びかける)
11:40頃	● 運動場、体育館でのイベント活動(集団遊び、各種団体との共催事業) ● イベント活動に参加 ● ルールを守り、異年齢で遊びを楽しむ ● 遊び道具の片付け、室内外の清掃をする ● 参加リボンを返却し、参加カードを持ち帰る
12:00~	● 弁当持参の留守家庭児童のみ昼食
13:00~	● 午後の参加受付開始 ● カードを出し、参加リボンを付け自由遊び ● 共催事業、集団遊びがあれば、午飯と同様
14:00	● 学校開放事業開始 ● 開放事業に注意して遊びの指導、安全を図る
15:00頃	● おやつを食べる(持参児童) ● 遊びの続きを楽しむ
16:00頃	● 早速児童は集まり、できるだけ集団で帰る ● 遊び道具の片付け、室内外の清掃をする ● 参加リボンを所定の場所に戻し、参加カードを持ち帰る
16:30	【冬期は16:00退室】

月曜日から金曜日の一日の流れ

時間	活動内容(児童の動き)
13:00~	● 開校、参加受付 ● 決められた入り口で上履き(上靴)に履き替え、こどもクラブ室に入室する ● 入室時刻等を記入したカードを提出し、指導員に確認してもらう ● 参加リボンを付け自由遊び ● 自主的に学習を行う ● イベント活動に参加 ● ルールを守り、異年齢で遊びを楽しむ
15:00頃及び 15:30頃	● 早速児童は集まり、できるだけ集団で帰る ● 参加リボンを所定の場所に戻し、カードを持って帰る ● 遊びの続きを楽しむ
16:00頃	● 遊び道具の片付け、室内外の清掃をする ● 参加リボンを所定の場所に戻し、カードを持って帰る
16:30	【冬期は16:00退室】

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集** コーディネーターは、こどもクラブ・児童ホーム責任者として、公募、試験により採用している。(児童ホームは放課後児童クラブ)。資格は、教員免許又は保育士資格を有し、5年以上の実務経験を有する者。
- **配置人数** 責任者のほか、有資格の指導員(学習アドバイザー)1名と無資格の補助指導員(安全管理員)2名を配置。3人が出勤する体制としている。
- **職員研修** 集合研修のほか、ブロック研修、責任者別研修などを実施。児童ホームとの連携や合同行事の打ち合わせなどを実施している。

事業を実施して

- 学校、保護者、地域、関係機関との連携を大切に、事業を実施している。(例:子ども会、母親クラブ、PTA、ボランティア団体等)今後も、更に、これらの関係機関との連携を深めていくほか、他の団体や地域の方々にも本事業をPRし、地域に根ざした事業としていきたい。

箕島ふれあいルーム【和歌山県有田市】

～安全安心な居場所づくり 放課後の日常生活を身につけよう～

◆ 事業の目的・理念

どんなふれあいルームにしたいか？

共働きが当たり前の現在、放課後の子どもたちの居場所は？ 子どもを狙った犯罪が増えているが安心できる居場所であるのか？ そんな中で子どもも保護者も安心できる居場所が必要だと考えた。また生活習慣が身につけていない子もいる現状から、日常の生活習慣を大切にしたい「ふれあいルーム」にしたいと考えた。

どんな子のためにあるのか？

手のかかる子がいても当たり前。むしろそんな子どもたちのためにある。時には優しく時には厳しく、注意してあげることもひっくるめてかまってくれる。そんな愛情あふれる「ふれあいルーム」にしたいと考えた。

教室の実施場所

- 箕島小学校 図工室、中庭等
- 箕島公民館
- 中央地区公民館

教室の開催日

- 箕島小学校 平日(小学校の授業日の放課後)
- 箕島公民館 休日(主に土曜日)
- 中央地区公民館 休日(主に土曜日)

参加対象者

市内の小中学生(ただし、現在、参加者のすべてが箕島小学校の児童である。)

参加実績

	箕島小学校児童数	登録率	参加率	開催日数	備考
H19年度	368人	約12%	約27%	箕小183日 箕公20日 中公20日	
H20年度	363人	約16%	約29%	箕小158日 箕公19日 中公18日	H21・1・31現在

申込み手続きなど

	小学校のふれあいルーム	公民館のふれあいルーム
申込先	実行委員会事務局(教委)	各公民館
参加料(保険料)	年間1500円	年間300円
材料費		活動に応じて

工作の時間



活動内容

箕島小学校のふれあいルーム

- 授業のある日は毎日実施している。
- 最初に必ず宿題をする。(生活習慣として)
- 曜日により特色ある活動を行う。

曜日	月	火	水	木	金
活動内容	宿題遊び	宿題読書読み聞かせ等	宿題歌や音楽活動	宿題遊び	宿題工作

公民館のふれあいルーム

- 工作、料理、映画会、陶芸、茶道、踊り、絵画、囲碁将棋 等

- 授業日は毎日実施することにより、保護者にとって安心できる子どもの居場所となったと考える。また、生活習慣として必ず宿題をすることにしたが、そのことも保護者にとってはありがたいという声を聞くことができた。
- 来たら必ずあいさつ、後片付けと掃除、帰る時もあいさつするというのも、生活習慣を考える上で大変重要な活動と考える。子どもたちが毎日違った楽しみが持てるよう、曜日により活動に特色を持たせることも試みている。
- 保護者も含め関わる大人の共通理解を大切にできた。約二ヶ月に一度関係者で会議を開き、運営や子どもたちの様子を話し合っている。お迎えの時、保護者とも子どもたちの普段の様子についてよく話し合っている。

掃除の様子



コーディネーターや地域の方々などの参加

- 学習アドバイザーや安全管理員は市の広報で募集するとともにコーディネーターが地域の方々をお願いしている。

	コーディネーター	アドバイザー配置数	登録者数	のべ人数	管理員配置数	登録者数	登録者数	備考
H19年度	小学校2人 公民館各1人	小学校1人 公民館各2人	44人	263人	各2人	52人	446人	活動内容に応じて地域の方々ボランティアとして参加。
H20年度	小学校1人 公民館各1人	小学校1人 公民館各2人	12人	232人	各2人	23人	390人	

H21・1・31現在

事業を実施して

- 箕島小学校や地域の方々のおかげで実施できることはすばらしい。
- 子どもたちはあいさつ、宿題、後片付け等、生活習慣が徐々に身につけてきた。
- 保護者が安心して行かせられる居場所ができた。
- 参加してくれる学習アドバイザーや安全管理員の方に地域の子どもの顔を知ってもらえ、普段から地域で見守ってもらえるようになった。(ふれあいルームだけでなく地域も安全な居場所になればと考える。)

放課後子ども教室【鳥取県岩美町】

～海の子チャレンジ教室で地域と学校がつながる～

◆ 事業の目的・理念

● 岩美町では、子ども達が安心して楽しく過ごせる放課後の居場所づくりを放課後児童クラブと連携しながら進めている。町内3つの小学校を会場として、地域の方々とのふれあいやかかわり、異年齢集団の中での体験や活動をプログラムに盛り込み実施している。本取組を通して学校と地域が互いに歩み寄り、地域で子どもを見守り育てていく体制づくりができつつある。

教室の実施場所

岩美北小学校内(体育館、校庭、学習センター、図書室、図工室)及び学校周辺で実施

教室の開催日

水曜日の放課後(午後3:00～5:00)

参加対象者

岩美北小学校の児童(1年生～6年生)

参加実績

岩美北小学校児童数 259名
 登録者数 84人
 (なぎさ児童クラブ26人)
 登録率 32.4%
 H20 実施予定回数 34回
 毎回約45名参加



将棋にチャレンジ

申込み手続きなど

実行委員会が作成した募集パンフレットを学校で全児童に渡す。その後安全保険代500円を添えて申し込む。(登録制)

活動内容

● 水曜日の放課後、週1回、安全管理員さん(6人)と放課後児童クラブの指導員さん(1人)に見守られながら、主に体育館や学習センターで活動している。体育館では、主にドッジボールやキックベースなどのスポーツ活動、学習センターでは、将棋やお絵かき、折り紙、けん玉やお手玉などの昔遊びなどを行っている。天気の良い日には、学校近くの海岸へウォーキングに出ることもある。

安全管理委員・放課後児童クラブ指導員の皆様、よろしくお願ひいたします。

月	日(曜)	主な活動場所 (学習センター・体育館) 状況により変更あり	安全管理員(計7名)(常時6人で見守る)						児童クラブより毎回必ず1人 児童クラブ指導員	
			浜口	山口	山下(道)	西谷	松野	山崎	山下(と)	
6月	4日(水)	開校式 ドッジボール	○	○	○	○	○	○	○	○
	11日(水)	将棋 読書	○	○	○	○	○	○	○	○
	18日(水)	キックベース 読書	○	○	○	○	○	○	○	○
	25日(水)	室内野球 折り紙	○	○	○	○	○	○	○	○
7月	2日(水)	キックベース 読書	○	○	○	○	○	○	○	○
	9日(水)	紙粘土で遊ぼう	○	○	○	○	○	○	○	○
	16日(水)	ドッジボール 読書	○	○	○	○	○	○	○	○
8月	27日(水)	ドッジボール 折り紙	○	○	○	○	○	○	○	○
9月	3日(水)	ソフトバレー 読書	○	○	○	○	○	○	○	○
	10日(水)	キックベース お絵かき	○	○	○	○	○	○	○	○
	17日(水)	将棋 読書	○	○	○	○	○	○	○	○
	24日(水)	室内野球 折り紙	○	○	○	○	○	○	○	○

- 子ども達には事前に年間の予定表を渡しており、活動日の前日には、校内放送で海の子チャレンジ教室の予定を放送する。
- 安全管理員は、活動の20分前に集合し、活動の打合せを行う。
- 活動記録をつける。



放課後児童クラブとの連携

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 岩美町子ども教室実行委員会には1名のコーディネーターを配置しており、実行委員長名で委嘱している。定期的に町内3教室の様子を報告していただいたり、活動に必要な物品の準備等も安全管理員と協力しながら行っている。
- 配置人数 1名
- 3教室の内、主に1教室を中心に活動している。元保育園長ということもあり、子ども達の扱いもうまく、恒に子ども達と一緒に活動している。

事業を実施して

- 年々参加者が増し、安全管理員や指導員の確保に苦慮しているが、子ども達には大変人気のある教室です。
- 海の子チャレンジは、いろいろな遊びがあって楽しいです。今日は何をやるのかいつも楽しみにして学習センターへ行きます。私は、スポーツが苦手だけど、お絵かき、読書、昔遊びなどが楽しいです。これからも進んでいきたいです。(参加児童の声)
- 今年から放課後児童クラブと一緒になので大丈夫か心配しましたが、今のところ何とかうまくやっています。子ども達の元気の良さに毎回驚くばかりで、逆にパワーをもらっています。ランドセルや靴の整頓がとても上手になり、うれしいです。学校の外で会っても笑顔で声をかけてくれます。(安全管理員の声)

古志原子ども広場【島根県松江市】

～子どもの輝く地域づくり～

◆ 事業の目的・理念

- 子どもが人との関わりの中で自他を大切にしながら進んで活動する態度を育成する。
- 子どもたちの育ち環境(場・人間交流の機会)を提供する大人や地域の体制をつくる。
(松江市放課後子ども教室推進事業実施要綱より)



小物づくり

教室の実施場所

- 古志原公民館、小学校校庭、幼稚園園庭(公民館広場)
- 富原コミュニティーセンター(富原広場)
- 古志原町民会館(ふたご広場)
- 香南団地集会所(香の木広場)

教室の開催日

- 月曜日 14:30～16:30(公民館広場)
- 水曜日 14:30～16:30(香の木広場)
- 土曜日 9:00～11:30(公民館広場、富原広場、ふたご広場)
- ※その他、不定期でも開催

参加対象者

- 古志原小学校に在籍または、古志原地区に居住する児童(全児童対象)
- 中学生、高校生のボランティア参加
- 希望する幼児の参加

申込み手続きなど

- 学校をとおして、参加申込用紙を配布
- 登録申込後、保護者説明会を実施して、事業についての理解を図る。
- 公民館広場、富原広場、ふたご広場、香ノ木広場ごとに登録を行なう。

参加実績

	平成19年度	平成20年度(12月末現在)
登録児童数	246人	270人
実施回数	177回	112回
参加者数	2,988人	2,612人
関わった大人の人数	1,122人	872人

※参加者数、関わった大人(安全管理員数+ボランティア数)は延べ人数

活動内容

- 自由遊び、体験活動、読み聞かせ、自然観察、野菜栽培、年中行事など。
- 放課後児童クラブと広場の子どもたちの自由な行き来。

活動日程表(平成20年11月より)

期日	時間	活動内容	備考(会場)
11月1日(土)	9:00～11:30	さつまいもを調理しよう	富原
11月2日(日)	9:00～15:30	公民館まつりに参加しよう	公民館・富原・香の木・ふたご
11月5日(水)	14:30～16:30	やさしいもをしよう	香の木
11月8日(土)	9:00～11:30	やさしいもをしよう	公民館
11月8日(土)	9:00～11:30	さつまいもを調理しよう	ふたご
11月10日(月)	14:30～16:30	野菜の世話をしよう	公民館
11月12日(水)	14:30～16:30	好きな遊びや読書をしよう	香の木
11月15日(土)	9:00～11:30	ボンボン玉をつくろう	公民館
11月15日(土)	9:00～11:30	小物作りをしよう	ふたご
11月17日(月)	14:30～16:30	スポーツを楽しもう	公民館
11月19日(水)	14:30～16:30	小物作りをしよう	香の木
11月22日(土)	9:00～11:30	木の葉で作品を作ろう	公民館
11月22日(土)	9:00～11:30	プラ板でキーホルダーを作ろう	富原
11月26日(水)	14:30～16:30	好きな遊びや読書をしよう	香の木
11月29日(月)	14:30～16:30	ボールで遊ぼう	公民館

太鼓の会による
体験活動



近くの公園で
ドッジボール



コーディネーターや地域の方々などの参加

〈コーディネーター〉

- 採用・募集 古志原子ども広場実行委員会が適任者を松江市教育委員会に推薦し、市教育委員会が委嘱
- 配置人数 公民館広場、富原広場、ふたご広場、香ノ木広場に1人ずつ配置

〈安全管理委員、ボランティア〉

- 採用・募集 古志原子ども広場実行委員会で募集。地域の方々、民生児童委員、子供会役員、保護者など。
- 配置人数 1回平均5～6名【中高生がボランティアとして参加】

事業を実施して

- 公民館を主会場として実施しているが、地域の「ごく身近な集会所などでも開催したい」という声を受けて、地区内の各地に広場が広がっている。
- 障害を持った子どもも参加している。
- 多様な活動を通して生活力、コミュニケーション能力の向上、心の安定が見られる。
- 保護者は子育てについて考えるきっかけとなり、保護者同士の交流の場となっている。
- 地域は、保護者、高齢者、地域住民が活動に参加することにより、地域で子どもを育てるという意識が高まっている。
- 子どもが公民館活動等に参加することに伴い、保護者、祖父母も参加することが多くなり、地域活動が活性化している。また、地域のよさを再発見し、郷土愛が生まれている。

一宮公民館プレイランドの会学級【岡山県津山市】

～自分の責任で自由に遊べる居場所づくり～

◆事業の目的・理念

- 子どもたちとの親密な関係を大切に、健やかな成長を願い、一宮公民館と天王公園をエリアに、子どもたちが自分たちの責任で、いつでも誰でも自由に遊び、勉強し、休息し、生活できる「子どもプレイランド」を開設し、運営することを目的とする。

教室の開催日

- 平日(月～金) 15:00～17:00
- 土曜日 13:00～17:00
- ※夏休み・冬休み・春休み中、土曜日も含めて 13:00～17:00

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)。場合によっては、未就学児(要保護者同伴)・中学生・高校生も可。

申込み手続きなど

- 一宮公民館に備え付けてある受付簿に記入。
- 年4回開催の特別イベントでは、学校を通してチラシを配布・回収。保険料や教材費の実費負担あり。

教室の実施場所

一宮公民館及び隣接の天王公園

参加実績

- 開催日数 286日
内訳:平日196日、土曜日39日、
祝日・長期休業日51日
(平成19年度実績)
- 参加延べ児童数 4,547人
(平成19年度実績)



工作(フェルトを使ってハート型小物入れ作り)

活動内容

- 通常、年齢の違う子どもたちが集団で自由に遊ぶ。(卓球、バドミントン、トランプ、サッカー、野球、キャッチボール、手芸、ビーズ、縄跳び、工作、テニス、ドッジボール、バレーボール、竹馬、ピアノ、カブラ、風船、将棋、缶蹴り、輪ゴム遊び、カード作り、折り紙、紙ひこうき、カードゲーム等)
- 年4回開催の特別イベントでは、物づくりや体験活動(リサイクル工作、簡単なおやつ作り、手打ちうどん、芋掘り&焼き芋、木の実工作等)を中心に、プログラムを考えている。
- 児童クラブの連携状況として、夏休みに子ども教室のスタッフが児童クラブの子どもを対象にカブラの講習会を開催した。また、土曜日に児童クラブの子どもが(児童クラブ指導員と同伴)遊びに来ることがある。

平成20年度特別イベント日程表

	期日	特別イベント	内容
1	8/23(土) 13:00～15:30	リサイクル工作& フルーツポンチ作り	空き箱、空き缶、ふた、牛乳パック、ペットボトル、トイレトペーパーの芯など、色々な材料を使ってロボットや宝箱、扇風機などを工作。その後、フルーツたっぷりのおやつ作り。
2	11/29(土) 13:00～15:30	マスコット人形作り& お芋パーティー	手のひらに乗るくらいの色とりどりのポンポン玉にいろんな部品をつける可愛いマスコット人形作り。その後、みんなで掘ったサツマイモで、芋汁・大学芋・さつまチップス・スイートポテト・ふかし芋などの料理作り。
3	2/14(土) 13:00～15:30	バレンタインにちなんだ工作 や動くペーパークラフト	小さなビックリ箱やフェルトでパート型小物入れ作り。お茶運びロボット、首が動くキリン、羽が動くハトなどの動くペーパークラフト。



リサイクル工作

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 一宮公民館プレイランドの会学級規約の目的に賛同する方。
- 配置人数 コーディネーターは1名(他教室と兼務)、安全管理員に6名登録で1～2名程度配置、学習アドバイザーに2名登録で1名配置。その他、月1回開催のミーティングや年4回開催のイベントにボランティアスタッフとして10名参加。
- 団体の支援 PTA、地域団体、学校などの支援を受けている。

事業を実施して

- 子どもたちが自主的に遊ぶことで居場所を見つけ、このプレイランドが遊び場の中心となってきている。
- 小学生から高校生までの子どもたちが遊びに来ているので、異年齢の子どもとの交流が自然にできるようになってきた。
- いろんな体験を通し、地域の方々との関わりが増えたことにより、子どもたちの表現力が向上した。
- 地域の方たちが出入りする公民館を使用することで、公共施設の使い方も自然と身につく、子どもと大人のコミュニケーションもできるようになってきた。

浦崎放課後子ども教室【広島県尾道市】

～地域で育てよう!心豊かでたくましい子どもたち～

◆事業の目的・理念

- 放課後や長期休業日の子どもたちの安心・安全な活動拠点(居場所)を確保して、地域・家庭・学校が連携して子どもたちを育成する社会環境づくりを推進する。
- 地域の大人や保護者が参画して様々な体験活動や地域住民との交流活動に取組み、地域の教育力向上と子どもたちの創造性・社会性の育成を推進する。

教室の実施場所

小学校の余裕教室、特別教室(ランチルーム)、体育館、校庭など

教室の開催日

- 放課後
平日(月曜日～金曜日)14:00～17:00
- 長期休業日(夏休み・冬休み等)
平日(月曜日～金曜日)9:00～12:00
(お盆・年末年始等を除く)

参加対象者

小学校の1年生～6年生(全児童対象)
※定員:50人程度

申込み手続きなど

学校で配布される参加登録申込書を学校へ提出。利用者負担:1人につき登録料1,000円(電話通話料、灯油代等)、保険料500円、参加費1,500円(共同で使う教材費)(※その他、参加者が個々に持ち帰る材料代は随時集金)。

参加実績

	平成19年度	平成20年度
開設日数	215日	207日
延べ参加児童数	7,865人	*5,898人
1日あたり参加児童数	37人	*32人
実施校児童数	173人	168人
登録児童数	69人	57人
登録児童の割合(%)	40%	34%

注) *印は2月末現在の数値



和太鼓リズムの様子

活動内容

- 指導者がアイデアを出し合い、毎回テーマを決めて、特色ある多様な活動プログラムを企画実施しているほか、挨拶・礼儀作法・後片付け等の生活指導も行っている。
 - 毎月学校を通じて活動予定表を配布、児童からの参加予定表を基に活動準備を行う。
- 【主な活動内容】
- 学習支援活動(宿題サポート、計算・漢字ドリル、読書指導、俳句、音楽リズム、習字、平和学習等)
 - スポーツレクリエーション活動
(ドッチボール、ソフトバレー、なわとび、ボーリング、ドミノあそび、リレー、自然観察等)
 - 創作活動(折り紙、工作、クッキング、手芸、絵画等)
 - 伝承文化活動(昔あそび、絵あわせ、和太鼓リズム、囲碁、詩吟等)
 - 季節行事(五月節句、七夕まつり、お月見、亥の子、クリスマス会、節分、ひなまつり等)
 - その他の活動(プール教室、昔あそびチャンピオン大会、社会見学)



体育ゲーム(室内サーキット)の様子

10月活動予定表

月	火	水	木	金
		1 自主学習 体育ゲーム	2 自主学習 読み聞かせ 紙しばい	3 自主学習 シャボン玉 あそび
6 自主学習 詩吟	7 自主学習 音楽あそび	8 自主学習 体育ゲーム	9 自主学習 みんなでお絵描き (スグッチ)	10 自主学習 お月見 (十三夜)
13 教室 お休み	14 自主学習 読み聞かせ 紙しばい	15 自主学習 体育ゲーム	16 自主学習 ボーリング あそび	17 自主学習 ぶんぶん ゴマ作り
20 自主学習 詩吟	21 自主学習 ビデオ鑑賞	22 自主学習 室内ゲーム	23 自主学習 外あそび	24 自主学習 和太鼓リズム
27 自主学習 詩吟	28 自主学習 昔あそび	29 自主学習 誕生会 室内ゲーム	30 自主学習 読み聞かせ 紙しばい	31 自主学習 折り紙で ポストカード (ヒーロー)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 学校アドバイザー・安全管理員の採用・募集
学校関係者、民生委員、地区社協会長などで構成される実行委員会を設置、教室の運営について協議し、町内にチラシを配付して公募。
- 配置人数
指導者登録数:11人(学習アドバイザー1人、安全管理員10人)
コーディネーター:1人(市内8教室を兼務)
- 元小学校長がリーダーとなり、地域の方々や保護者が指導者として参画し、活動プログラムを企画実施している。

事業を実施して

- 【担当者から】 教室独自の活動方針を定め、指導者が一人ひとりに丁寧に接しており、全体的に子どもたちの生活リズムが整ってきている。地域内でも自然に挨拶をかわすようになり、学校、地域、子ども、保護者とのつながりが深まった。
- 【学校から】 異学年交流の場が増え、学校での集団活動においてもまとまりがよくなった。上級生が下級生の世話をする場面も見られる。
- 【保護者から】 楽しく参加しています。迎えの時間が早いと子どもに逆に叱られます。活動内容が子どもにあっているのですね。/1年生の時からお世話になっています。子ども教室が大好きで、少しずつですが自主性が出てきたと思います。うれしい限りです。
- 【子どもから】 工作や昔あそびなど、家や学校ではできない体験ができてうれしかった。/わたしの家族は運動が苦手なので、家では一緒に外遊びをしてもらえないけど、教室ではみんなで思いっきり体育ゲームや外遊びができるから楽しい。/教室で集中して宿題ができるので、家ではすっきりした気分です。/宿題のヒントを教えるのでうれしい。

厚東ひだまり教室【山口県宇部市】

～厚東3本の矢 青・緑・白の矢～

◆事業の目的・理念

子どもたちの安全に常に不安をいだく昨今、地域目・声・気で子どもを守るため、次の3つの視点“厚東3本の矢”を定め、地域の智恵と技をいかした取組を行う。

- 青の矢 安全と危険の隙間・想定外の危険性を埋める取組
下校時の児童の安全を確保するとともに、留守家庭児童の安全な居場所づくりを進める。
- 緑の矢 少子化への歯止め、若者の厚東定住・厚東への移住基盤づくり
児童数の減少に対応し、保護者の就労を支援し、子どもを育てやすい環境づくりを進める。
- 白の矢 地域の高齢者と子どもたちとのふれあいの場づくり
高齢者にとって子どもたちを“地域の孫”とらえ、日常の時間の中で、相互にあいさつをかわし、ふれあう場をつくる。
厚東ふれあいセンターに集う高齢者が、文化・体験教室、遊びを通して“地域の先生”“地域のおじいちゃん、おばあちゃん”となる。

教室の実施場所

- 厚東ふれあいセンター(コミュニティルーム他)
- 厚東小学校グラウンド

教室の開催日

- 毎週月～金曜日 授業終了後～18:00まで
- 土曜日 8:30～18:00まで
- 夏、春、冬休み 8:00～18:00まで

参加対象者

厚東小学校校区内の全児童(1年～6年)

申込み手続きなど

- 希望者は厚東ふれあいセンターへ申し込む
- 利用料金 保険料 500円/年
- 利用料 月払い 1500円～2400円
- 日割り 100円/日
- おやつ代 100円/日

参加実績

- 開催日数 H19: 292日 H20: 291日
(土曜日、夏休み等含む)
- 登録児童数 35人(全校児童71人)
- 延べ利用人数
H19: 2,222人 H20: 1,792人(1月末)



教室近くの「ひだまり農園」で、農業体験

活動内容

- ひだまり教室近くにひだまり農園を設け、四季折々の作物を子どもたちや地域の方と協力して育て、出来たそばや大豆等でそば打ちや豆腐づくりをしている。年間を通じて農作業体験を取入れており、農園で収穫した作物を調理し、食べるといった地産地消の料理教室を行っている。
- 将棋、手芸、体操教室は毎月1～2回、いけ花、茶道教室は隔月1回、天文、絵画、陶芸、染物、科学、環境教室は随時実施している。
- 竹を使った灯籠や凧作り等も実施しており、教室の指導者は、主に地域の方をお願いしている。
- すべての活動を児童クラブと一体的に運営している。

〈活動内容の視点〉

- ①健康管理や安全確保、情緒の安定
- ②遊びの活動への意欲と態度の形成
- ③遊びを通じて自主性や社会性、創造性の向上
- ④家庭や地域における遊びや環境づくりへの支援
- ⑤宿題、補習等の学習活動
- ⑥その他児童の健全育成上必要な支援
- ⑦ひだまり農園を利用した年間を通じた農業体験と収穫物を利用した季節行事の実施

- 月曜～土曜日 常時 宿題、おやつ、プラバン作り、ゲーム等
- 水曜日 将棋・手芸教室・カレンダー作り 2週間に1回
- 生花・茶道 毎月1回
- 土曜日 体操教室 毎月1回
- 随時 天文・絵画・陶芸・染物・科学・舞踊・環境教室
- 竹を使った灯籠・凧作り・水鉄砲・竹笛・農作業体験



生花教室の様子

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 安全管理員、学習アドバイザーは高齢者、大学生、PTA、社会教育団体、青少年団体等から募集。児童クラブの指導員は保育士・教諭・高校卒業後2年以上児童福祉事業に従事した者
- 配置人数 【コーディネーター】 配置人数:1名(計4教室を担当)
- 【安全管理員】 登録人数:2名 配置人数:2名
- 【学習アドバイザー】 登録人数:2名 配置人数:2名
- 【ボランティア等】 登録人数:30名
- 校区社会福祉協議会、自治会連合会等の地域団体と地域住民及び関係行政施設・機関が連携した厚東ひだまり運営協議会を組織し運営している。

事業を実施して

- 参加者の声 <子ども> ○毎回、色々な物が作れるので楽しみにしている。 ○色々な道具を使って運動するのが、楽しい。
- <指導者> ○針を使うのもおぼつかなかった子どもたちが、上手に作品を仕上げるようになった。
- かなりハードな内容でも、楽しく取り組んでいる。
- <保護者> ○家で、その日作った作品の話をよくするようになった。
- 幼稚園でも体操をしていたので、ひだまりで引き続きやるようになり、子どもの上達ぶりが見えて嬉しい。
- 成果 ○これまでの見守り活動に加え、放課後の学習、安全、安心の居場所づくりができた。
- 多くの方々子どもたちにかかわるようになり、地域全体で子どもを見守る機運が高まった。

撫養クラブ放課後子ども教室【徳島県鳴門市】

～地域に広げる子育ての輪～

◆事業の目的・理念

- 地域で子どもたちの健全育成と安全を図るため、小学校、公民館などに、安全・安心となる子どもたちの居場所づくりをすること。
- PTAと地域との連携を図り、子どもたちを心豊かでたくましく健やかに成長するように協力すること。

教室の実施場所

- 学校の体育館、図書室、大教室、家庭教室。
- 学校に隣接する公民館など。

教室の開催日

- 月2回の火曜日 14:00-16:30
- 毎週 木曜日 14:00-16:30
- 毎週 土曜日 9:00-11:30
- その他の活動の実施日と常時活動の時間変更については毎月発行する日程表で連絡する。

参加対象者

小学1年生～6年生(全児童対象)。
場合によっては未就学児、中学生も可。

参加実績

●おやつ教室	90人(32%)
●リズム教室	40人(14%)
●バスケット教室	40人(14%)
●卓球教室	50人(18%)
●御輿かつぎ体験	90人(32%)
●流しそうめん	160人(56%)
●クリスマス会	200人(70%)



流しそうめんできらい夏も吹っ飛ばすぞ!!

申込み手続きなど

- 完全登録制の活動は「体操教室」の1教室。
- 「体操教室」は、スポーツ保険(年間500円)を個人負担。
- 「おやつ教室」「工作教室」などは事前に申込書で人数確認する。
- 教材費は実施負担。

活動内容

- 「卓球教室」は元中学教師の指導を中心に実施。
- 「ミニバスケット教室」「体操教室」は地域の協力による専門指導者により実施。
- 「エアロビ教室」はPTAの専門指導者により実施。
- 「読み聞かせ教室」「おやつ教室」「工作教室」「スタディ教室」はPTAによるボランティアスタッフで実施。
- PTAと子どもたちによる資源ゴミ回収活動。

週	曜日	月	火	水	木	金	土	日
第1週					工作教室 14:00～17:00		英語教室 9:00～12:00	○花植え ○廃品回収
第2週			読み聞かせ 14:00～17:00		バスケット教室 14:00～17:00		体操教室 13:30～15:30	○七夕祭り ○流しそうめん
第3週					リズム体操教室 14:00～16:00		スタディ教室 9:00～12:00	○みこしかつぎ ○クリスマス会 等々
第4週			スタディ教室 14:00～17:00		おやつ教室 14:00～17:00		卓球教室 9:00～12:00	



卓球教室



英語教室



おやつ教室でみんな真剣

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 コーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員、ボランティアは「事業目的」に賛同する方。
- 配置人数 コーディネーターは1人、学習アドバイザーは、保護者や地域の方々、退職教職員、大学生や大学留学生などをそれぞれ1人～2人配置。
- 安全管理員は、1回の活動への子どもたちの参加人数に合わせて配置。その他ボランティアを数人配置する。

事業を実施して

- おかし作りは、大好き!!。リズム体操や、卓球、英語色々あるので、自分の好きな教室に通っている。放課後が楽しみになった。(児童)
- 保護者・地域の方々によるこの活動により、たくさんの子どもたちが放課後を楽しく有意義に生活できることに大変感謝している。活動で学んだことが、子どもたちの生活を豊かにし、より良い成長につながっていると思う。(撫養小 校長)
- 子どもたちの参加も、協力していただく指導者も増え、幅広い経験ができ、安心できる居場所づくりが、学校・PTA・地域の理解や協力を得て実現できてきた。(コーディネーター)

こんぴら子ども塾 (香川県琴平町)

～地域みんなで、健やかな子どもを育よう!～

◆ 事業の目的・理念

- この「こんぴら子ども塾」は、「もっと子どもと接したい」「何か子どもたちに教えられることはないのだろうか?」という地域の方々の声から始まった。年を経るごとに地域の方々の参加人数も増え、様々なメニューの提供が可能となっている。
- すべての子どもたちに、いろいろな体験・経験を通して個性ある輝いた大人に育ってほしい。
- 「地域みんなで、健やかな子どもを育てよう!」をスローガンに、地域一丸となって「こんぴら子ども塾」を開校している。

教室の実施場所

琴平町内3小学校の余裕教室、
体育館、運動場など

教室の開催日

- 毎週水曜日
- 長期休業日

参加対象者

町内小学生(1～6年生)
(登録児童数) 平成19年度 281人
平成20年度 291人

申込み手続きなど

- 4月に町内3小学校の全校生に募集要項を配布し、こんぴら子ども塾生を募集。
- 学校を通じて、子ども塾開校式の案内の配布や登録用紙の配布・回収を実施。
- 材料代や保険料等の実費は、自己負担。

参加実績

- 平成19年度の参加者数
平均 43人
- 平成20年度の参加者数
平均 50人
- 開催日数 150日の予定



扇子の扱い方(日本舞踊教室)

活動内容

- スポーツ部門**
○フットサル、キッズテニス、バスケットボール、ソフトバレー、水泳、ドッジボール、野球、サッカー
- 文芸部門**
○華道、茶道、子ども俳句、そろばん、銭太鼓、日本舞踊、童画教室
- 体験学習部門**
○農園体験、昔遊び、キャンプ、お話し、英語で遊ぼう、ネイチャーゲーム、料理教室、科学工作、折り紙遊び、しめなわ作り
以上 25種目の内容を実施している。
- 放課後児童クラブとの連携**
○放課後児童クラブは、町内3小学校の空き教室を専用スペースとして事業を実施しているが、放課後児童クラブに入っているほとんどの児童が「こんぴら子ども塾」に参加し、子ども塾の活動を終えてから、また放課後児童クラブの方に戻っている。
- 運営委員会の開催**
○委員:28人(PTA連絡協議会会長、単位婦人会会長、各小学校長、民生児童委員など)
○開催回数:4回
○内容:琴平町放課後子どもプランの推進方策について 安全方策について 活動内容について



リズムを合わせて(銭太鼓教室)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 募集** ○婦人会、食生活改善協議会、民生委員会、老人クラブ連合会、公民館講座グループ、体育指導委員などの団体や華道、茶道などの専門家といった地域の方々に協力をお願いしている。
- 配置人数** ○学習アドバイザーと安全管理員の役割を兼ねた「活動・安全管理指導員」を115人をお願いしている。
- 月初めに教室に参加する児童数を把握し、配置する活動・安全管理指導員を決めているが、毎回2～3人程度は配置する。

事業を実施して

- 放課後児童クラブに入っている児童の「こんぴら子ども塾」への参加がますます増え、放課後児童クラブと連携した放課後対策が実現できている。
- 保護者からは、「学校では教わらないことが経験でき、子どもも毎週水曜日のこんぴら子ども塾を楽しみにしています。」という声がかれた。運営委員会では、「もっと子ども塾をよくしたい。」と毎回積極的な意見が出ている。
- こんぴら子ども塾を発信基地として、琴平町内に「地域で子どもを育てよう」という意識をさらに高めていきたい。

久万子どもの居場所づくり教室【愛媛県久万高原町】 ～子どもの集う場所として～

◆事業の目的・理念

- 放課後や週末等の子どもたちの適切な遊びや生活の場を確保し、地域の方々の参画を得た学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を通して、安全・安心の場を提供するとともに、地域で健やかな成長を支援する。

教室の実施場所

児童館(NIKONIKO館)、
また近隣の公園・地域の施設

参加対象者

小学生以上

申込み手続きなど

- HP、館だより等で告知し、当日名簿に記入後、誰でも参加できる。
(イベントによっては、事前に電話にて参加申込みをとる場合もある。)
- 参加費…無料

教室の開催日

- 平日…放課後～17:00
- 土曜日、長期休暇等…9:00～17:00

参加実績

参加人数 2,300人(H19年度実績)



笛ヶ滝DAYにて周辺の公園を散策中

活動内容

- 地域の方を講師に迎え、普段できない遊びに挑戦する『カルチャレンジャー』【カルチャー(文化)・チャレンジ(挑戦)・レンジャー(みんな)】を実施。(毎月1回土曜日)
- 地域の公園に向いての戸外遊びをしたり、児童館周辺を散策したりして自然に親しむ『笛ヶ滝DAY』を実施。(毎週水曜日)さらに、スポーツ活動等を行う『ちゃれスポデー』を実施。(第3水曜日)
- 工作を行うことができるようクラフトコーナーを実施。(毎月1回)

活動年間計画

月	イベント	カルチャレンジャー	ちゃれスポデー	クラフトコーナー
5月	第10回NIKOたん～俳句イングの旅～	段ボール大作戦!?	屋外フットサル	春の工作
6月	ちびキャン～はじめてのおとまり～	アイロンビーズ	ドッジビー	ECOコマ
7月		夏の星を見よう!	ボディペインティング	夏の工作(風車)
8月	久万おどり・サマーキャンプ・夕涼み会			夏休みの工作(スライム)
9月	第11回NIKOたん～めざせチャンピオーネ～		紙フトタッチ	色々な紙飛行機
10月	チルドレンフェスタ.21 in 林業まつり	どんぐりクラフト	ハンドボール	ハロウィンバッグ
11月	えひめ児童館ジャンボリー	クリスマスリース作り	屋外フットサル	秋の工作(壁飾り)
12月	クリスマスパーティ	絵手紙で年賀状を描こう!	雪遊び	クリスマスカード
1月	おもちつき大会	KAPLA大作戦!?	凧揚げ	三角立体たこ
2月	3地域児童館ウインター交流会	バレンタインチョコ作り	チャレンジ縄跳び	冬の工作
3月		カード立て	鬼ごっこ	思い出工作

※上記以外に、定期的な活動として、クッキング・手芸・パソコン・お菓子屋さん等を実施。



面河山岳博物館の
学芸員を講師に迎え、
どんぐりクラフトに挑戦

ちびキャン～はじめてのおとまり

自分たちで
作るのって
楽しいね♪



ちゃ～んと
買えたかな?

コーディネーターや 地域の方々などの参加

- 採用・募集 随時
- 配置人数 学習アドバイザー 8人、安全管理員 7人、コーディネーター 1人
- 地域の方々の参加により、幅広い活動ができるとともに、PR効果が期待できる。

事業を実施して

- 本教室の各種イベントや日常活動に児童クラブ(NIKONIKOクラブ)参加者も加わることで、活動の充実を図ることができた。
- 町内の他施設や地域の方々の協力を得ることで、児童館内だけでなく幅広い世代間の交流の場となっている。また、地域の方々に子どもの遊び場の環境を知ってもらう好機会となった。

ふれあい広場inやすだ【高知県安田町】

～地域ぐるみで、子どもたちを温かく育んでいこう～

◆ 事業の目的・理念

- 同学年・異学年、また地域の人々と交流できる機会を設け、人との関わりについて学んだり、自分の考えをしっかりと伝える力などを育み、地域で子どもたちを育てていくための基盤とする。

教室の実施場所

町立福祉館、その他町内施設等

教室の開催日

- 火曜日～金曜日 15:00～17:00
- 土曜日 14:30～16:30

参加実績

	開催日数		延べ参加数		平均参加数		児童・生徒数	保険加入者数	加入率
	平日	土	平日	土	平日	土			
H19	221	39	1,666	456	7.5	11.7	205	48	23%
H20	195	43	1,426	490	7.3	11.4	197	49	25%

参加対象者

町内の小中学生

申込み手続きなど

- 家庭で、個人カードを作成し提出
- スポーツ安全保険に加入するための保険料500円の徴収
- 活動内容により、参加費(材料費等)の徴収



自由あそびの様子

活動内容

- 平日は「自由あそび」…ホールを開放し、自由に過ごす(ボール遊び、パソコン、将棋、読書、折り紙など)
- 土曜日は「体験学習」…学校を通して配布する月1回の通信で翌月の予定を知らせる。

平成19年4月発行 発行 安田町教育委員会 問い合わせ 38-5711

5月の体験学習は…

- 「フットボール」 5月10(日) 14:30～16:30 安田小体育館
- 「卓球教室」 5月17(土) 14:00～16:30 安田小体育館
- 「バドミントン」 5月24(土) 14:00～16:30 安田小体育館
- 「パンフラー教室」 5月31(日) 14:30～16:30 福祉館

保険加入のお願い

クリスマス会

ビンゴで贈り物ゲット!! ケーキもあるよ

★日時 12月20日(土) 14:30～16:30

★会場 福祉館の図書室

★参加費 300円

★申込日 12月17日(水)

★申し込み 福祉館 TEL 38-5711 FAX 38-5745

★申込先 福祉館 TEL 38-5711 FAX 38-5745

★申込先 福祉館 TEL 38-5711 FAX 38-5745

クリスマス会申込書

学年	氏名	学年	年
管理	住所	管理	住所
管理	電話番号	管理	住所
管理	氏名	管理	住所

行事別のチラシを作成し、参加者の募集などを行う。

体験学習(パンフラー教室)



コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 安全管理員は、町広報誌の折り込みチラシを介して町内に募集し、「ふれあい広場inやすだ」に賛同する方を「サポーター」として採用している。(現在は16名)
- 配置人数 安全管理員は常時2名を配置している。体験学習の際は参加者人数によって、管理員の配置人数を増やし、子どもたちの安全管理につとめている。
- 地域の方々の参加 卓球教室、おはなしの会では、年間を通じて地域の方を講師として依頼しており、子ども会との共催行事等では、老人クラブとの交流などもある。

事業を実施して

- 地域や保護者の協力もあり、活動も広がっており「ふれあい広場」が地域に定着してきている。しかし、活動内容について参加する子どもたちのニーズ、地域の大人や親のニーズを把握することが必要であり、地域や学校・家庭と連携した組織づくりなどの課題が残されている。

(サポーターの声)

学校帰りの子どもたちに出会うと、大声で名前を呼んでくれる。その笑顔につい弾み『お帰りー。気をつけて帰りや』と言うと手を振ってくれる。サポーターでよかった。「ふれあい広場」のあらゆる場面で成長する子どもたちに感動します。交わす言葉一つにしても「先生」でも「親」でもない「サポーター」ならではの声が返ってくる。もっと大勢の子どもたちが遊びに来てくれることを待ってる。

鏡子ども教室【佐賀県唐津市】

～地域で支える、心豊かな子ども達を育む多様な体験活動の場～

◆ 事業の目的・理念

- 子ども達が心豊かで健やかに育つ環境づくりを推進するため、放課後や週末に公民館等を活用し、地域の方々の参画を得て、文化・スポーツ活動、交流活動などの様々な体験活動に取り組むことを目的とする。
- また、他者への思いやりの心を育み、人づきあいや社会のルールなどを学びながら成長していく子ども達を地域全体で見守っていくことを目的とする。

教室の実施場所

鏡公民館、半田ふれあいセンター

教室の開催日

水曜日、土曜日、日曜日

参加対象者

鏡山小学校区の全ての子ども達

申込み手続きなど

- 年度当初に小学校を通して申し込み用紙を全児童に配布。申込みは直接鏡公民館へ。
- 参加料は保険料500円のみ。活動内容によっては実費徴収あり。



ブックジュニアの施設訪問

参加実績

子どもの参加者数

- 平成19年度…3,085名(延べ人数)
- 平成20年度…2,200名(延べ人数)

大人の参加者数

- 平成19年度…985名(延べ人数)
- 平成20年度…825名(延べ人数)

実施回数

- 平成19年度…171回
- 平成20年度…150回

※平成20年度は平成20年12月末までの実績

活動内容

- 4学級(おたのしみ学級・お話教室・児童交流学級・地域交流学級)7つのコース(茶道教室、かるた教室、ブックジュニア、お話学級、ものしり学級、モーニング学級、半田のびのびクラブ)を実施。平成20年度後半より、子ども達や保護者からの要望により新たにお誂い教室、英語教室の2コースを追加開設し、4学級9コースのカリキュラムとなり、さらに多様な内容となった。
- (1) **茶道教室** 公民館で実施。内容は茶道の手ほどきを稽古。成果を鏡校区産業文化祭で披露している。
- (2) **かるた教室** 公民館で実施。内容はいろはかるた、万葉かるた、百人一首とお手玉を稽古。かるたや百人一首の歴史・文化を学んだり手ほどきを受けている。また年に数回大学教授による指導がある。
- (3) **ブックジュニア** 公民館で実施。様々な物語を劇仕立てにして、練習を行っている。福祉施設や特別支援学校、市立図書館や鏡地区産業文化祭など色々な場面でその成果を発表している。
- (4) **お話学級** 公民館で実施。大人による子どもへの読み聞かせ、エプロンシアター、ゲームなどを行っている。
- (5) **ものしり学級** 公民館又は野外で実施。サイエンス実験を中心に、レクゲーム、クッキングなど様々な体験活動を実施。
- (6) **モーニング学級** 内容はものしり学級と同じで、主に週末の午前中に実施している。
- (7) **半田のびのびクラブ** 半田地区ふれあいセンターや野外で実施。軽スポーツや地域の伝統行事、季節の行事などの活動。
- (8) **お誂い教室** 公民館で実施。主に「鶴亀・高砂」を中心に祝いの席で披露できるように練習を行っている。
- (9) **英語教室** 公民館で実施。アメリカ人を講師に迎え、カードや身体を使って日常会話を中心に実施。



茶道教室の様子

活動様式

鏡子ども教室			
児童交流学級 ものしり学級 第3土曜日 モーニング学級 第2土曜日 学習型 各回別内容 館内・館外 体験・体得	おたのしみ学級 茶道教室 第4土曜日 かるた教室 第3土曜日 お誂い教室 第2土曜日 英語教室 毎週土曜日 お稽古型 積み上げ内容 館内	お話教室 お話学級 第4土曜日 ブックジュニア 水・土日 参加交流型 お楽しみ内容 館内・館外 創意・発表	地域交流学級 半田のびのび クラブ 月1回不定期 異世代交流型 子供老人共同内容 地域 共生・共存

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集** 事業に賛同していただける方なら誰でも。
- **配置人数** コーディネーター 1名
安全管理員 23名
学習アドバイザー 6名
ボランティア 内容によって住民の方々に依頼
- **その他** 地域の婦人会、老人会、食生活改善推進協議会、専門的職業(調理師・染色家など)の方々に講師を依頼している。

事業を実施して

- 鏡子ども教室は、地域主導による実行委員会形式で実施されている。その実行委員会を支えるため、公民館をはじめ地域の社会教育関係団体や地域住民の方々々が惜しみなく協力しており、地域で子どもを育てようという強い信念の基に活動している。
- ブックジュニアに参加している子どもの声:人形劇やパネルシアター、大型絵本を読む練習をして、施設訪問や発表会など色々なことに挑戦している。思ったより難しいけれど出来上がりが楽しみ。これからもどんなことができるのかととても楽しみ。

奈良尾地区放課後子ども教室【長崎県新上五島町】

～子どもを核とした地域コミュニティの促進をめざして～

◆ 事業の目的・理念

●当教室は、本町における総合的な放課後対策として、平日の放課後に、地域にある図書館の空きスペースで開催している。地域の大人の知識や技能を活かし、紙芝居、囲碁、かるた、英語、もの作りなどのさまざまな体験・交流の場を子どもたちに提供している。現在、地域から募った17人の大人が安全管理員、学習アドバイザー、地域ボランティアを務め、教室を運営している。地域の子どもと大人が集い、互いに学び楽しむことができる生涯学習の場としても親しまれるよう放課後子ども教室を活用している。

教室の実施場所

新上五島町立奈良尾図書館

教室の開催日

平日(月～金)

参加対象者

新上五島町立奈良尾小学校児童



図書ボランティアによる読み聞かせ

参加実績

〈平成19年度実績〉

- 登録児童数9人(延べ912人参加)
- 事業実施日数167日
- 1日あたり平均参加者数5.5人

〈平成20年度予定〉

- 登録児童数22人(延べ1,696人参加)
- 事業実施日数201日
- 1日あたり平均参加者数11人

申込み手続きなど

年度当初の保護者説明会及び子ども教室体験を経て、新上五島町教育委員会生涯学習課及び子ども教室安全管理員まで所定の用紙にて申し込む。

活動内容

- 地域の人材を活かした体験プログラム:創作活動、水墨、手品、囲碁、読み聞かせ、英語、レクリエーションなど
- 「地域の日」「自由の日」「学習の日」を週に数回設け、多様な体験プログラムを行い、活動の充実を図っている。
- 教室に訪れた児童は、まず学校の宿題や予習・復習に取り組む。人数が集まり次第、地域との交流や体験活動を行う。

活動日程例(平成21年2月分)

日	曜日	行事内容	学習アドバイザー及び地域指導者	日	曜日	行事内容	学習アドバイザー及び地域指導者
1	日			15	日		
2	月	地域の日(ゲーム等)	生涯学習サークル会員	16	月	地域の日(ゲーム等)	生涯学習サークル会員
3	火	学習の日	※安全管理員のみ	17	火	学習の日	※安全管理員のみ
4	水	地域の日(学習)	学習アドバイザー	18	水	地域の日(学習)	学習アドバイザー
5	木	地域の日(囲碁、オセロ)	老人会	19	木	地域の日(囲碁、オセロ)	老人会
6	金	図書館の日(読み聞かせ等)	図書ボランティア	20	金	自由の日	※安全管理員のみ
7	土			21	土		
8	日			22	日		
9	月	地域の日(ゲーム等)	生涯学習サークル会員	23	月	地域の日(ゲーム等)	生涯学習サークル会員
10	火	学習の日	学習アドバイザー	24	火	学習の日	※安全管理員のみ
11	水	自由の日	※安全管理員のみ	25	水	地域の日(絵手紙)	学習アドバイザー
12	木	地域の日(絵手紙)	地域ボランティア	26	木	自由の日	※安全管理員のみ
13	金	自由の日	※安全管理員のみ	27	金	地域の日(絵手紙)	地域ボランティア
14	土			28	土		



生涯学習サークル会員による紙ヒコキ作り

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集(現在、コーディネーターは教育委員会職員が務めているので対象外)地域関係団体等へ相談し、適任者を紹介してもらったり、公募をしたりする。採用については、応募者に対して教育委員会が面接を行い、正式に安全管理員や学習アドバイザー等の指導スタッフを依頼する。
- 配置人数
3人(安全管理員1人、活動内容に応じて安全管理員や地域の指導者2人を追加配置)
- その他
安全管理員自らもボランティアグループの代表を務めており、地域の人材にも精通している。

事業を実施して

- 当教室においては、地域住民の「子どもに関わる意識」の高さから、地域との交流や体験活動を中心とした事業の展開ができています。また、地域の方々が積極的に関わることにより、「世代間交流」が必然的に行われ、若年層からの生涯学習が実施されている。
- 【安全管理員の声】 平日の放課後や休日に、町中で子どもたちが群れて遊ぶ姿や声が見聞きできなくなり、淋しくなった昨今、安全管理員として関わることができ、地域の子どもたちとの触れ合いができることに喜びを感じている。

産山村立放課後子ども教室【熊本県産山村】

～子どもたちに居場所を～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後や週末に、地域の方々の参画を得て、学びや文化活動、地域住民との交流を通して、豊かな人間性を育む。
- 子どもたちが安全で安心して活動できる居場所(遊び場)と様々なプログラムを提供する。
- 「地域の子どもは地域で育てる」という気運の醸成と家庭教育力・地域教育力の活性化を図る。

教室の実施場所

- 平日:産山小学校
- 週末:各地区公民館等

参加対象者

- 産山小学校全児童を対象
- 平日:1～3年の児童全員
- 週末:全学年の児童

教室の開催日

- 平日:火曜日及び木曜日
- 週末:第1、第3土曜日

申込み手続きなど

- 入学後、保護者に参加申込書を配布、希望者は承諾書を教育委員会に提出。
- 参加料金は無料。 ● 教室参加者は傷害共済保険に加入。



そろばん教室

参加実績

- 全児童数：88名
- 登録率：100%
- 参加について：
平日、4～6年は、部活動へ参加するため1～3年生のみ
- 開催日数
H19年度：平日54回、週末23回
H20年度：平日50回、週末17回

活動内容

産山村では、平成14年度から地域の力を生かした子どもの週末の居場所づくりや体験活動・交流活動・学力充実を図る取組を行ってきた。

さらに、平成16年6月より、地域子ども教室として3教室、「わいわいヒゴタイ土曜塾」、「子ども水泳教室」、「放課後英会話教室」を開設し3年間取り組んできた。

そして、平成19年度からは、これらの取組を生かし、さらに充実させる取組として産山小学校において放課後子ども教室に取り組んでいる。実施にあたっては、平日は学校と連携した学習活動、遊びの活動、体験活動を週末は多くの地域の協力者が参画した取組を実施している。



創作活動(食育カルタ)

活動表

月	平日(15:45～17:00)		土曜日(9:00～11:30)
	1・2年	3年	全学年
5月	学習活動、開式、ネームづくり、読み聞かせ、糸電話づくり		読書まつり、ヒップホップダンス
6月	学習活動、ねんど遊び、紙皿でカードづくり、落花生を植えよう、紙を使った動物ランド昆虫ランドづくり	学習活動 そろばん	花植え、ヒップホップダンス
7月	学習活動、七夕飾りづくり、紙を使ってなんでもランドづくり、おにぎりを作ろう、紙飛行機を作ろう		親子ソフトボール、ヒップホップダンス
8月			ヒップホップダンス出演
9月	学習活動、紙を使って鶴と紙笛をつくらう、ティッシュでパラシュートをつくらう、まわるおもちゃをつくらう、貼り絵・切り絵		ヒップホップダンス・ジャグル
10月	学習活動、牛乳パックで輪投げ、ハロウィーンの帽子を作ろう、切り紙遊び		サッカー指導
11月	学習活動、新聞紙で魚釣り、自分で植えた落花生を食べよう、おうちづくり、好きな遊びを選んで体験しよう	学習活動 そろばん	劇団道化公演、ヒップホップダンス・ジャグル
12月	学習活動、クリスマスツリー、ろうそくに好きな絵をデザイン彫刻、クリスマス会		餅つき交流会
1月	学習活動、紙を使って鶴と紙笛をつくらう、ティッシュでパラシュートをつくらう、まわるおもちゃをつくらう		どんどこ、文化・芸術体験、料理教室

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **人材の確保等** コーディネーターは、1名で、活動プログラムの企画・策定、学校との連絡調整や学習アドバイザー、安全管理員等の地域の協力者の確保・登録配置を行っている。学習アドバイザーとして13名登録し、珠算は珠算1級の村内在住の方に指導をお願いしている。安全管理員は、常時1名配置している。人口約1,800人の小さい村であるが多くの地域人材を生かして、地域の子どもの安全・安心な活動拠点の確保、様々な体験・交流活動や学習活動に取り組んでいる。平日の活動には地域の約25名、土曜日の活動には地域の約300名の方々が、様々な体験活動の協力者として参加している。

事業を実施して

〈コーディネーターから〉 放課後なので低学年には楽しい時間になるよう子ども達の目線でプログラムを考えるようにしている。楽しそうに活動している子ども達をみるとまたやる気がでる。

〈子どもの感想から〉 「カルタを自分で作って遊べたのはとっても楽しかった。」「そろばんで計算できるようになってうれしい。」

〈学習アドバイザーから〉 元気のいい子が多く、なかなかまとまらないが、いろいろと指導方法を試している。教えることはしっかり教えているが、子どもたちが楽しく活動できるよう心がけている。

〈珠算の指導者から〉 はじめのうちはそろばんの仕組みにびっくりする子どももいたが、みんな覚えが早いのにびっくりした。

〈村の担当者から〉 学習アドバイザーの意欲的な取り組みにより、「地域の子どもは地域で育てる」という意識が芽生え理想の姿に近づきつつあると思われる。

五ヶ瀬風の子自然学校【宮崎県五ヶ瀬町】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後や長期休業等に小学校の教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。
- 異年齢で学び、遊ぶことで思いやりの心を育むとともに、子どもたちのたくましく生きる力を育む。

教室の実施場所

元五ヶ瀬町役場鞍岡支所、元鞍岡小学校跡グラウンド、五ヶ瀬風の子農園、五ヶ瀬ハイランドスキー場、五ヶ瀬川など

教室の開催日

毎週 月～金(土・日開催有り)
午後2時～午後6時 年約245回

参加対象者

小学校1年生～6年生

参加実績

- H19参加実績 年間6,426人
- 平均参加者数 26人/日
- 鞍岡小学校児童数 66人
- 登録数 50人(86%)

申込み手続きなど

- 前年度末にチラシを配布し、参加者の募集を行う。
- 参加料金は、保険料として1,050円を徴収。



風の子農園での田植え作業



地域の方々の指導を受け、ものづくりに挑戦

活動内容

- 宿題教室、英語教室、工作教室、団体遊び、昔遊び、自然体験、パソコン教室、農業体験、交通安全教室、木工教室、カヌー教室、スキー教室
- 英語教室は国際交流員、昔遊び・自然体験・農業体験等は地域の方々の協力をいただいている。

1日のながれ 自然学校よりおむかえ～名文読み声～宿題～行事

2月12日(火)～15日(金)		2月18日(月)～22日(金)	
月	お休み	月	開始時間 14:20～ 行事予定 みんなで遊ぼう!
火	開始時間 15:20～ 行事予定 ものづくり体験 16:00～17:00	火	開始時間 15:20～ 行事予定 ものづくり体験 16:00～17:00
水	開始時間 14:20～ 行事予定 みんなで遊ぼう!	水	開始時間 14:20～ 行事予定 みんなで遊ぼう!
木	開始時間 14:20～ 行事予定 パソコン教室	木	開始時間 14:20～ 行事予定 パソコン教室
金	開始時間 15:20～ 行事予定 風の子農園 16:00～17:00	金	開始時間 15:20～ 行事予定 ものづくり体験 16:00～17:00

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
 - コーディネーター
学校と地域との協議により推薦、決定
 - 学習アドバイザー、安全管理員
教室において募集。資格等の要件は特になし
- 採用・募集
 - コーディネーター 1名
 - 学習アドバイザー 4名 (2名/日)
 - 安全管理員 3名 (2名/日)



畑作業

事業を実施して

〈子どもから〉

- 同学年以外の友達が増えた。
- いろんな遊びを覚えることができた。
- 地域の人たちと知り合いになった。
- 宿題ができる。

〈保護者から〉

- 夕方まで子どもをみる家族がいないので、助かっている。
- テレビを見る時間が減った。
- 帰宅時に、宿題を終えているので助かる。
- みんなと遊ぶことで、夕食をしっかり食べ、早く眠るようになった。



英語教室

古仁屋放課後子ども教室【鹿児島県瀬戸内町】

◆ 事業の目的・理念

● 地域全体で子どもたちを見守る環境づくりを進めるため、古仁屋に住む小・中学生を対象に、放課後や週末、長期休業中等を活用して、中央公民館等に子どもたちが安全・安心に活動できる拠点を設け、地域の大人（地域女性団体、退職教員の会、各サークル代表等）の力を結集して、学習活動やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施する。

教室の実施場所

- 瀬戸内町中央公民館を主会場に年間を通したプログラムの実施
- パソコンに関しては、隣接する瀬戸内物産館で実施
- 夏季休業中・冬季休業中は、自然・文化の専門家による奄美に関する学習活動や体験活動等を現地で実施

教室の開催日

月曜日～金曜日（週5日）
16:00～18:00

参加対象者

古仁屋小・中学校の児童生徒

申込み手続きなど

各学校に配布してある登録申込書による申込み

- 受付：月曜～金曜の13:00～18:00
- 場所：瀬戸内町中央公民館内 放課後子ども教室事務局

参加実績

- 平成19年度
登録者数：126名
参加児童数：2,954人
開催日数：212日
参加率：11.1%
当該学区児童数：461名
登録率：27.3%
- 平成20年度（21年1月現在）
登録者数：94名
登録率：22.8%
当該学区児童数：412名



地域の達人との体験活動（囲碁）



シーカヤック体験

活動内容

● 平日

曜日	内容	場所	
月	パソコン	物産館2階	
火	体験活動	中央公民館	
水	第1		島唄・三味線
	第2・4		英会話
	第3		マナー教室
木	第1・3・5		卓球
	第2・4		ゲートボール
金	体験活動		

ALTによる英会話



● 長期休業日

夏季休業中

時間：午後1時30分～4時30分

内容：体験活動が中心のプログラム

- シーカヤック
- 高知山探索
- 板付け舟
- 川あそび
- 堤防釣り
- グラウンドゴルフ
- 水泳
- 郷土館見学
- 石鹸づくり
- エコクラフト

冬季休業中

時間：午前9時～11時30分

内容：○クリスマスケーキづくり

- しめ縄作り
- お正月用生け花

コーディネーターや地域の方々などの参加

● 採用・募集

地域女性団体、教友会（退職教員の会）、ALT、各サークル（ゲートボール・読書・卓球等）、唄者などに各曜日ごとに指導者として依頼する。

● 配置人数

安全管理員 2名 学習アドバイザー 1名

- コーディネーターを中心に地域の人々の幅広い協力を得ている。

事業を実施して

● 平成16年度の事業実施から登録者及び参加者数が増え、平成19年度は延べ約3,000人の子どもたちが参加し、地域の大人と様々な体験活動を通して、知識だけでなく社会力を育てている。本事業の実施により、古仁屋市街地における放課後子

ども教室の時間の確保がなされ、子どもたちの安全で安心できる環境づくりが定着しつつある。また、ボランティアも、それぞれが自ら学んだことや技術を子どもたちに伝える事により、さらに学習意欲を高めるなど、生涯学習の充実が図られている。

百泉児童クラブ【沖縄県南城市】

～地域の子は地域で育てる～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後や週末等に地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに生まれ、安全で安心して過ごすことのできる環境づくりを目指すものである。

教室の実施場所

南城市立百名小学校 地域連携室

教室の開催日

- 毎週月曜日～金曜日 15:30～18:00
- 長期休業の月曜日～金曜日 8:00～18:00
- 年間240日の開催

参加対象者

百名小学校区の小学1年生から6年生まで
(全児童対象)

申込み手続きなど

- その都度学校を通して配布される申込書により直接百泉児童クラブで手続きをする。
- 保険料とおやつ代月額1500円の実費負担あり。

参加実績

- 平成19年度
延べ参加人数 5060人
- 平成20年度
延べ参加人数 3695人(12月現在)
- 南城市百名小学校
児童在籍数 219人



南城市立百名小学校



地域連携室



クリスマス・各グループの催し物

活動内容

- 毎日の活動は、宿題や読書、創作活動、野球、ボール遊びなどを実施。
- 特色ある取組としては、野外体験、老人会との交流、季節にあった行事の取り組み等を実施。

時間	活動内容
～15:30	読書
15:30～16:00	宿題・復習
16:00～17:00	活動計画による活動
17:00～18:00	自由タイム



南城市子ども会等活動発表会

月	行事	内容
4～5月	母の日・こどもの日	プレゼントづくり・こいのぼりづくり
6月	父の日	お父さんへのプレゼントづくり
7月	七夕	七夕の飾り付け
8月	野外活動	公園への散策、プール遊び
9月	敬老会	地域の老人会と交流
10月	ハロウィンパーティー	ハロウィンの衣装づくり
11月	秋を見つける	散策で見つけた落ち葉やどんぐりを使って
12月	クリスマス	飾り付け・ブーツづくり
1月	お正月	昔遊び、手作り凧
2月	節分	鬼の面づくり
3月	ひな祭り	ひな人形づくり

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集**
コーディネーター・学習支援アドバイザー・安全管理員・ボランティア。上記「事業目的」にもある、放課後子ども教室の目的に賛同する方。
- **配置人数**
学習アドバイザー、安全管理人 2名、ボランティア数名を活動内容を勘案し調整。例えば野外活動には、安全管理員を多く配置するなど。

事業を実施して

- 子ども同士(異年齢)の多様な関わりや群れて遊ぶ機会の工夫等で、子どもたちの健やかな成長の場になっている。
- 高学年が低学年の宿題を見てあげることで、年齢を超えて顔見知りになり、思いやりの心が育ってきた。
- 不定期ではあるが保護者会等を開き子育てや、子ども教室の運営・行事の持ち方等について話し合うことで保護者の交流の場にもなっている。

北浦和ふれあいプレイランド【埼玉県さいたま市】

～いい汗 いい顔 いい仲間～

◆ 事業の目的・理念

- すべての子どもを対象として、地域の方々の協力を得て、多世代交流を行うことにより、安心安全な「居場所づくり」、心豊かで元気な子どもたちが育つ「地域社会づくり」を目指す。

教室の実施場所

北浦和小学校(体育館、校庭、視聴覚室)、北浦和公民館、浦和コミュニティセンター(コムナーレ)など

教室の開催日

- 月曜日～土曜日(祝日は除く)
- 第1・3日曜日、夏休みなど

参加対象者

北浦和小学校区を中心とした地域の子どもたち

参加実績

	19年度	20年度
開催日	281	206
参加数	10,524	10,698

H20.12月末



昔遊び(割りばし鉄砲)

申込み手続きなど

- 事前登録不要。参加時に、学年・名前・年齢を記入し、登録。
- 参加料は、原則無料。
(一部有料教室あり。キッズヒップホップ300円、卓球教室100円、ニュースポーツ教室100円)

活動内容

- 「いい汗 いい顔 いい仲間」をモットーに遊び、体験、学び、交流を行う。
- ベイゴマ、けんだま、割りばし鉄砲などの昔遊びや、ボール遊び、ニュースポーツ体験、ものづくりなど、さまざまな活動を実施。

日程表(例)

曜日	時間	内容
月曜日	15時～17時	昔遊びなど
火曜日	15時～17時	昔遊び、キッズヒップホップ(16時～)など
水曜日	15時～17時	昔遊び、読み聞かせ(15時30分)など
木曜日	15時～17時	みんなで歌おう(16時～)、スペイン語(15時45分～)など
金曜日	15時～17時	昔遊びなど
土曜日	9時～12時	キッズヒップホップ(9時～)、卓球(9時10分～)、昔遊びなど(第3土曜日のみ)
日曜日	13時～16時	ニュースポーツ教室(第1・3日曜日)



大縄跳び

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 **コーディネーター** 事業の目的に賛同し、子どもが大好きで、一緒に遊んでいただける方。ボランティアについては、随時受け入れ。
学習アドバイザー
安全管理員
ボランティア
- 配置人数 コーディネーター1名と安全管理員6～8名を配置し、子どもたちの安全確保を優先にし、活動を行っている。
- 活動 大人も子どもたちと一緒に楽しむことにより、子どもたちの「居場所」=大人の「居場所」と考え、地域の方々、PTAやそのOB、体育指導員、その他各種団体の方々が多く協力して、活動を行っている。北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブのクラブマネージャーが放課後子ども教室のコーディネーターとなっているため、地域の連携や教室活動の内容が、非常に充実したものになっている。

事業を実施して

- 子どもたちは、多種多様な遊びを体験でき、大きい子が小さい子へ指導したり、手本を示したりする姿が見られる。
- 教室であいさつをすることが習慣となり、教室以外でも子どもたちや地域の方々が、あいさつを交わすことが多くなった。
- 地域の大人同士の交流が深まり、「地域の子どもたちは、地域で育てよう」という雰囲気が醸成されてきた。

初音が丘小はまっ子ふれあいスクール【神奈川県横浜市】

～心も身体も地域で育てる～

◆ 事業の目的・理念

- 児童の創造性、自主性、社会性などを養うため、児童が通い慣れている学校施設を利用して、異年齢児間の遊びを通じた交流及び児童の安全で健やかな放課後の居場所作りを促進し、もって児童の健全育成を図ることを目的とする。

教室の実施場所

市立小学校内の多目的スペース、校庭、体育館などの施設を使用するほか、近隣の公園など校外の施設を利用することもある。

参加対象者

原則として当該学校に通学する1～6年の児童で、希望する者

教室の開催日

- 平日 放課後～18:00
- 土曜日・長期休業日等 9:00～18:00

申込み手続きなど

- 所定の参加申込書に必要事項を記入の上、各学校のはまっ子ふれあいスクールへ
- 参加料は原則無料
- 傷害見舞金制度負担金 1人当たり年額500円

初音ヶ丘の参加実績

参加児童登録数(児童数752人/登録率55%(個別支援級=93%))
 1年生=105人 2年生=97人 3年生=90人 4年生=56人
 5年生=40人 6年生26人 個別支援級=13人
 7月度参加実績=活動日数22日/参加人数2,562人/一日平均参加児童数116.5人



収穫!おいも掘り

活動内容

- 放課後での参加児童は通常80名を越える。
 - ★ルーム活動 折り紙・読書・ブロック等。
 - ★体育館活動 バドミントン・バスケット・ドッジボール等。
 - ★校庭活動 サッカー・リレー・一輪車等。
 - 自由遊びは、ベランダに大きなビニールプールを3個出して「夏を楽しむ」などの遊び。
 - ふれあいサッカーでは、マリノスのコーチを迎え、各学年に分かれミニゲームを楽しむ。
 - 工作教室では、学校の裏の森から切った竹を利用してオリジナルの制作などを行う。
 - ★竹トンボ どこまで飛ばせるか「さあ競争!!」
 - ★竹ふで 竹の先を細かく裂いて筆を作り墨絵を描く。
 - ★葉づくり 森で見つけた花や葉で葉づくりを行う。
 - リサイクル教室・地域の方と一緒に牛乳パックを使った絵葉書作り。「暑中見舞いを出しましょう。」
 - スイカ割り 6年生が中心となって、低学年のチーム分けやスタッフのお手伝い。
 - 親子で一緒においも掘り 10月には地域の農家に格安でお芋の提供をお願いし、当日は120名の参加。
 - 人形劇…観賞会と体験を含めて、手作りの人形を子どもたちが操作し演じた。
 - ハンドベルコンサート 横浜市内で活躍されているグループの方と一緒にクリスマスソングからジブリメドレーまで! 大きなベルは持つのが大変。
- ※その他季節に合わせた活動を、地域の協力を得ながら工夫して実施している。

平成20年7月の活動から

月	火	水	木	金	土
	1 イベント=ぶんぶんコマを作る	2 イベント=ぶんぶんコマを作る	3 イベント=ぶんぶんコマを作る	4 イベント=ぶんぶんコマを作る	5 イベント=ぶんぶんコマを作る
7	イベント=スライムを作る	8 イベント=スライムを作る	9 イベント=人形劇	10 イベント=スライムを作る	11 イベント=スライムを作る
14	イベント=読み聞かせ	15 イベント=読み聞かせ	16 イベント=読み聞かせ	17 自由遊び	18 自由遊び
21	自由遊び	22 イベント=ふれあいサッカー	23 自由遊び	24 イベント=工作教室	25 自由遊び
28	自由遊び	29 イベント=リサイクル教室	30 イベント=カレーパーティー	31 イベント=スイカ割り	

リサイクル教室で葉書作り



街の先生に教えてもらったよ!

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 学校アドバイザー・安全管理員の採用・募集
子ども達の育成事業に力を入れている地域の方々や元教員のスタッフ。
- 配置人数
参加人数によって異なるが、特別に配慮を要する児童の参加に応じて、スタッフの配置人数を確保している。
- 地域の活動センターに登録している指導者や学校にも協力している街の先生の指導のもと、子ども達の創造性や体験活動をサポートしていただいている。

事業を実施して

- 学校から
年齢の異なる子どもたちが、「遊び」や「イベント活動」を通して、友達とどのように関わって行けば良いかを学ぶ機会になっている。子どもたちにとっても放課後の安全な居場所と望ましい人間関係に必要な「心」と「力」を育成する場となっていることに保護者の皆さんも喜んでます。
- 保護者から
はまっ子での活動を十分に楽しんでいて親としてとても安心している。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～鶴舞小学校トワイライトスクール～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友だちと自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

教室の実施場所

放課後学級ルーム(教室を改修した専用室)、運動場、体育館など。

申込み手続きなど

- 参加申込書に負担金(保険関係費)を添えて提出。
- 保護者負担 参加料:無料(別に負担金(保険関係費)あり)

教室の開催日

- 平日 授業後～18:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始は休み。
- 年間約290日の実施

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)

参加実績

● 平成19年度	
○登録率	67.0%
○参加登録者数	140人
○1日あたり参加者数	18.4人
● 平成20年度(1月末現在)	
○登録率	57.2%
○参加登録者数	123人
○1日あたり参加者数	16.4人



読み聞かせ

活動内容

自然観察や読み聞かせ、卓球等、事業ボランティアスタッフによる豊かな体験活動を数多く実施。

- 自由な遊び ブロック、トランプなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座など
 - 手品 ○緑化センター見学 ○本の読み聞かせ ○工作 ○ハロー、イングリッシュ ○パソコンで勉強
 - 囲碁・将棋 ○卓球 ○楽しい俳句 ○タスポニー ○音楽遊び
 - 手芸 ○お茶の手ほどき ○科学工作 ○お茶を鶴舞公園の茶室で実施
 - 自然観察
- 地域交流活動 公園清掃、グラウンドゴルフ大会など
- 学びの活動
 - 学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心を持つ
 - 自習タイム 宿題、復習、読書など
 - 質問タイム 学習で分からないことを聞く、皆で考えるなど



自然観察

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者
トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の観点から、教職経験のある者がこれにあたる。(1名配置)
- 地域協力員(アシスタントパートナー)
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々がこれにあたる。(1日2名程度従事)
- 体験活動講師
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦をして頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思いきり遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～高蔵小学校トワイライトスクール～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友だちと自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

教室の実施場所

放課後学級ルーム(教室を改修した専用室)、運動場、体育館など。

申込み手続きなど

- 参加申込書に負担金(保険関係費)を添えて提出。
- 保護者負担 参加料:無料(別に負担金(保険関係費)あり)

絵手紙

教室の開催日

- 平日 授業後～18:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始は休み。
- 年間約290日の実施

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)

参加実績

●平成19年度	
○登録率	72.7%
○参加登録者数	213人
○1日あたり参加者数	44.3人
●平成20年度(1月末現在)	
○登録率	76.4%
○参加登録者数	223人
○1日あたり参加者数	48.4人



活動内容

本に親しむ活動「読書タイム」や「英語で遊ぼう」など、楽しみながら学ぶ活動を活発に実施。

- 自由な遊び ブロック、トランプなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座など
 - お茶の会
 - 和太鼓
 - カラーコミュニケーション
 - 歌を聴こう
 - まめまき
 - 人形劇
 - どんどこやき
 - 絵手紙
 - ドッチビー
 - 紙工作
 - 赤ちゃん体験
 - 英語で遊ぼう
 - お雛様作り
 - 押し花
 - 読み聞かせ
 - 鈴玉作り
- 地域交流活動 ドッチビー親子大会、和太鼓発表会など
- 学びの活動
 - 学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心を持つ
 - 自習タイム 宿題、復習、読書など
 - 質問タイム 学習で分からないことを聞く、皆で考えるなど



地域運動会での発表

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者
トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の観点から、教職経験のある者がこれにあたる。(1名配置)
- 地域協力員(アシスタントパートナー)
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々がこれにあたる。(1日2名程度従事)
- 体験活動講師
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦をして頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思いきり遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～諏訪小学校トワイライトスクール～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友だちと自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

教室の実施場所

放課後学級ルーム(教室を改修した専用室)、運動場、体育館など。

申込み手続きなど

- 参加申込書に負担金(保険関係費)を添えて提出。
- 保護者負担 参加料:無料(別に負担金(保険関係費)あり)

教室の開催日

- 平日 授業後～18:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始は休み。
- 年間約290日の実施

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)

参加実績

●平成19年度	
○登録率	75.4%
○参加登録者数	181人
○1日あたり参加者数	33.6人
●平成20年度(1月末現在)	
○登録率	74.2%
○参加登録者数	190人
○1日あたり参加者数	34.9人



運動場での体カづくり

活動内容

ドッチビー全国大会や、台湾チームとの交流、夏休みのプールでの水遊びなどユニークで多彩な体験活動を実施。

- 自由な遊び ブロック、トランプなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座など
 - 紙工作 ○お話 ○ポップデザイン ○こま遊び ○学びの講座
 - 紙飛行機 ○ドッチビー ○スポーツで遊ぼう ○ドッチビー全国大会に参加
 - 台湾チームとドッチビー交流試合 ○夏休みのプールでの水遊び
- 地域交流活動 親子ふれあいドッチビー、学校周辺の清掃活動など
- 学びの活動
 - 学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心を持つ
 - 自習タイム 宿題、復習、読書など
 - 質問タイム 学習で分からないことを聞く、皆で考えるなど



台湾チームとドッチビー交流試合

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者
トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の観点から、教職経験のある者がこれにあたる。(1名配置)
- 地域協力員(アシスタントパートナー)
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々がこれにあたる。(1日2名程度従事)
- 体験活動講師
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦をして頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思いきり遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～栄小学校トワイライトスクール～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友だちと自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

教室の実施場所

放課後学級ルーム(教室を改修した専用室)、運動場、体育館など。

申込み手続きなど

- 参加申込書に負担金(保険関係費)を添えて提出。
- 保護者負担 参加料:無料(別に負担金(保険関係費)あり)

教室の開催日

- 平日 授業後～18:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始は休み。
- 年間約290日の実施

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)

参加実績

●平成19年度	
○登録率	68.3%
○参加登録者数	127人
○1日あたり参加者数	22.5人
●平成20年度(1月末現在)	
○登録率	66.3%
○参加登録者数	114人
○1日あたり参加者数	22.0人



シュノーケル体験

活動内容

「シュノーケリング」やペットボトルを使った水鉄砲大会などユニークで多彩な体験活動を実施。

- 自由な遊び ブロック、トランプなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座など
 - やさしい英語
 - 碁の手ほどき
 - やさしい茶道
 - やさしい工作
 - 将棋の手ほどき
 - 科学工作
 - 読み聞かせ
 - 日本昔話・紙工作
 - たのしいアート
 - 空手入門
 - グラウンドゴルフ
 - 土曜日の学習
 - ドッジボール
 - 水鉄砲大会、流しそうめん
 - 夢ドッジボール大会参加
 - シュノーケル体験
 - 生物観察
 - お茶会
- 地域交流活動 水鉄砲大会、親子清掃など
- 学びの活動
 - 学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心を持つ
 - 自習タイム 宿題、復習、読書など
 - 質問タイム 学習で分からないことを聞く、皆で考えるなど



お茶会

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者
トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の観点から、教職経験のある者がこれにあたる。(1名配置)
- 地域協力員(アシスタントパートナー)
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々がこれにあたる。(1日2名程度従事)
- 体験活動講師
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦をして頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思いきり遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～上野小学校トワイライトスクール～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友だちと自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

教室の実施場所

放課後学級ルーム(教室を改修した専用室)、運動場、体育館など。

申込み手続きなど

- 参加申込書に負担金(保険関係費)を添えて提出。
- 保護者負担 参加料:無料(別に負担金(保険関係費)あり)

教室の開催日

- 平日 授業後～18:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始は休み。
- 年間約290日の実施

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童対象)

参加実績

● 平成19年度	
○登録率	47.9%
○参加登録者数	337人
○1日あたり参加者数	39.7人
● 平成20年度(1月末現在)	
○登録率	52.3%
○参加登録者数	370人
○1日あたり参加者数	42.2人



にっぽんど真ん中祭りに参加

活動内容

にっぽんど真ん中祭り参加や、学区敬老会、ファミリーデーなどで「ぜに太鼓」を披露するなど活発な地域交流活動を実施。

- 自由な遊び ブロック、トランプなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座など
 - 作って遊ぼう ○折り紙 ○ブロック ○バウンドテニス ○銭太鼓 ○工作
 - 紙工作 ○英語遊び ○ペーパークラフト ○アクセサリー作り ○伝承遊び
 - ストーリーテリング ○学区盆踊りに参加 ○にっぽんど真ん中祭りに参加 ○敬老会で銭太鼓演奏
 - 学区運動会で踊り披露 ○ファミリーデーなどで踊りと銭太鼓披露
- 地域交流活動 敬老祝福会、学区盆踊りなど
- 学びの活動
 - 学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心を持つ
 - 自習タイム 宿題、復習、読書など
 - 質問タイム 学習で分からないことを聞く、皆で考えるなど



敬老祝福会に出演

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者
トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の観点から、教職経験のある者がこれにあたる。(1名配置)
- 地域協力員(アシスタントパートナー)
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々がこれにあたる。(1日2名程度従事)
- 体験活動講師
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦をして頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思いきり遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

堀川小学校いきいき活動放課後子ども教室 【大阪府大阪市】

◆ 事業の目的・理念

- 都市化の影響を受け遊び場が限られ、また少子化が進み遊び相手にも事欠く状態のなか、すべての児童が「遊び」を心から楽しめるよう、遊びの空間と時間を確保し、学年を超えた児童集団を形成し、遊び方の伝承や工夫を行い、その中で児童自らが主体的にいきいきとたくましく生きる力を育めるよう、学校と地域の協力のもと、事業を全市規模で実施している。

教室の実施場所

- 施設名 大阪市立堀川小学校
- 実施場所 普通教室、グラウンド、体育館等

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

校区に居住する小学校1～6年生で、参加を希望する児童

申込み手続きなど

- 堀川小学校いきいき活動室にて所定の申込み用紙を提出
- 参加料金は無料(平成20年度)

参加実績			
● H19年度		● H20年度(7月末現在)	
在籍児童数	443人	在籍児童数	458人
登録数	263人	登録数	267人
登録率	59.3%	登録率	58.3%
平均参加率	22.9%	平均参加率	23.6%



あいさつの歌を歌う

活動内容

- あいさつをせずに活動室に入ってくる児童が多かったことから、あいさつの大切さを指導するため、オリジナルの歌を歌い、あいさつの定着を図っている。
- 児童に集合の指示を出す際などに、言葉にリズムをつけながらやり取りすることで、児童の集中力を引き出す。まず指導員が「みなさん」と手をたたきながら歌うと、児童が「なんですか」と手をたたきながら答えが返ってくる、などの工夫をしている。
- 毎月ぬり絵大会を開催し、丁寧さ・集中力・デザインの工夫などを養っている。月の後半に審査会を開き、児童と指導員の互選により表彰を行う。指導員が賞状を作成している。
- いきいきパートナー(地域のボランティア)の協力を得て、切り絵、紙細工や、読み聞かせの活動を行っている。
- 長期休業日中の活動の工夫(チャレラン大会、茶道体験、カブラの木切れを組み合わせる建物等を工作する、等)。
- 季節の行事(新入生を迎える会、七夕、クリスマス会、節分、お別れ会等)

〈堀川小学校いきいき活動放課後子ども教室〉 活動予定表

日常活動	ゲームや遊具等でグループ活動、創作、ボール遊び等
春休み	いきいきパートナー(ボランティア)の創作活動
1学期	新1年生を迎える会、紙芝居、読み聞かせ、七夕、塗り絵大会、切り絵、将棋教室
夏休み	チャレラン大会、読み聞かせの会、工作、三味線を習う、紙細工、作品展に向けて、将棋教室
2学期	作品展に向けて、読み聞かせの会、切り絵、工作、クリスマス会、将棋教室
冬休み	チャレラン大会、読み聞かせの会、切り絵
3学期	カルタ大会、節分の会、読み聞かせの会、切り絵



活動風景(指導員と児童)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 (財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数

コーディネーター(嘱託指導員)	登録人数:2名	配置人数:1名
安全管理員(地域指導員)	登録人数:13名	配置人数:4~7名
ボランティア等(いきいきパートナー)	登録人数:8名	配置人数:随時参加

事業を実施して

- 歌やリズムを取り入れることで、元気にあいさつができるようになり、また仲間意識も育っている。リズム遊びでは指導員をしっかり見ていないと間違えるので、指導者とリズム遊びを楽しみながら一体感が芽生え次の活動へ移動しやすい。このように、活動に工夫を取り入れることで、児童と共に「楽しい放課後活動」を作り上げていく取り組みを味わうことが出来た。
- 今後は、学校・担任との連携を今以上に深めていくことが必要である。

放出小学校いきいき活動放課後子ども教室

【大阪府大阪市】

◆ 事業の目的・理念

- 都市化の影響を受け遊び場が限られ、また少子化が進み遊び相手にも事欠く状態のなか、すべての児童が「遊び」を心から楽しめるよう、遊びの空間と時間を確保し、学年を超えた児童集団を形成し、遊び方の伝承や工夫を行い、その中で児童自らが主体的にいきいきとたくましく生きる力を育めるよう、学校と地域の協力のもとに、事業を全市規模で実施している。

教室の実施場所

- 施設名 大阪市立放出小学校
- 実施場所 普通教室、グラウンド、体育館等

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

校区に居住する小学校1～6年生で、参加を希望する児童

申込み手続きなど

- 放出小学校いきいき活動室にて所定の申込み用紙を提出
- 参加料金は無料(平成20年度)

参加実績	
● H19年度	● H20年度(7月末現在)
在籍児童数 1,017人	在籍児童数 1,007人
登録数 560人	登録数 539人
登録率 55.1%	登録率 53.5%
平均参加率 33.8%	平均参加率 34.7%



将棋教室

活動内容

- 従来は連絡帳(ノート形式)であった連絡方法をカード形式に変更、「いきいきパスポート」を作成し、「参加日には帰る時刻とお迎えの人(迎えの場合)を記入すること」「帰宅後に必ず出席印と連絡欄の確認をすること」などといったいくつものルールを設け、多数の児童の参加時受付やお迎えなどの処理を確実に迅速に行えるよう活用している。
- 年間通して四季折々に子どもが興味・関心・意欲を持って取り組める特別イベントを計画・実施し、活動に潤いと変化を持たせるとともに、さまざまな遊びを体験させ、異学年の仲間作りを図るようにプログラムを展開している。
- 日々の活動開始時に、合唱や本の読み聞かせ、パズルゲームなど、ことば遊びを重点的に取り上げ、児童の活動にはずみをつけるよう工夫している。
- 学校のある地域一体は、昔、「河内木綿」の生産地だったことから、学校敷地を利用し「綿を育てて木綿を採ろう」という取り組みを行っている。
- 四季の自然などをテーマに折り紙や紙工作などで制作したカードを誕生月の児童に送る取り組みを行っている。



季節のお誕生日カード

〈放出小学校いきいき活動放課後子ども教室〉活動予定表

日常活動	読書、手話、工作、オセロ等各種ゲーム、運動場遊び、伝承遊び等
春休み	保護者向け説明会
1学期	各月始めに誕生会。新1年生歓迎週間、花しょうぶ祭(カブト製作)、あじさい祭(折り紙、栽培クラブのアジサイ鑑賞)、七夕祭
夏休み	水泳(ビニルプール)、シャボン玉遊び、ヨーヨーつり、水鉄砲特別プログラム、作品展に向けての作品づくり
2学期	オセロ大会、折り紙、紙飛行機大会、ドッジボール大会、ミニ卓球大会、綾取り・お手玉大会、クリスマス会
冬休み	お楽しみ会(ゲーム、手品、クイズ、歌、人形劇)、カルタ大会
3学期	縄跳び大会、卒業生を送る会

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 (財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数

コーディネーター(嘱託指導員)	登録人数:2名	配置人数:1名
安全管理員(地域指導員)	登録人数:15名	配置人数:7~15名
ボランティア等(いきいきパートナー)	登録人数:1名	配置人数:随時参加

事業を実施して

- 折り紙、紙工作、木の実などで製作したお誕生日カードは、各月の担当の指導員と児童との力作であり、それを掲示板に飾ることで教室の環境作りにも一役買うアイデアは、保護者にも好評である。このように、児童や保護者との一体感を高めていく事業はとてもしやがいがいいあり、今後も指導員一体となって続けていきたい。

新森小路小学校いきいき活動放課後子ども教室 【大阪府大阪市】

◆ 事業の目的・理念

● 都市化の影響を受け遊び場が限られ、また少子化が進み遊び相手にも事欠く状態のなか、すべての児童が「遊び」を心から楽しめるよう、遊びの空間と時間を確保し、学年を超えた児童集団を形成し、遊び方の伝承や工夫を行い、その中で児童自らが主体的にいきいきとたくましく生きる力を育めるよう、学校と地域の協力のもとに、事業を全市規模で実施している。

教室の実施場所

- 施設名 大阪市立新森小路小学校
- 実施場所 普通教室、グラウンド、体育館等

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

校区に居住する小学校1～6年生で、参加を希望する児童

申込み手続きなど

- 新森小路小学校いきいき活動室にて所定の申込み用紙を提出
- 参加料金は無料(平成20年度)

参加実績

H19年度		H20年度(7月末現在)	
在籍児童数	793人	在籍児童数	796人
登録数	450人	登録数	436人
登録率	56.7%	登録率	54.8%
平均参加率	17.8%	平均参加率	21.5%



節分行事

活動内容

- 障害のある児童への関わり方のマニュアルを作成し、経験の浅い指導員でも、適切な対応が行えるよう取り組んでいる。
- 各児童の次月参加予定表を保護者により25日までに提出してもらい、それをもとに指導員配置表を作成する。
- 課題が生じた際は学校、保護者、いきいきが連携し、適切な対応を図っている。
- 地域のボランティア(いきいきパートナー)と児童がふれあう「お話し会」を定期的の実施している。
- 季節の行事を実施し、活動にメリハリをもたせる。

クリスマス会



〈新森小路小学校いきいき活動放課後子ども教室〉 活動予定表

日常活動	読書、工作、塗り絵、将棋等ゲーム、外遊び、体育館のボール遊び等
春休み	いきいきパートナー(ボランティア)の「お話し時間」
1学期	近隣の緑地公園での野外活動、七夕祭り、いきいきパートナー(ボランティア)の「お話し時間」
夏休み	近隣の緑地公園での野外活動、子供会祭り
2学期	作品展への出展、緑地公園での野外活動、クリスマス、いきいきパートナー(ボランティア)の「お話し時間」
冬休み	
3学期	節分(お面作り、豆まき)、ひな祭り会、いきいきパートナー(ボランティア)の「お話し時間」

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 (財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数

コーディネーター(囁託指導員)	登録人数:2名	配置人数:1名
安全管理員(地域指導員)	登録人数:24名	配置人数:3~12名
ボランティア等(いきいきパートナー)	登録人数:10名	配置人数:随時参加

事業を実施して

- 障害のあるこどもたちとのかかわり方について真剣に取り組むことができた。喜んでくれるかかわり方、周囲になじめない子へのかかわり方、体温調節の困難な子・投薬に関する対応等。

新北島小学校いきいき活動放課後子ども教室

【大阪府大阪市】

◆ 事業の目的・理念

● 都市化の影響を受け遊び場が限られ、また少子化が進み遊び相手にも事欠く状態のなか、すべての児童が「遊び」を心から楽しめるよう、遊びの空間と時間を確保し、学年を超えた児童集団を形成し、遊び方の伝承や工夫を行い、その中で児童自らが主体的にいきいきとたくましく生きる力を育めるよう、学校と地域の協力のもと、事業を全市規模で実施している。

教室の実施場所

- 施設名 大阪市立新北島小学校
- 実施場所 普通教室、グラウンド、体育館等

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

校区に居住する小学校1～6年生で、参加を希望する児童

申込み手続きなど

- 新北島小学校いきいき活動室にて所定の申し込み用紙を提出
- 参加料金は無料(平成20年度)

参加実績

H19年度		H20年度(7月末現在)	
在籍児童数	860人	在籍児童数	842人
登録数	477人	登録数	497人
登録率	55.5%	登録率	59.0%
平均参加率	30.1%	平均参加率	24.5%



活動風景

活動内容

- ミーティング等により指導員同士の連携を十分に図りながら活動運営にあたっている。「いきいきのモットー」を図にして設定し、指導員の意欲向上に努めている。
- いきいき祭り、お楽しみ会などの特別活動を年間計画に積極的に盛り込み、児童全員が楽しく参加する活動の実現を図っている。いきいき祭りは、6つのコーナーで230人前後の児童が前半・後半にわかれて遊ぶ。コーナー運営のお手伝いも児童が行い、お互いに遊びが楽しいものになるよう創意工夫する。
- 多様な経験をする中で好きな活動に出会ったり、嫌いだったが取り組んでみると面白い活動に出会ったり、意欲を持ったり、友達と仲良くなったりする中でみんなと遊ぶ楽しさを味わえるような教室づくりに取り組む。

絵本の読み聞かせ



〈新北島小学校いきいき活動放課後子ども教室〉活動予定表

日常活動	読書、絵かき、将棋等ゲーム、ボール遊び、固定遊具遊び等
春休み	なわとび大会、ビデオ鑑賞
1学期	サーキット遊び、いきいき祭り
夏休み	シャボン玉遊び
2学期	球技大会
冬休み	お正月の遊び
3学期	いきいき劇場

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 (財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数

コーディネーター(嘱託指導員)	登録人数:2名	配置人数:1名
安全管理員(地域指導員)	登録人数:24名	配置人数:5~17名

事業を実施して

- 指導員として豊かな感性を持って、こどもの願いを受け止められるように、指導員どうして互いの一人一人の個性を見出し、それを活動につなげ、やる意欲・指導力を高めようと切磋琢磨している。
- それがこどもの活動に反映し、楽しい遊びが広がることに繋がれば、この上ない喜びである。

粉浜小学校いきいき活動放課後子ども教室

【大阪府大阪市】

◆ 事業の目的・理念

- 都市化の影響を受け遊び場が限られ、また少子化が進み遊び相手にも事欠く状態のなか、すべての児童が「遊び」を心から楽しめるよう、遊びの空間と時間を確保し、学年を超えた児童集団を形成し、遊び方の伝承や工夫を行い、その中で児童自らが主体的にいきいきとたくましく生きる力を育めるよう、学校と地域の協力のもとに、事業を全市規模で実施している。

教室の実施場所

- 施設名 大阪市立粉浜小学校
- 実施場所 普通教室、グラウンド、体育館等

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

校区に居住する小学校1～6年生で、参加を希望する児童

申込み手続きなど

- 粉浜小学校いきいき活動室にて所定の申込み用紙を提出
- 参加料金は無料(平成20年度)

参加実績

H19年度		H20年度(7月末現在)	
在籍児童数	542人	在籍児童数	515人
登録数	257人	登録数	256人
登録率	47.4%	登録率	49.7%
平均参加率	47.2%	平均参加率	43.8%



手作り百人一首

活動内容

- 学校の学習と違った内容で活動して気分を切り替え、リフレッシュさせて活動するようにしている。
- 保護者、地域、学校等から寄贈された約1000冊の図書を活用し、みんなの前で児童が音読をする取り組みを行っている。
- 大きな手作りの百人一首を数セット用意し児童全員で楽しんでいる。一週間に一首を全員で覚える。
- 地域で開催される「粉浜まつり」の催しコーナーに、手作り百人一首コーナー、コマ回し、剣玉のコーナーを出展し、地域のこどもや大人にも広く楽しんでいただいている。
- 音楽活動に力を入れている。大きな紙に歌詞を書き、100人以上の児童が力をあわせ大きな歌声を響かせる。敬老の日に歌を発表する。
- いきいきパートナー(地域のボランティア)による紙芝居を定期的の実施している。
- 校舎裏のいきいき農園で、きゅうり、ナス、ミニトマト等を栽培している。

〈粉浜小学校いきいき活動放課後子ども教室〉活動予定表

日常活動	将棋等室内遊び、百人一首、ボール遊び、野菜の栽培等
春休み	本読み、合唱
1学期	本読み、ボール遊び、一輪車、野菜の栽培 観察、粉浜祭りの催しコーナーとする百人一首、コマ、剣玉の指導等
夏休み	宿題、お絵かき、ボール遊び、一輪車、野菜の栽培 観察、敬老の日の歌の練習
2学期	室内遊び、集団活動、外遊び、野菜の栽培、地域のイベントへの参加、地域のグループとの交流会
冬休み	室内遊び、宿題、お絵かき、集団活動、アンケートをして集計・集約
3学期	室内遊び、集団活動



紙芝居

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 (財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数

コーディネーター(嘱託指導員)	登録人数:2名	配置人数:1名
安全管理員(地域指導員)	登録人数:19名	配置人数:7~11名
ボランティア等(いきいきパートナー)	登録人数:1名	配置人数:週1回参加

事業を実施して

- 毎日集団で取り組む活動は、集団の意識やルール・マナーの育成に役立っている。特に、聴く態度は大変向上してきた。
- 保護者や教職員に「いきいきだより」を発行し、子どもの活動の様子や課題を具体的に伝え、保護者から大変喜ばれている。親子のふれ合いにも役立っており、日々の連携を密にすることにより信頼関係が深まっている。
- 今後も、活動内容の創意工夫と指導体制の工夫、安全面についての地域の連携と家庭への指導といった課題に取り組みながら、より充実した活動に取り組んでいく。

聖和小学校いきいき活動放課後子ども教室

【大阪府大阪市】

◆ 事業の目的・理念

- 都市化の影響を受け遊び場が限られ、また少子化が進み遊び相手にも事欠く状態のなか、すべての児童が「遊び」を心から楽しめるよう、遊びの空間と時間を確保し、学年を超えた児童集団を形成し、遊び方の伝承や工夫を行い、その中で児童自らが主体的にいきいきとたくましく生きる力を育めるよう、学校と地域の協力のもとに、事業を全市規模で実施している。

教室の実施場所

- 施設名 大阪市立聖和小学校
- 実施場所 普通教室、グラウンド、体育館等

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

校区に居住する小学校1～6年生で、参加を希望する児童

申込み手続きなど

- 聖和小学校いきいき活動室にて所定の申込み用紙を提出
- 参加料金は無料(平成20年度)

参加実績

● H19年度		● H20年度(7月末現在)	
在籍児童数	353人	在籍児童数	385人
登録数	211人	登録数	242人
登録率	59.8%	登録率	62.9%
平均参加率	24.2%	平均参加率	26.3%



工作活動

活動内容

- 教職を目指す学生により地域指導員が構成されている。リーダーとサブリーダーを設け、随時ミーティングを行いながら意思疎通を促進している。
- 指導員間の意思統一の手立てとして、「共通理解ノート」の活用を図っている。活動中に指導員が気づいたり疑問に思った事を書き留め、認識を共有し指導力の向上に役立てている。
- 月ごとに活動メニューのテーマを複数設け、工作、ゲーム大会、スポーツ体験など多彩な活動を行っている。マンネリ化を排し、創造的で楽しい多彩な活動を目指す。
- 具体的には、ティッシュケース作り、かべかざり作り、春に新一年生の工作発表会をする、紙飛行機づくり、てるてるぼうずを梅雨の時期に皆でつくる、カブラ工作、うちわづくり、ふうせんづくり、裁縫・編み物、紙芝居づくりと発表会、一輪車検定、けん玉検定、アプリケづくり、「巨大シャボン玉を作り校庭から大空に飛ばそう」大会、コマまわし大会、カルタ大会、節分の面作り、おひなさま作り、ぶんぶんゴマ 等



人形劇

〈聖和小学校いきいき活動放課後子ども教室〉活動予定表

日常活動	オセロやレゴ等室内遊び、ボール遊び、読書、読み聞かせ等
春休み	お花見(桜の木の下でお弁当)
1学期	一年生工作、七夕祭り
夏休み	おまつりごっこ
2学期	一輪車検定、けんだま検定
冬休み	クリスマス会
3学期	ひなまつり大会、お楽しみ会、朗読会

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 (財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数

コーディネーター(嘱託指導員)	登録人数:2名	配置人数:1名
安全管理員(地域指導員)	登録人数:11名	配置人数:4~8名
ボランティア等(いきいきパートナー)	登録人数:1名	配置人数:随時参加

事業を実施して

- こども達が集団活動の体験を通じて友達との付き合いの仕方や我慢強さを身につけて、助け合い、励ましあい、教えあう好ましい人間関係について多くの事柄を学んでいくには、具体的にどのような取り組みをするべきかを念頭に置き、努力を続けている。
- 将来社会に出て強く正しく生きていく力をつけてくれることを願いつつ、何よりも、こども達が目を輝かせて参加できるよう、また保護者からも信頼され、喜ばれるような活動を創造していきたいと思っている。

英彰小学校放課後ルーム【大阪府堺市】

～地域の子どもは地域で守ろう!育てよう!～

◆ 事業の目的・理念

- 放課後や週末等に学校施設等を利用し、学習をはじめ様々な体験・交流活動等の場を提供することにより、学習の習慣づけと基礎的な知識・技能を修得し、幅広い思考力や判断力を身につけることを目的とする。また、文化的な活動を継続的に実施することにより情操を養い、感性豊かな児童の育成を図る。

教室の実施場所

小学校の図書室が主な活動場所。校庭や体育館等も利用。

教室の開催日

- 毎週月曜日～金曜日 終業時～18:00
- 土曜日・長期休業日 9:00～18:00
H19 284日、H20 287日(予定)

参加対象者

小学校4年生～6年生(全児童対象)

申込み手続きなど

- 学校を通じて配付する利用申請書に記入のうえ学校経由で教育委員会へ提出。
- 一部負担金月額4,000円。他に教材費・保険料(傷害保険)実費負担あり。

参加実績

- 平成19年度(5月1日現在)
 - 児童数 574人
 - 登録人数(率) 16人(2.8%)
 - 参加率 75.0%
- 平成20年度(5月1日現在)
 - 児童数 588人
 - 登録人数(率) 29人(4.9%)
 - 参加率 82.8%



ギター教室

活動内容

- 自主学習(宿題、ワークブック、読書、作文等) ○ 室内活動(折り紙、クラフト、将棋、オセロ、百人一首、けん玉、紙芝居作り等)
 - スポーツ活動(ドッチボール、バドミントン、野球等) ○ 奉仕活動(グラウンドの草抜き、校庭芝生の世話等)
- ※本ルームの特徴は、日本の伝統文化に触れる喜びにある。百人一首、折り紙、将棋、こま回し、けん玉等の昔の日本の遊びを体験できるだけでなく、地元の芸術家を講師に招いて、ギターや書道、生け花、陶芸、絵画等の講座を定期的に関き、多くの子どもたちが楽しく学んでいる。

【7月の1週間】

- 7日(月) 宿題 こま回し ドッチボール
- 8日(火) 宿題 陶芸教室(ふくろう・笛)
- 9日(水) 宿題 バスケットボール
- 10日(木) 宿題 ギター教室 毛糸編み
- 11日(金) 宿題 けん玉 ヨーヨー
- 12日(土) 学習 読書 フェルト バドミントン

【放課後ルームの一日(平日)】

- 終業時刻～16:00 宿題 読書
- 16:00～17:00 ○ 指導員によるプログラム活動
(室内活動 スポーツ活動等)
- 講師による各教室活動
(ギター 陶芸 書道 絵画等)
- 17:00～18:00 自主活動
(学習 読書 遊び等)

【8月の1週間】

- 18日(月) 夏休みの宿題 ダンボール工作
- 19日(火) 学習 新聞紙工作 折り紙
- 20日(水) 学習 絵画教室(新聞社主催の「川の絵コンクール」複数名入賞)
- 21日(木) 学習 ダンボール工作 ギター教室
- 22日(金) 校外学習(神戸花鳥園見学)
- 23日(土) 夏休みの宿題(工作、読書感想文等)



陶芸教室での絵付け



自作の茶碗でお茶会

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
地域運営委員会が推薦、決定
- 配置人数
コーディネーター1人、学習アドバイザー1人、指導員(安全管理員)4人とボランティア5人は、活動内容や参加人数を勘案し運営委員会が調整。

事業を実施して

- **子どもの声** ちがうクラスや学年の子どもとも仲良しになり、校庭などでいっしょに遊ぶのが楽しい。図書室でたくさんの本が読める。
- **保護者の声** 宿題だけでなく、書道、お花、絵画といった芸術の習い事もでき、充実した時間を過ごさせていただいている。
- **学校の声** 運営委員会のご努力と指導員の方々熱心なご指導のもと、子どもたちはのびのびした中にも規律正しい有意義な時間を過ごしている。地域と一体となつての子どもや保護者への支援は、堺の「横にひろがる教育」の根幹をなすものである。
- **運営委員会の声** 放課後ルームでの様々な経験を通して、感性豊かな子どもたちの才能を芽生えさせていきたい。

遊びの広場 曾根っ子クラブ【福岡県北九州市】

～「出会い・ふれあい・学びあい」がいっぱい!～

◆ 事業の目的・理念

- いろいろなスポーツ・文化活動、地域との交流活動などを実施し、単なる遊びの場ではなく、体験活動や学びの場を提供し、異年齢・世代間交流による児童の健全育成を図る。

教室の実施場所

曾根小学校(体育館、運動場)、曾根市民センターなど

教室の開催日

水曜日 放課後～17:00 土曜日 10:00～12:00

参加対象者

全児童(参加希望者は事前に登録)

申込み手続きなど

- 学校を通じて配布される参加申込書を、学校もしくは市民センターへ持参。
- 保険料は年間500円。その他、実費負担あり。

参加実績

- 参加人数：児童 のべ 2,228人(1回あたり参加数 約117人 参加率 54.2%)
安全サポーター のべ 368人(1回あたり平均 19人)
- 学校の児童総数：855人 登録児童数:216人 登録率 25.3% ○開催回数：19回 ※実績はすべて、平成19年度



安全サポーターのみなさんと、曾根っ子のみんな

活動内容

- 水曜・土曜とも、自由遊び、昔遊び、宿題等を中心に実施。特別メニューとして、地元プロサッカーチーム選手との交流、グラウンドゴルフ、地域行事(センターまつり、赤い羽根共同募金活動、清掃活動など)への参加。



七輪で火おこしにチャレンジ

月	日程	主な活動内容
1	9月29日(土)	開会式・オリエンテーション
2	10月 3日(水)	昔遊び
3	10月 6日(土)	自由遊び、昔遊び
4	10月10日(水)	自由遊び、ペタンク
5	10月13日(土)	グラウンドゴルフ、赤い羽根共同募金
6	10月17日(水)	自由遊び、将棋、オセロ、自習
7	10月20日(土)	市民センターふれあいまつり
8	10月24日(水)	自由遊び、とび箱、フラフープ、ハーモニカ演奏
9	10月27日(土)	自由遊び、将棋、ビデオ鑑賞
10	10月31日(水)	自由遊び、とび箱、フラフープ
11	11月 3日(土)	グラウンドゴルフ、とび箱、折り紙、工作、フラフープ
12	11月 7日(水)	ニューウェーブ北九州選手との交流
13	11月10日(土)	通学路別清掃活動
14	11月14日(水)	自由遊び、宿題など
15	11月17日(土)	ハンジーの花植え、自由遊び、とび箱、フラフープ
16	11月21日(水)	自由遊び、昔遊び、宿題など
17	11月24日(土)	グラウンドゴルフ大会、目隠し将棋、円周率、仲良し棒遊び
18	11月28日(水)	自由遊び、工作、宿題など
19	12月 1日(土)	七輪でめざし、もち焼きパーティー

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 募集
安全サポーターについては、市民センター館報や募集チラシを通じて募集。
- 配置人数
活動リーダー(コーディネーター)1名、安全サポーター(安全管理員)は1回あたり平均19名を配置。

運営体制

- 曾根校区まちづくり協議会を中心とした実行委員会を設置した。
- 実際の活動時には、活動リーダーを中心に、地域住民が中心の安全サポーター(ボランティア)等を配置した。

事業を実施して

- **子ども** 安全に安心して遊べる居場所となった。また、異学年、地域の大人との世代間交流の場となった。日頃できない体験活動(どんぐりを使った工作、火おこし等)の場となった。親子の会話のきっかけとなった。
- **保護者** 子どもが変わっていくことで、保護者にもよい影響を与えた。参加した保護者も、地域とのつながりができた。地域行事への参加のきっかけとなった。
- **地域** 地域の大人の居場所となり、生きがいづくりにつながった。参加した大人同士のつながりができた。地域の人材発掘につながった。
- **その他** 参加した地域の大人や保護者の子どもを見守り育てる意識の向上につながった。地域、保護者、学校の三者の連携が強まった。

外旭川放課後子ども教室【秋田県秋田市】

◆ 事業の目的・理念

- 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を確保する。
地域の方々の協力を得ながら、体験、交流、学習活動の機会を子どもたちへ提供する。

教室の実施場所

秋田市立外旭川小学校に隣接する、外旭川児童センター内及び外旭川小学校グラウンドで実施

申込み手続きなど

子ども教室への参加申込は不要で、誰でも利用できるが、行事によっては、事前に申込みをする場合がある。

教室の開催日

- 平日(月～金曜日) 13:00～18:00
- 土曜日・学校長期休業日 8:30～18:00

参加対象者

秋田市の区域内に住所を有する幼児、児童、生徒

参加実績

- 平成19年度 開催日数 293日
年間参加者数 29,382人
平日1日平均 111人



図書室の様子。本を読んだり、勉強したり、それぞれが思い思いの時間を過ごしています。

活動内容

- スポーツ、運動遊び、ゲームなどの遊びや、簡単工作、地域の伝統行事、昔遊び等の体験活動、地域のお年寄りとの世代間交流や、学年を超えた異学年交流を実施
- 外旭川児童クラブを併設しており、各種行事で連携・協力して、子ども教室の利用児童と、クラブ利用児童が分け隔て無く遊んでいる。
- 行事予定表(平成20年10月)

実施日	行事名	
10/1, 8, 15 22, 29	水チャレ	毎週水曜日に色々な運動遊びにチャレンジする。 1日…こま回し 8日…バドミントン 15日…大なわとびと縄とび 22日…フラフープ 29日…トランポリン
10/3, 25	卓球教室	地域の方を指導員に招き、 個々のレベルに合わせた指導をしてもらう。
10/7	おはなし会	児童厚生員兼安全管理員による読みきかせ
10/14	「10周年おめでとうまつり」 放課後児童クラブ共催	地域の方々の協力のもと、手話をまじえた合唱、大型遊具、 工作など様々な行事を実施
10/16	けん玉検定	級取得に挑戦。中学生の利用も有り。
10/24	ハッピーミュージック	キーボードの伴奏に合わせて、みんなで楽しく歌う。 放課後児童クラブ指導員も参加



体育館の様子。ドッジボール、バスケットボールなど、異学年交流の場となっています。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集について
コーディネーター 放課後子ども教室と放課後児童クラブを所管する生涯学習室にひとり配置している。
学習アドバイザー 教員免許有資格者で実務経験がある方や、教員を目指す大学生から募集。現在、14名の学習アドバイザーを、33子ども教室に配置している。
安全管理員 利用児童数に応じ、2～3名の安全管理員を配置している。(市内38子ども教室に86人配置)
ボランティア 放課後子ども教室には、地域ボランティア組織である児童育成クラブが設置されており、子ども教室の活動をサポートしている。

事業を実施して

- 放課後子ども教室の実施に伴い、行事の実施回数が大幅に増え、子どもたちに様々な体験活動の機会を提供している。
- 学習アドバイザーの配置によって、自発的に学習に取り組む児童が増えた。
- 放課後児童クラブとの連携が進んでおり、共催行事が実施されている。

生石子どもいきいき教室【愛媛県松山市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆ 事業の目的・理念

- 地域で子ども達の健全育成と安全面の向上を図るため、放課後児童クラブと連携を図り、小学校と公民館に安全・安心な子ども達の居場所となる活動拠点を設け、各機関、団体役員の協力を得て活動を推進する。
- 未来の生石地区(8町)を担う子ども達に、さまざまな体験活動を通じて、心豊かでたくましい「生石っ子」を育てる。

教室の実施場所

- 生石小学校の「なかよし教室」及び公民館
- 学校グラウンド、中央公園などで実施

申込み手続きなど

- 学校及び8分館の子ども会代表者に配布する申込書により手続きをする。
- 松山市子ども連合会の安全保険に加入 ※年間150円/人と教材費は実費負担

教室の開催日

- 毎週月曜日～金曜日 15時～17時
- 土曜日～日曜日 午前9時30分～12時
- 学校休業日 午後10時00分～16時

参加対象者

小学校1年生～6年生(全児童948名対象)

参加実績

- 参加総数 H19 7,276人
ボランティア総数 530人
生徒数 944人 H20.5.1現在
- 開催日数…H19 204日
(平日137日、土日等67日)

意欲的に学習する
パソコン教材を活用して



活動内容

- 昔の遊び、花の植え方、もち米作り、みかん刈り、絵手紙・手芸教室、工作教室、算数教室、自由教室、野球、グラウンドゴルフなどを実施

平成20年12月の活動

月	火	水	木	金	土	日
1 絵手紙・手芸教室	2 史跡についての学習会 工作教室	3 史跡についての学習会 算数教室	4 もち米作り(餅つき指導) 算数教室	5 児童クラブグラウンドゴルフ教室 自由教室	6 もち米作り (餅つき指導)	7 野球教室
8 昔遊び工作教室 (学校休み)	9 昔遊び工作教室 工作教室	10 昔遊び工作教室 児童クラブグラウンドゴルフ教室 算数教室	11 もち米作り餅つき指導 算数教室	12 児童クラブグラウンドゴルフ教室 自由教室	13 もち米作り餅つき指導	14 野球教室
15 みかん摘み取り体験 絵手紙・手芸教室	16 みかん摘み取り体験 工作教室	17 児童クラブグラウンドゴルフ教室 算数教室	18 算数教室	19 児童クラブグラウンドゴルフ教室 じゃがいもつくり(じゃがいも堀り指導) 自由教室	20 理科実験工作教室	21 野球教室
22 (学校休み)	23 児童クラブ クリスマス会 (天皇誕生日)	24 児童クラブグラウンドゴルフ教室 算数教室	25 児童クラブ クリスマス会 算数教室	26 児童クラブグラウンドゴルフ教室 自由教室	27 花の植え方育て方教室	28 野球教室



理科実験教室の様子

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集について
 - コーディネーター：幼稚園、学校の教諭免許又は松山市の生涯学習指導者バンクに登録し、資格を有する者を実行委員会にて協議し決定する。
 - 学習アドバイザー：児童の学習活動及びもの作り事業は重要であるので、有資格者並びに専門的な技能を有する者
 - 安全管理員：地域の有志
- 配置人数
 - 各教室にコーディネーター1人、学習アドバイザー1人、(児童30人まで)安全管理員2人 ボランティア2人～3人

事業を実施して

- 公民館の人の指導では、今までに経験したことのないドングリコマや竹トンボ、絵手紙など上手に作って持って帰り、「大変たのしかった」と話していた。
- 学習面では、理科教室や算数教室(パソコンを使った習熟ソフトによる復習、宿題の指導等)の指導をしていただき助かっています。
- 放課後こども教室は素晴らしい事業であり、今後共継続を希望します。

校庭開放(追手前小学校放課後子ども教室)

【高知県高知市】

◆事業の目的・理念

- 放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。

教室の実施場所

- 平日～運動場(雨天は体育館)
- 土日～体育館
- 夏休み～図書室

教室の開催日

- 平日 下校時～午後5時(4月～11月)
下校時～午後4時45分(12月～3月)
- 土曜日・日曜日 原則開設無し
もちつき大会等のイベント等があるときのみ開設
- 夏休み 午前10時～午後1時
(自由水泳があるときのみ開設)
- 冬休み・春休み 開設無し

参加対象者 主に小学生

申込み手続きなど

年度始めに保護者宛に申込み文書を配布

参加実績

- 追手前小学校全児童数：224人
- 年間開催日数：約190日
- 1回あたりの参加人数：100人前後



校庭で生徒が元気に遊ぶ様子

活動内容

- 校庭開放～ 校庭を開放して、児童が自由に遊ぶ。異学年や地域のボランティア等との交流が行なわれている。
- ぐりぐらりん活動～ 子どもたちへの図書の読み聞かせ活動。読み聞かせ役は保護者が行なう。
- 子ども教室～ 各年度毎にテーマを設定し、様々な内容を学習する。(開催月を各年度毎に決定)
- 地引網
- もちつき大会

主な活動予定表

4月～校庭開放・ぐりぐらりん活動	10月～校庭開放・ぐりぐらりん活動・地引網
5月～校庭開放・ぐりぐらりん活動	11月～校庭開放・ぐりぐらりん活動
6月～校庭開放・ぐりぐらりん活動	12月～校庭開放・ぐりぐらりん活動
7月～校庭開放・ぐりぐらりん活動	1月～校庭開放・ぐりぐらりん活動
8月～校庭開放・ぐりぐらりん活動	2月～校庭開放・ぐりぐらりん活動・もちつき大会
9月～校庭開放・ぐりぐらりん活動	3月～校庭開放・ぐりぐらりん活動



安全管理員が生徒を見守る様子

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
追手前小学校放課後子ども教室実行委員会が安全管理員や学習アドバイザー、ボランティアの方を募集し、採用している。
- 配置人数(1回あたり)
安全管理員2人、学習アドバイザー1人

事業を実施して

- 異学年同士の交流が活発に行なわれることから、生徒の個性・自主性・社会性の発展・向上に大きく貢献していると思われる。
- 開設場所が学校内であるため、安全性の確保が可能となる。また、晴天であれば広いグラウンドでのびのびと遊び、雨天であれば体育館で遊べるので天候に大きく左右されず開設が可能となり、事業としての実行性も保持できる。
- 全児童数の半数近い生徒が参加していることから、近年問題とされる生徒の体力向上にも大きく貢献していると思われる。
- 児童の自己解決能力を高めるために指導よりも見守りを重視する事業として継続している。

光陽台遊んでいい友塾【宮崎県宮崎市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆ 事業の目的・理念

- 宮崎市の小学校区において、放課後や週末等に学校の諸施設等(体育館、校庭等)や公民館等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

教室の実施場所

- 光陽台学習館 広瀬西小学校
- 参加が難しい地区の児童のために地域に出向き出前講座も実施

教室の開催日

- 毎週水曜日 15:00～18:00
- 毎週土曜日 8:00～12:00
- 長期休業日(春休み 夏休み 冬休み)

参加対象者

地域の幼児 小学生 中高年生

申込み手続きなど

- 参加申込者は教室のコーディネーターに直接申し込み
- 参加料金は無料
- 毎月の計画表を全校児童に配布。いつでも申込ができるように参加申込書と兼用

参加実績等

- 広瀬西小学校児童数 H20.11/273名
- 登録児童数 H19/69名 H20/87名
- 指導者数 H19/22名 H20/25名
- 実施日数 H19/124日 H20/120日(予定)
- 参加者数 H19/子ども:1771名 指導者:720名
H20/子ども:1559名 指導者:528名
(*H20年度は途中経過での集計)



手作りビンゴゲーム

活動内容

- 地域在住の指導者の特技を活かし音楽教室、理科教室、トールペイント、茶道教室、絵画教室、書道教室、英会話などの活動プログラムを企画。
- 春休み、夏休み、冬休みなどの長期休業時には、子どもたちの作品づくりの指導に大きく貢献している。
- 年間の季節行事を、放課後子ども教室の活動の中に定期的に取り入れ、ミニ門松作り、豆まき、雛飾り、こいのぼり、七夕、月見、クリスマス、餅つきなど 毎年趣向を凝らし、子どもたちに、日本の豊かな四季を感じさせる取り組みを行っている。

開催月	活動内容	開催月	活動内容
(主な活動)	宅習 読書 遊び ゲーム 工作	10月	グランドゴルフ
4月	工作「鯉のぼりかざり」 *2地区で出前教室	11月	工作「ミニ門松」 グランドゴルフ *2地区で出前教室
5月	工作「紙飛行機」「タオルで作る人形」	12月	年賀状づくり クリスマスリース作り クリスマスツリー飾り 書道教室(3日間) 蕎麦うち
6月	工作「折り紙」「七夕飾り」		
7-8月 夏休み	絵画教室(3日間) 手品教室 料理教室 トールペイント 英会話教室(3日間) 音楽教室 理科教室	1月	グランドゴルフ
		2月	工作「雛かざり」*2地区で出前教室
9月	硬筆習字 グランドゴルフ 蕎麦の種まき	3月	ビンゴゲーム大会 料理教室 学習館内の清掃(ワックスかけ)

ふれあい交流活動
餅つき



茶道教室

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営体制設立の経緯
平成16年度より緊急3か年計画の委託事業として実施された「地域子ども教室」への取り組みとして、平成17年度より「光陽台遊んでいい友塾」を開設。
- 配置人数
コーディネーター/1名 安全管理員・学習アドバイザー/4名 ボランティア/数名
本教室では独自に「塾長」を設置している。コーディネーターと「塾長」の二人三脚の協力体制により、毎年充実した活動を継続。
活動プログラムの内容に応じ人員が必要な場合には、コーディネーターの呼びかけで地域の高齢者クラブより10名程度の支援がある。また、教材用の材料として、廃材の提供を、地域住民が塾長に声をかけるといったような環境づくりができています。

事業を実施して

- 「光陽台遊んでいい友塾」は4年間にわたり放課後子ども教室活動を継続。「塾長」は、教職の経験を活かし活動がマンネリ化しないように毎年子どもたちの心がわくわくするプログラムを企画する。その活動は、コーディネーターや塾長自身の活動経験や学習により年々、内容も充実化が図られている。また地域活動(ふれあい交流活動など)への参加も積極的に取り入れている。
- 参加者は低学年が多いが、活動の継続により、低学年だった子どもが高学年になっても参加。子どもの成長を地域が見守ることで、家庭との信頼も深まり保護者にも大変感謝されている。

第1回放課後子ども教室推進表彰について

●表彰要件

「放課後子ども教室推進事業」の国庫補助金を受けている放課後子ども教室のうち、優れた取組を行っており、他の模範と認められる放課後子ども教室であり、平成19年度において200日以上実施、平成20年度において200日以上の実施を予定していること。ただし、特段の理由がある場合は、開催日数が200日未満の場合でも推薦できるものとする。

●表彰教室について

区分	自治体数	表彰教室数	開催日数 (平成19,20年度平均)
都道府県(47)	43	47	209.9
政令市(17)	6	15	269.0
中核市(39)	4	4	203.0
合計	53	66	222.9

※表彰教室が2教室以上ある自治体

- 東京都 5教室
- 名古屋市 5教室
- 大阪市 6教室



●表彰式について

平成21年2月25日の放課後子ども教室全国研究大会冒頭で実施。

於：パナソニックセンター東京
(東京都江東区有明2丁目5番18号)

放課後子ども教室推進表彰要項

平成20年11月11日
生涯学習政策局長決定

1. 趣旨

文部科学省「放課後子ども教室推進事業」の国庫補助金を受けている放課後子ども教室のうち、優れた取組を行っており、他の模範と認められる放課後子ども教室に対し、その功績をたたえ、文部科学省生涯学習政策局長が表彰する。

2. 被表彰放課後子ども教室の対象

表彰の対象は、次の(1)及び(2)に該当する放課後子ども教室とする。

- 文部科学省「放課後子ども教室推進事業」の国庫補助金を受けていること。
- 前年度において200日以上実施しており、今年度についても200日以上の実施を計画していること。ただし、特に取組が優れている等特段の理由がある放課後子ども教室については、各年度の実施日数が200日未満の場合でも、理由を添えて対象とすることができるものとする。

3. 推薦の方法

- 文部科学省における推薦依頼
文部科学省は、上記2を満たす放課後子ども教室のうち、都道府県、指定都市、中核市(以下、「都道府県等」という。)が表彰するに相応しいと判断する放課後子ども教室について、都道府県等に対し推薦の依頼を行うものとする。
- 都道府県等における推薦方法
都道府県等は、上記2に該当し、他の模範と認められる放課後子ども教室について、別紙推薦書を文部科学省に提出するものとする。(なお、推薦がない場合は提出する必要はない。)

推薦教室数については、1都道府県等あたり1教室とし、都道府県については、都道府県が直接実施する放課後子ども教室及び都道府県から補助金を受けている域内の市区町村の放課後子ども教室を合わせて1教室とする。なお、上記2に該当する放課後子ども教室(2(2)のただし書きの放課後子ども教室、当該表彰状の交付を受けた放課後子ども教室は除く)の数が50教室を超える場合は、以下の表に従い、推薦教室数を追加できるものとする。

追加推薦教室数	0	1	2	3	4	5
該当教室数	1~50	51~100	101~150	151~200	201~250	251~300

※該当教室数301以上についても、該当教室数50につき、推薦教室数1を同様に追加できるものとする。

4. 被表彰放課後子ども教室の決定

上記3(2)により推薦された放課後子ども教室について、文部科学省で確認の上、生涯学習政策局長が決定するものとする。

5. 交付歴について

当該表彰状の交付は1放課後子ども教室あたり1回限りとする。
(他の表彰等の受賞歴は問わない。)

6. 表彰状交付の方法

別紙様式(略)による表彰状を交付する。なお、表彰状交付式の日程等については、別途連絡する。
(交付式への出席にかかる交通費等については自費とする。)

7. 本表彰にかかる事務

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課において処理するものとする。

放課後子ども教室について

●実施体制

都道府県（指定都市・中核市）

●推進委員会の設置

【放課後対策の総合的な在り方を検討】

事業の実施方針、安全管理方策、広報活動方策、事業実施後の検証・評価など

委員構成

行政・学校・社会教育・児童福祉関係者、学識経験者など



●コーディネーター・安全管理委員等研修の実施

市町村

●運営委員会の設置

【活動内容や運営方法などを検討】

事業計画の策定、活動プログラムの企画、人材確保方策、広報活動方策、安全管理方策、事業実施後の検証・評価など

委員構成

行政・学校・社会教育・児童福祉関係者、PTA、事業関係者など



●コーディネーターの配置

●安全管理委員等研修の実施

コーディネーター

学校や関係機関との連絡調整、人材確保、人員配置、活動プログラムの作成、保護者を含めた地域住民への参加の呼びかけなどを行う総合的な調整役

人材

生涯学習インストラクターや民生委員・児童委員など



●事業目的

すべての子どもを対象として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

放課後子ども教室

●地域の実情に応じて、学習・体験・交流・遊びなど様々な取組ができます。

学習アドバイザー

子どもたちの学習をサポートする

人材

- 教職を目指す大学生
- 退職教員
- 社会教育団体関係者
- 民間教育事業関係者
- 地域住民など



安全管理員

子どもたちの安全管理を図る

人材

- 子どもたちの健全育成に情熱を持つ地域の方など



活動内容

学び

予習や復習、補習などの学習活動



体験

スポーツや文化芸術活動などの体験活動



交流

地域の大人や異年齢の子どもとの交流活動



遊び

剣玉やお年玉などの昔遊びや様々な遊び



実施場所

学校

（余裕教室や図書館、体育館）

公民館など



運営にあたり

●事業費負担割合

■ 都道府県・市町村

補助対象経費		
国	都道府県	市町村
1/3	1/3	1/3

■ 指定都市・中核市

補助対象経費	
国	指定都市・中核市
1/3	2/3

●指導者の謝金

1人1時間あたりの謝金について、コーディネーター1,480円、学習アドバイザー1,480円、安全管理員1,330円までを補助の対象としています。

市町村の負担で上限額を超える謝金の設定をすることもできます。

●人員配置

安全管理員など、人員の配置については各教室の実情に応じて必要な人数の配置ができ、それら全てが補助の対象となります。

●開設日数

年間を通じての開設が理想ですが、何日以上開催しなければならないという制限はありません。

●備品

新規に教室を開設するにあたり、当該年度に限り、机やロッカーなど必要な備品を補助対象経費として整備することができます。

●補助の対象とならない経費

子どもたちの実費相当分にあたる、障害保険料や教材費、おやつや飲食物代、及び当該地方公共団体が認める、会議費以外の飲食物費や交際費は補助の対象外となります。

着実に増えています「放課後子ども教室」

平成20年度は、平成19年度から約1,500箇所増える予定で、着実に事業が浸透してきております。

平成19年度 6,328箇所 (856市町村)

平成20年度 7,821箇所 (1,019市町村)



推進委員会・運営委員会の設置を

教室運営は、地域や学校教育関係者の協力が不可欠です。事業を円滑かつ効果的に進めるためにも、委員会の設置と定期的な開催をお願いします。また、単独で委員会を設置できない場合は、既存の委員会を充てることもできます。

なお、翌年度に教室を開催するにあたって、先に委員会を設置し円滑な事業の実施などを検討する場合も補助対象となります。